取扱説明書

akia

42 型
BS・110 度 CS・地上デジタルチューナー内蔵
ハイビジョン液晶テレビ

型名

42FG05A-B

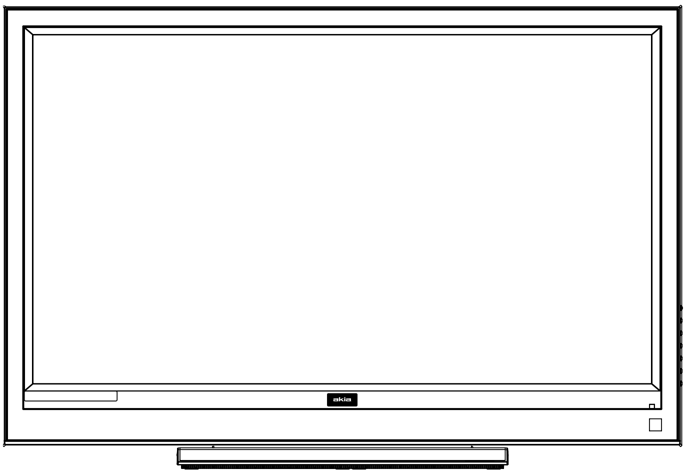
はじめに

機器の準備をする

テレビを見る

一歩進んだ使いかた

その他の情報



お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

特に「安全上のご注意」（☞ 4 ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後は、保証書とともにいつでも見ることができる場所に保管してください。

目次

はじめに 3
安全上のご注意 4
警告（移動、設置） 4
警告（電源コード・プラグ） 6
警告（使用） 7
警告（乾電池） 7
注意 8
注意（乾電池） 9
注意（廃棄） 9
使用上のご注意・お手入れについて ... 10
付属品 12
本書の読みかた 13
説明のしかたについて 13
アイコンについて 13
各部の名前 14
本体操作部 14
本体接続部 15
リモコン 16
デジタル放送について 18
デジタル放送の特徴 18
本機で視聴可能なデジタル放送の種類 19
デジタル放送を視聴するための準備 19

機器の準備をする 21
設置のしかた 22
設置の手順 22
B-CAS カードを入れる 23
リモコンについて 24
アンテナの接続 25
単独での接続 25
マンションなどの共聴システムでの接続 27
電話の接続 28
電話回線を接続する 28
他の機器との接続 29
DVD プレーヤーなどを接続する 29
パソコンを接続する 31
AV アンプなどを接続する 32
ヘッドホンを接続する 33
電源コードの接続 34
接続する 34
電源に関するご注意 34

テレビを見る 35
共通の操作 36
テレビを見るための準備 37
チャンネルを選ぶ 38
電子番組表を使う 40
映像と音の操作 42

一歩進んだ使いかた 45
デジタルメニューを使う 46
デジタルメニューの操作 46
選局する 47
番組を探す 50
見るだけ予約 56
情報を見る 61
機器設定 63
設定メニューを使う 71
設定メニューについて 71
映像設定 71
音声設定 74
その他設定 75
つないだ機器を使う 78
つないだ機器の映像を見る 78
つないだ機器を通して音声を聞く 80

その他の情報 81
故障かな？と思ったら 82
お問い合わせの前に 82
原因と対策 83
用語の解説 88
主な仕様 90
保証とアフターサービス 94

はじめに

この章では、本機をご利用いただく上での注意事項や付属品の説明など、最初に知っておいていただきたい内容を記載しています。

●安全上のご注意 P4

●使用上のご注意・お手入れについて P10

●付属品 P12

●本書の読み方 P13

●各部の名前 P14

●デジタル放送について P18

安全上のご注意

ご使用の前に本書、特に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。これらは、あなたや他の人々への危害や、財産の損害を未然に防ぐための表示です。危害や損害の内容や程度に応じて、表示を以下のように区分しています。
内容をよく理解していただいてから本文をお読みいただき、記載事項をお守りください。

⚠ 警告	この内容をお守りいただかないと、人が死亡や大けがに至るような、重大な事故が起こる可能性があります。
⚠ 注意	この内容をお守りいただかないと、人のけがや財産の損害をまねくことがあります。

図記号の意味（例）

気をつけていただきたいという記号です。

してはいけないという記号です。

していただきたいという記号です。

⚠ 警告（移動、設置）

正しい方法で運搬 / 移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。テレビの底面を持つときは、後ろ側から手を回してしっかりと持ってください。
修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。

運搬 / 移動するときは接続されている線などをすべて外す

本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブル等を全てはずしてください。電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
・あお向けや横倒し、逆さまにしない。
・棚や押入の中に置かない。
・ホットカーペットの上に置かない。
・布をかけない。

⚠ 警告（移動、設置）（つづき）

周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通気孔がふさがって内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。下記以上の間隔を空けて、熱がこもらないように設置してください。

- 上部：30 cm
- 左右：10 cm
- 下部：10 cm
- 背面：6 cm

壁に取り付ける場合は、必ず専門の業者に取り付けてもらう

設置時は設置関係者以外近づかない

専門業者以外の人が取り付けたり、取り付けが不適切だと、本機が落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

次のことを守って、スタンドに本機を設置する

誤った取り付け方法で設置すると、本機が転倒または落下し、大けがをすることがあります。

- 転倒防止の処置を必ず行う。転倒防止の処置をしないと、本機が倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。平らで充分に強度があり、落下しない所に置いてください。

乗り物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したりして、けがの原因となることがあります。塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。

本機を医療機器の近くに設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湿気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。銭湯や温泉の脱衣場などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。

屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用は特にご注意ください。

本機の表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまで本機に触れない

電源プラグをコンセントから抜かずに本機に触れると、感電の原因になることがあります。

目や口に液晶を入れない / ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶（液状）が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。臭いをかぐこともやめてください。誤って目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告（電源コード・プラグ）

コンセントや配線機器の定格を超える使いかたや、交流 100V（50/60Hz）以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。海外などで異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたり、加熱したりしない

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）交換をご依頼ください。そのまま使用すると、コードが破損して、火災・感電の原因となります。

電源コードに重いものを載せたり、本機の下敷きにしたりしない

火災・感電の原因となります。

ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根本までしっかりと差し込んでください。根本まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続すると、感電の原因になることがあります。他機器との接続が終わった後に、電源コードを本機につないでから電源プラグを壁のコンセントに差してください。

電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店に交換をご依頼ください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因になることがあります。

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは必ずコードでなくプラグをもって抜いてください。

電源コードを使い回さない

付属の AC（電源）ケーブル（電源コード）は、本機専用です。他の機器では使用しないでください。また、本機に他の AC(電源) ケーブルを使用しないでください。

⚠ 警告（使用）

本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。

煙やにおい、音などの異常が発生したら、本機の電源を切り、電源プラグを抜く

異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。修理をお買い上げ店に依頼してください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

内部に水や異物を入れない
本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水が異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、修理をお買い上げ店に依頼してください。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店にご依頼ください。

⚠ 警告（乾電池）

電池を火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱、充電しない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池はプラスとマイナスの向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を使い切ったときや、長時間使わないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の電池を使わない。新しい電池と古い電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 注意

お手入れのときや、旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

お手入れのときや、本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードの被覆が溶けて火災・感電の原因となることがあります。

人が通行するような場所に置かないコード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続･配置してください。

風通しの悪いところに入れない・密閉した箱に入れない・じゅうたんや布団の上に置かない・布などをかけない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

たこ足配線をしない

火災・感電の原因となることがあります。

重いものを置いたり、上に乗ったりしない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。特にお子様やペットにはご注意ください。

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

液晶画面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

内部の掃除をお買い上げ店に依頼する

内部にほこりがたまると火災・故障の原因となることがあります。3 年に 1 度は内部の掃除をお買い上げ店にご依頼ください。

⚠ 音量について

周囲の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時等に避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞きください。

アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店ご依頼ください。

⚠ 注意（乾電池）

指定された種類の電池を使用する
間違えると電池の破損・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池は幼児の手の届くところに置かない
電池は飲み込むと、窒息の原因となったり、胃などに止まったりして大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

電池の液がもれたときは素手でさわらない
- 電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

廃棄するときは
廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

⚠ 注意（廃棄）

一般の廃棄物と一緒にしない
一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。

家電リサイクル法に従って廃棄する
家電リサイクル法の規定により、お客様がご使用済みのテレビを廃棄される場合は、収集・運搬と再商品化等料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村等の自治体に適正に引き渡すことが求められています。

詳細に関するお問い合わせは、家電製品協会までお願いいたします。

電話：（03）3578 − 1311（代表）

ホームページ（URL）：
http://www.rkc.aeha.or.jp/text/p_procedure_s.html

使用上のご注意・お手入れについて

液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒いところでご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元にもどります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

輝点・滅点について

- 画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

メモリーに保存されるデータに関するご注意

(☞ 69 ページ参照)

- 本機のメモリーには、各種の機能設定データや放送局からのメール、番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、上記のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。予めご了承ください。

スクリーン画面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてくください。また画面の汚をふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その販売会社にご確認下さい。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり塗装がはげたりすることがあります。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

アンテナについて

- 妨害電波の影響を避けるため、交通のひんぱんな自動車道路や電車の架線、送配電線、ネオンサインなどから離れた場所に立ててください。
- アンテナ線を不必要に長くしたり、束ねたりすると、映像が不安定になる原因となりますのでご注意ください。
- アンテナは風雨にさらされるため、定期的に点検、交換することを心がけてください。美しい映像でご覧になれます。特にばい煙の多いところや潮風にさらされるところでは、アンテナが傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げ店にご相談ください。

電磁波妨害に注意してください

●本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。

長時間ご使用にならないとき

●長時間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

国外では使用できません

●この製品が使用できるのは日本国内だけです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

B-CAS カードは必要なときだけ抜き差ししてください

●必要以外に抜き差しすると、故障の原因となることがあります。

●B-CAS カードの中には IC が内蔵されています。折り曲げたり、大きな衝撃を加えたり、端子部に触れたりしないようにご注意ください。

●本機に差し込むときは「逆差し込み」や「裏差し込み」にならないように挿入してください。

結露について

●本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。結露が起きたときは、結露がなくなるまで電源を入れずにお待ちください。そのままご使用になると故障の原因となります。

取り扱い上のご注意

●液晶画面を強く押したり、ボールペンのような先の尖ったもので押さないでください。また、落としたり強い衝撃を与えないようにしてください。特に液晶画面のパネルが割れることがあります。

●振動の激しいところや不安定なところに置かないでください。また、絶対に落としたりしないでください。故障の原因となります。

使用環境について

●本機を冷えきった状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ（結露）、本機の性能を十分に発揮できなくなるばかりでなく、故障の原因となることがあります。このような場合は、よく乾燥するまで放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

●周辺温度は 5 ～ 35℃の範囲内でご使用ください。正しい使用温度を守らないと、故障の原因となります。

急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は避けてください

●急激な温度差がある部屋（場所）でのご使用は、画面の表示品位が低下する場合があります。

リモコンの取り扱いについて

●落としたり、踏みつけたり、液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。

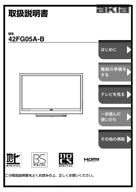
●直射日光が当たるところ、暖房器具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

映像や音声の遅れについて

●テレビ放送、外部入力のソースによっては、映像や音声に若干の遅れが生じる場合があります。映像、音声でリズムを取るテレビゲームやカラオケ機器によっては、違和感を感じる場合がありますが、故障ではありません。予めご了承ください。

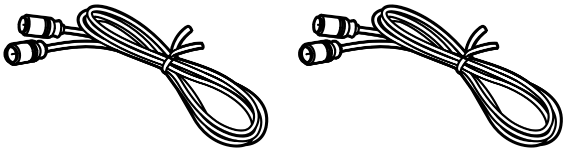
付属品

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。



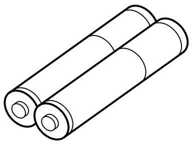
1. 取扱説明書 x1 部

2. 保証書 x1 部

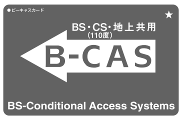


3. アンテナケーブル x2 本

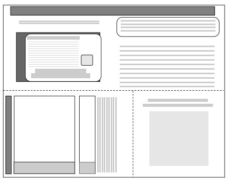
4. 赤外線リモコン x1 台



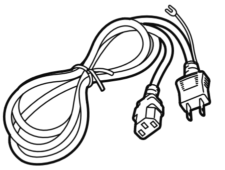
5. リモコン用単四乾電池 x2 本



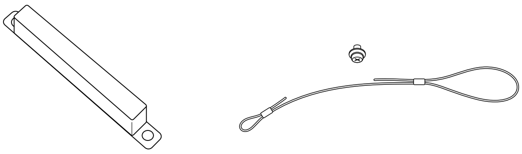
6. B-CAS カード（レッドカード）x1 枚



7. B-CAS 用ユーザー登録はがき台紙 x1 枚



8. AC（電源）ケーブル x1 本



9. B-CAS カード固定具 x1 個
転倒防止用ストラップ x1 セット

本書の読みかた

説明のしかたについて

● 本書は、リモコンでの操作を前提に説明をしております。特に必要がある場合を除いて、リモコンのみでの操作説明とさせていただいています。
● 文中の太字は画面に表示される選択項目、括弧付きの太字はボタン名を表しています。
例）
選択項目：**受信設定 / リモコン設定 / 受信レベル**
ボタン名：**[電源]/[映像切換]/[決定]**
● 本書の操作説明のページは、各ページ左側に説明文、操作に関連する表示やリモコンのイラストを記載しています。イラストは、そのページで使用するボタンがわかるように記載しています。
● 説明文中の用語には、専門性が高くわかりにくい言葉も含まれます。わかりにくい言葉については、「用語の解説」（☞ 88 ページ）をご覧ください。

一歩進んだ使いかた

デジタルメニューを使う（つづき）

見るだけ予約

ご覧になりたい番組を予約して、放送時刻に自動的にその番組に切替えることができます。

お知らせ
● 予約時刻に本機の電源がオフまたは待機になっていた場合は受信しません。

番組表から予約する

番組表（EPG）を使って番組を予約します。
❶ **[デジタルメニュー]** を押す
❷ **[◄ ►]** を押して**予約する**を選ぶ
❸ **[▲ ▼]** を押して**番組表から予約**を選び、**[決定]** を押す
❹ **[テレビ / ラジオ / データ]** を押してサービス種別を選ぶ
❺ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して予約したい番組を選び、**[決定]** を押す
[決定] を押すと、以下のメニューが表示されます。
戻る
メニューを閉じる。
番組説明
選択した番組の説明を表示する。
見るだけ予約
番組視聴の予約をする。
❻ **[▲ ▼]** を押して**見るだけ予約**を選び、**[決定]** を押す
❼ **[◄ ►]** を押して**決定**を選び、**[決定]** を押す

お知らせ
● **[番組表]** を押して番組表を表示させ、ご希望の番組を選んで **[赤]** を押しても予約できます。
● 見るだけ予約を指定した番組がペイ・パー・ビューの有料放送の場合、購入するかどうかの確認画面になります。購入する場合は**購入**を、しない場合は**戻る**を選んで **[決定]** を押してください。

56

42FG05A-B

アイコンについて

ご注意

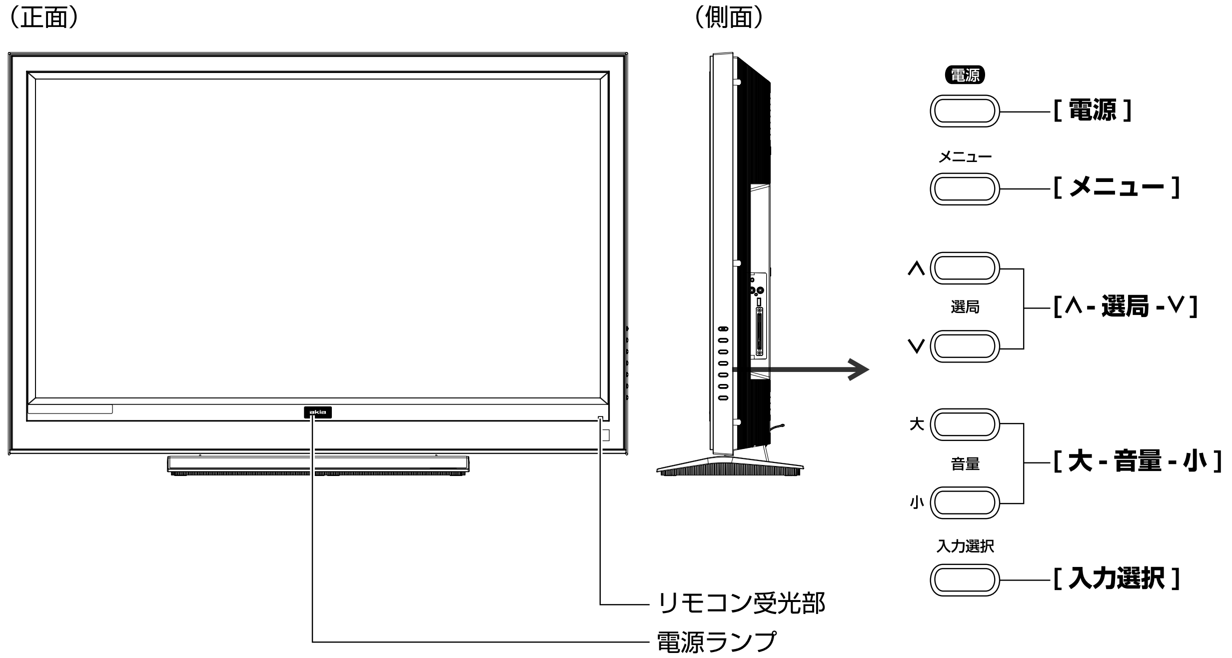
説明文中で、とくにご注意頂きたい点を説明する際に使用しています。重要な内容を含みますので、必ずお読みください。

お知らせ

本機を快適にお使いいただく上で知っておいていただきたい内容を説明する際に使用しています。できるだけお読みください。

各部の名前

本体操作部



[電源]
電源オンまたは待機（電源ランプ白またはオレンジ）と電源オフ（電源ランプ消灯）の切り替えを行います。

ご注意

● 電源を切ると電源ランプは消灯しますが、完全に電源から切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。旅行などで本機を長時間使用されないときは、コンセントを抜いてください。

[メニュー]
設定メニューを表示します。

[∧- 選局 -∨]
チャンネルの順送りによる選局を行います。
ひとつ前のメニューに戻る、あるいは選択項目の減少を行います。

[大 - 音量 - 小]
スピーカー（またはヘッドホン）からの音量調整を行います。
また設定メニューからの項目の選択、調整にも使います。

[入力選択]
入力信号の選択画面を表示します。
選択画面表示中は、繰り返し押すことで入力を切り替えます。
[∧- 選局 -∨] を押してご希望の入力が選択されたら、そのまま 3 秒ほどお待ちください。

設定メニュー表示中の操作

[メニュー]
ひとつ前のメニューに戻ります。

[∧- 選局]
ひとつ上の選択肢に移動します。

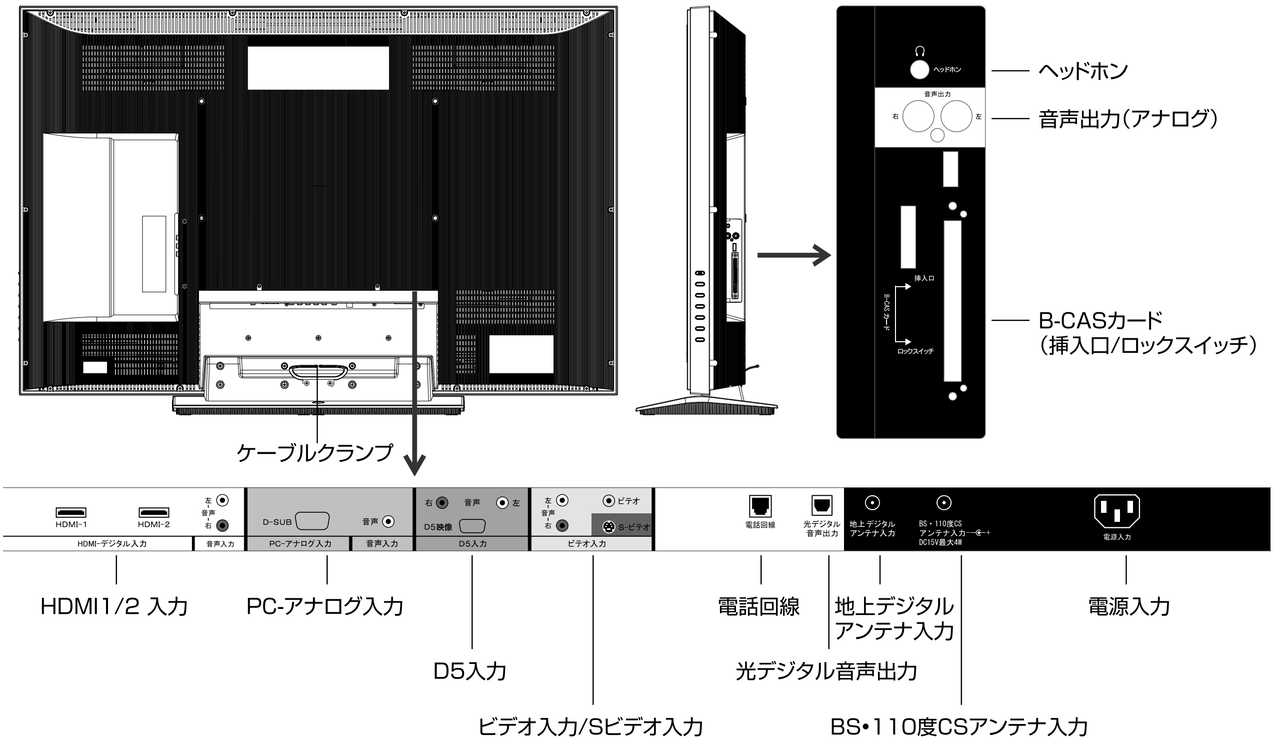
[選局 -∨]
ひとつ下の選択肢に移動します。

[大 - 音量]
項目選択の確定、または設定値の増加を行います。

[音量 - 小]
設定値の減少を行います。

本体接続部

（背面）　　（右）



HDMI 1/2 入力（白）
市販のHDMIケーブルを使用して対応機器を接続します。アナログ音声接続が必要な場合は市販のオーディオケーブルを使用して音声入力端子に接続します。

ご注意
- アナログ音声を接続した場合、HDMIの音声は1/2双方ともアナログ音声端子からの入力のものになります。

PC- アナログ入力（青）
市販のVGAケーブルを使用してパソコンを接続します。音声は市販のステレオミニケーブルを使用して音声入力端子に接続します。

D5 入力（緑）
市販のDケーブルを使用して対応機器を接続します。音声は市販のオーディオケーブルを使用して音声入力端子に接続します。

ビデオ入力（黄）/S ビデオ入力（赤）
市販のビデオケーブルかSビデオケーブル / オーディオケーブルを使用して対応機器を接続します。

電話回線（白）
市販のモジュラーケーブルを使用して電話回線に接続します。

光デジタル音声出力（白）
市販の光ケーブルを使用して対応機器を接続します。

地上デジタルアンテナ入力（黒）
付属のアンテナケーブルを使用して地上デジタル用アンテナを接続します。

BS・110 度 CS アンテナ入力（黒）
付属のアンテナケーブルを使用してBS・110度CS用アンテナを接続します。

電源入力（黒）
付属のAC（電源）ケーブル（電源コード）を接続します。

ヘッドホン（黒）
市販のヘッドホンを接続します。

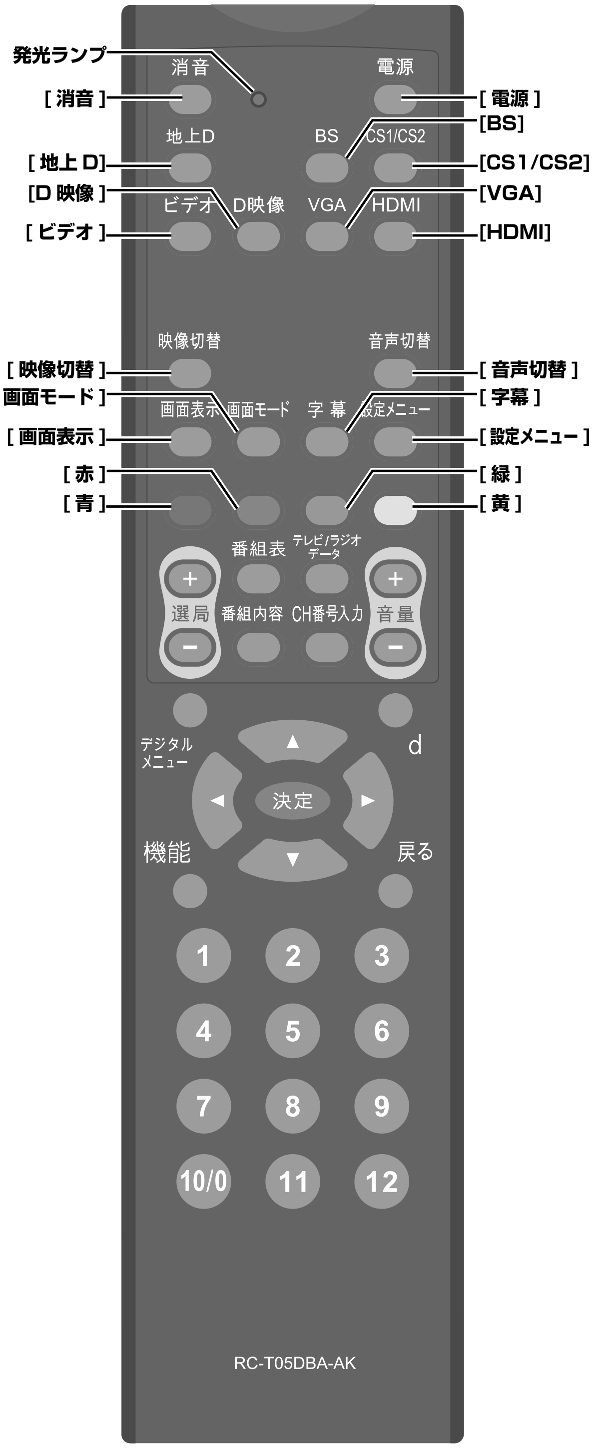
音声出力（アナログ）（白）
市販のオーディオケーブルを使用して対応機器を接続します。

B-CAS カード（挿入口 / ロックスイッチ）（黒）
B-CASカードを挿入します。

ケーブルクランプ
接続したケーブル類を束ねます。

各部の名前（つづき）

リモコン



[消音]
消音します。

発光ランプ
リモコンからシグナルが送られる時に点灯します。

[電源]
電源待機 / オンを切り替えます。

[地上 D]
地上デジタル放送を受信します。

[BS]
BS デジタル放送を受信します。

[CS1/CS2]
110 度 CS デジタル放送を受信します。

[ビデオ]
ビデオ入力に切り替えます。

[D 映像]
D 入力に切り替えます

[VGA]
VGA（パソコンからの入力）に切り替えます。

[HDMI]
HDMI1 入力または HDMI2 入力に切り替えます。

[映像切替]
デジタル放送で複数の映像があるときにこれを切り替えます。

[音声切替]
デジタル放送で複数の音声があるときにこれを切り替えます。

[画面表示]
受信チャンネルなどの情報表示のしかたを切り替えます。

[画面モード]
画面モードを選択します。

[字幕]
デジタル放送で字幕があるときに、本機に出力する字幕を切り替えます。

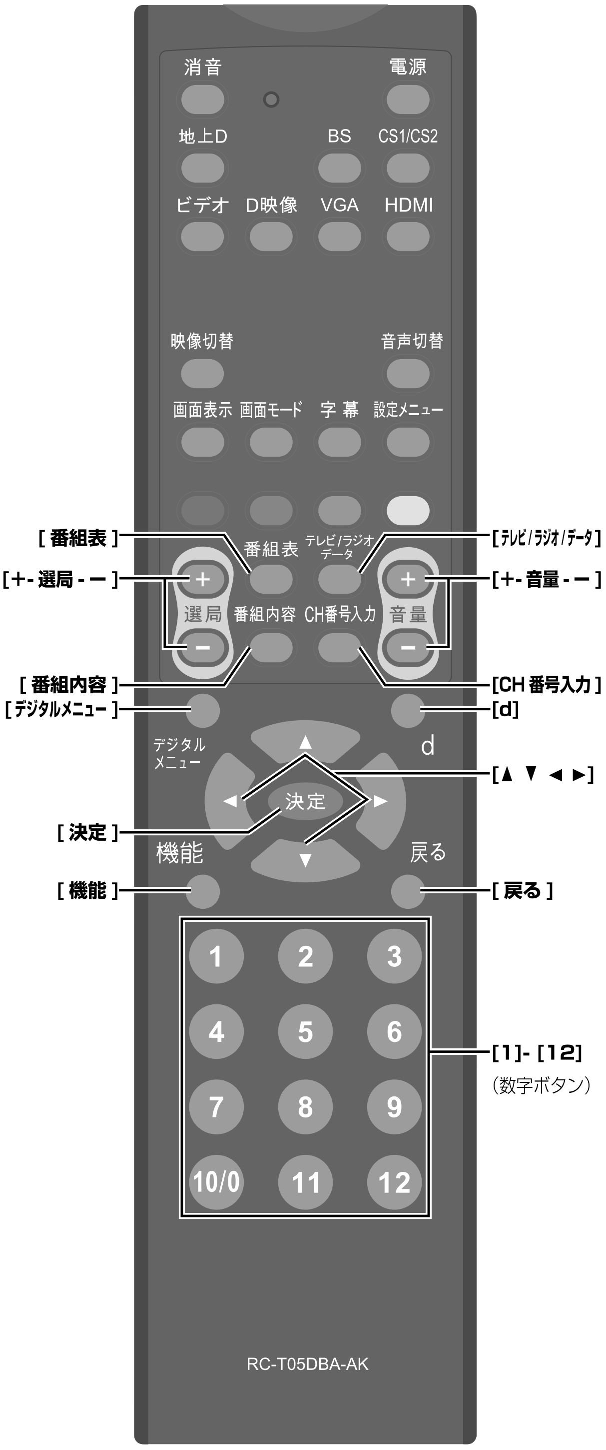
[設定メニュー]
設定メニューを表示します。

[青]/[赤]/[緑]/[黄]
デジタル放送中受信中の双方向サービスでの項目選択や、デジタルメニュー中の操作選択をします。

[＋ - 選局 - ー]
チャンネルの順送りによる選局を行います。
[番組表]
番組表（EPG：電子番組表）を表示します。
[番組内容]
現在視聴している番組の詳細情報を表示します。
[テレビ / ラジオ / データ]
デジタル放送のサービス種別を選択します。

お知らせ
● G ガイドは、地上デジタル G ガイド対応受信機向けのチャンネルです。映像や音声はありません。

[CH 番号入力]
チャンネル番号を直接入力して選局するとき使用します。
[＋ - 音量 - ー]
スピーカー（またはヘッドホン）からの音量調整を行います。
[デジタルメニュー]
デジタルメニューを表示します。
[d]
データ放送画面に切り替えます。
[▲、▼、◄、►]
メニュー操作中などに、項目を選びます。
[決定]
[▲、▼、◄、►] での選択を確定します。
[機能]
機能メニューを表示します。
[戻る]
前の表示に戻ります。
[1]-[12]（数字ボタン）
チャンネルの直接選局などの数字入力に使用します。



デジタル放送について

本機では 3 種類のデジタル放送を視聴することができます。デジタル放送では、以下のようなアナログ放送には無い機能を楽しむことができます。

デジタル放送の特徴

高画質・高品質

デジタル放送では、従来のアナログ放送でみられるようなゴースト（映像の二重化）やスノーノイズ（雪が舞っているようなちらつき）といった映像の乱れが起こりません。なかでもデジタルハイビジョン放送では、アナログの通常放送と比較して走査線数（ブラウン管方式のテレビの映像の細密度を示す指数）で約 2 倍、解像度にして約 8 倍の高精細映像を楽しむことができます。音声についても、音質が劣化しにくい方式で伝送しているため、高音質な音声を再現できます。

データ放送

テレビ番組と連動したデータ放送や、天気予報や地域情報などの独立したデータ放送の受信ができます。

電子番組表（EPG）

デジタル放送では、送られてくるデータの中に番組の情報が含まれています。これを利用して画面上に番組表を表示することができます。
したがって、最初にご使用になる時、設定初期化 (☞ 69 ページ) 後、あるいは電源を長期間（一週間以上）外していた場合などには、表示されません。なお、電源を接続してあれば、深夜に自動的に受信して最新の番組表に更新します。

双方向サービス

テレビ上でのショッピングやリクエスト、クイズ番組の解答など、視聴者として番組に参加することができます。

マルチ（複数）チャンネル

デジタル放送では大量のデータを送信ができるため、一つの放送局が複数の番組を放送することができます。番組のバリエーションが増え、選択の幅が広がります。

ラジオ放送

音楽 CD 並みに高音質な音声のみの放送を楽しむことができます。

臨時編成サービス

スポーツ中継が延長になった場合などに、別チャンネルで予定されていた番組を放送することができます。（イベントリレー）

マルチビューサービス

放送中の番組を、別のカメラから見た視点で見ることができます。

字幕放送

デジタル放送の番組のせりふなどの音声を、文字にして画面に表示させることができます。

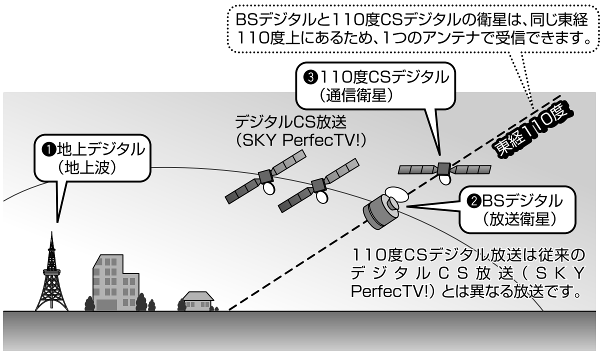
文字スーパー

地域情報や速報など、番組に連動しない文字情報（文字スーパー）を画面に表示することができます。

※ 上記のサービスや機能は、全てのデジタル放送の種類や放送局、番組で行っているというものではありません。

本機で視聴可能なデジタル放送の種類

本機で視聴できるデジタル放送は、地上デジタル、BS デジタル、110 度 CS デジタルの 3 種類のみです。
スカパー！（スカパー！ e2 を除く）など、上記を除くデジタル CS 放送には対応しておりません。



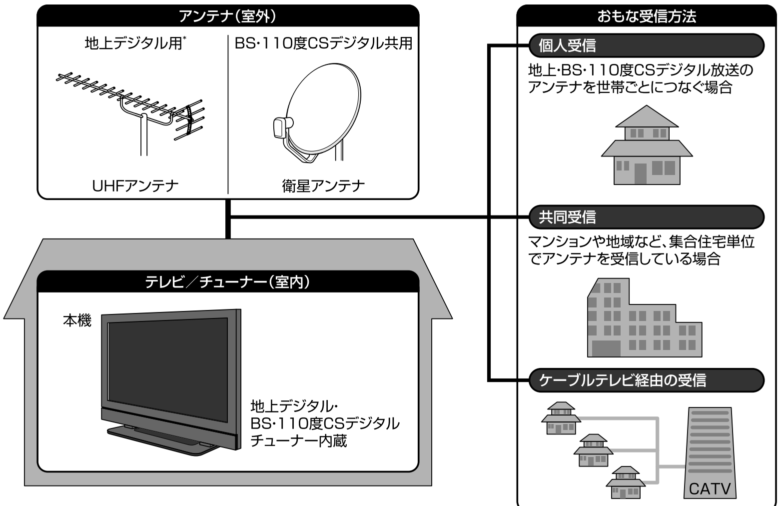
デジタル放送を視聴するための準備

アンテナ等について

デジタル放送を視聴するためには、受信用アンテナの用意をする必要があります。また、BS・110 度 CS デジタル放送を受信するには、放送局や放送事業者に受信申し込みをする必要があります。
これらの準備の仕方は、本機をご使用になる環境によってことなります。詳しくはお買い上げ店等でご確認ください。

お知らせ

- 地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナを使用します。現在お使いのアンテナが UHF 対応のものであれば、基本的にそのままご使用いただけますが、場合によっては調整やブースターの追加が必要になることもあります。詳しくは販売店等にお問い合わせください。
- 衛星放送用には BS・110 度 CS 共用アンテナをご使用ください。アンテナ線 / ブースター / 分配器等は、110 度 CS 帯域 (2150MHz) まで対応しているものをご使用ください。その他のものを使用すると、映像が映らない場合があります。BS デジタル放送専用のアンテナでは１１０度 CS 放送は受信できません。



* 地上デジタルはVHFアンテナではご覧になれません。

お住まいの環境に合わせてアンテナをご用意ください。

機器の準備をする

この章では、本機や本機に接続する機器の設置および設定方法についてご説明いたします。

●設置のしかた P22

●リモコンについて P24

●アンテナの接続 P25

●電話の接続 P28

●他の機器との接続 P29

●電源コードの接続 P34

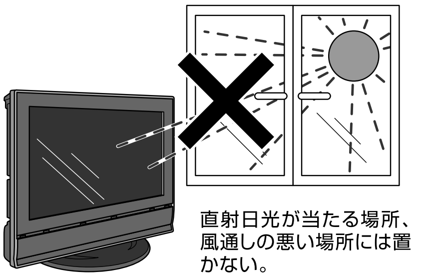
設置のしかた

本機は重量のある精密機器です。運搬や設置を行う際は、落下や転倒に十分注意してください。また、動作が安定する場所に設置するようにしてください。設置はできるだけ専門業者に依頼してください。

設置の手順

1 置く場所を決める

● 直射日光が当たらず、気温が安定している場所を選んでください。
● グラつきなどがなく、きちんと固定できる場所を選んでください。



直射日光が当たる場所、風通しの悪い場所には置かない。

2 配置する

ご注意

● 液晶パネル部に手を触れないようにご注意ください。
● 本機を移動させるときは、必ず二人以上でお持ちください。

お知らせ

● 壁にかけて使用される場合は、かならずお買い上げ店または工事業者にご依頼ください。

3 転倒防止策を実施する

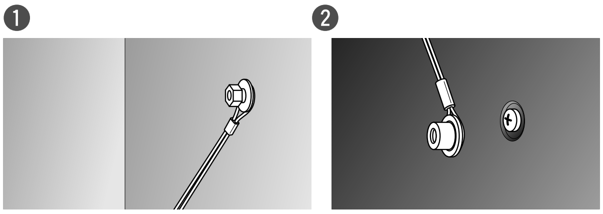
付属の転倒防止用ストラップをご使用いただき、転倒防止策を実施してください。

❶ 転倒防止用ストラップの片側を壁に取り付ける

● 本機との取付後に、ストラップにたるみが出ないように位置を確認してください。
● 壁から、転倒防止用ストラップ、ワッシャー、ネジ（ボルト）の順に取り付けてください。
● 木造モルタル壁の場合は M8 以上の木ねじを、コンクリート壁の場合はアンカーボルトをご使用ください。必ず、ワッシャー付きのものをご使用ください。

❷ もう片方を、本機の壁掛け用の穴（☞ 94 ページ）の一つに取り付ける

● 本機から、転倒防止用ストラップ、ワッシャー、ネジの順に取り付けてください。



ご注意

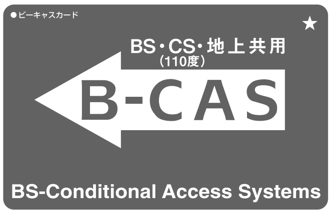
● 本機が転倒すると、お客様のけがや本機の故障につながります。かならず転倒防止策を実施してください。
● 上記の方法で本機の固定ができない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。

通風孔について

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しの悪い場所（棚や押入れの中など）や、絨毯や布団の上に置かないでください。また布をかけたりしないでください。定期的に掃除機で通風孔にたまったごみを除去してください。

B-CAS カードを入れる

B-CAS カードについて



- 地上デジタル放送・BS デジタル放送・110 度 CS デジタル放送が視聴制限に使用しているのが B-CAS カードです。
- デジタル放送をお楽しみいただくためには、B-CAS カードを本機に挿入していただくことが必要です。同梱の B-CAS 用ユーザー登録はがきまたは Web によるユーザー登録をお勧めします。（登録は任意で無料です。）

お知らせ

- スカパー！ e2、WOWOW などの有料サービスをご利用のされる場合は、別途契約が必要です。
- B-CAS カードに関するお問い合わせは、カードの裏面記載の（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンターまでお願いいたします。

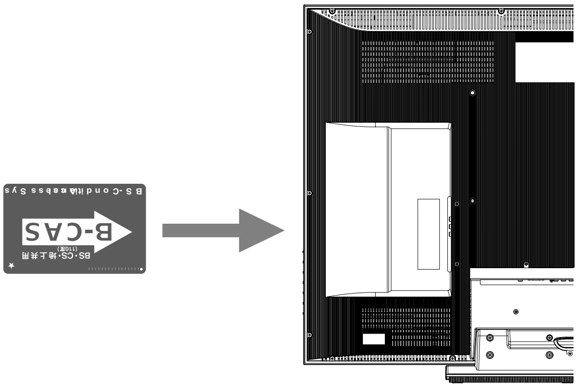
B-CAS カードの入れかた

❶ 本機の電源を切る

❷ 同梱の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解していただいた上で、台紙から B-CAS カードをはがす

❸ B-CAS カードを挿入する

❹ 同梱の B-CAS 用ユーザー登録はがきに記入し、投函する



お知らせ

- B-CAS カードには視聴情報などが記憶されますので、本機に入れたままご使用ください。
- B-CAS カードの盗難等にご注意ください。他人がお客様のカードを使用して有料番組を視聴した場合も、視聴料はお客様の口座に請求されます。
- B-CAS カードは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズから貸与されているものです。本機を廃棄なさる場合は同社にご返却ください。また本機を他の人に譲渡なさる場合は、新しい所有者の名義に変更してください。

取扱い上のご注意

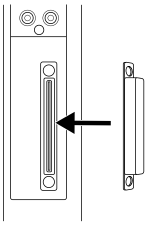
- B-CAS カードを折り曲げたり、傷つけたりしないでください。破損等による B-CAS カードの再発行は有料です。
- B-CAS カードの金属部（集積回路）には触れないでください。
- B-CAS カードの抜き差しは、必要な場合を除いて行わないようにしてください。抜く場合は、ロックスイッチをずらして抜いてください。

付属の B-CAS カード固定具について

付属の B-CAS カード固定具は、店頭展示や公共の場所でご利用いただく場合の盗難防止用具です。ご家庭等でご利用いただく場合は必要ありません。

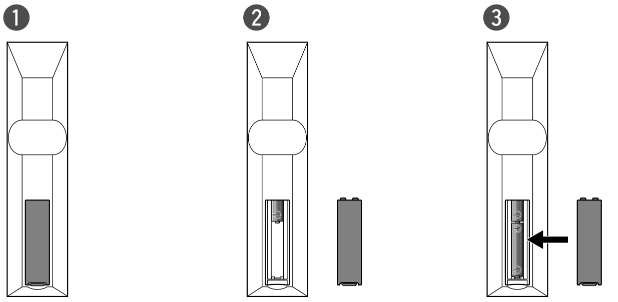
取り付け方法

B-CAS カードスロットのねじを外し、B-CAS カード固定具の穴をロックスイッチに合わせて装着して再度ねじ止めしてください。



リモコンについて

電池の入れ方



❶ バッテリカバーを開ける

❷ ＋極、－極の向きを確認し、正しい方向で単４電池の一本目を奥に入れる

❸ 続けて同様に二本目を入れ、カバーがカチッというまで押して閉める

ご注意

乾電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂することがあります。特に以下の点に注意してお使いください。

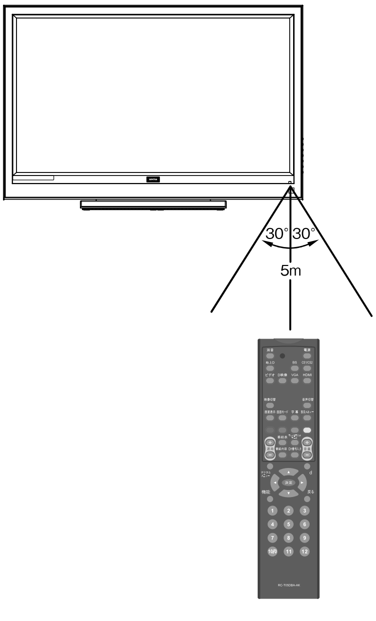
- 違う種類の乾電池を混ぜて使用しない。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
- 使えなくなった乾電池はすぐに取り出す。
- 液漏れした乾電池は使用しない。
  漏れた液に触れると肌が荒れることがあります。万一、液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

お知らせ

- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- リモコンを長く使わないときは電池を取り出しておいてください。
- 乾電池を廃棄するときはお住まいの自治体で定める廃棄方法に従ってください。

操作のしかた

本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



ご注意

- リモコンには衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり温度の高い所に置いたりしないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所に取り付けたり、放置したりしないでください。熱により変形することがあります
- 本体のリモコン受光部に直射日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなることがあります。その場合は照明または本体の向きを変えるか、リモコン受光部にリモコンを近づけて操作してください。
- リモコンを操作してもテレビが動作しない場合は、新しい乾電池と交換してください。

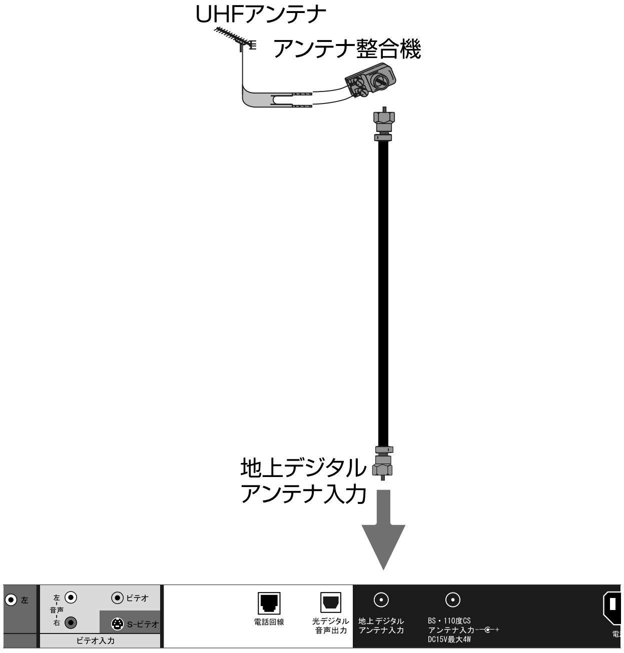
アンテナの接続

ご注意

- アンテナの取り付け・配線は、必ず専門業者にご依頼ください。
- ケーブルテレビをご利用の場合、ケーブル会社からの再送信の方式によって接続のしかたが異なります。詳しくは、ケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

単独での接続

地上デジタル放送用のアンテナを接続する



地上デジタル放送の受信には、UHF アンテナを使用します。付属のアンテナケーブルを使用して地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。

- 現在 UHF アナログ放送を受信されており、地上デジタル放送がアナログ放送と同じ送信所から送られている場合は基本的に現在ご使用中のアンテナをそのままご使用いただけますが、場合によっては角度等の調整やブースターの追加が必要になることもあります。詳しくは販売店等にお問い合わせください。
- 現在 UHF 放送を受信していない場合、またはアナログ放送と地上デジタル放送が異なった送信所から送られている場合は、新たに UHF アンテナをご購入ください。地上デジタル放送専用のアンテナ設置をお勧めします。
- ご自宅のアンテナ線がフィーダー線の場合は、円筒形の同軸ケーブルに変換するため、市販のアンテナ整合器をお使いください。
- 受信設定メニュー（☞ 63 ページ）を使用して受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。お住まいの地域・地形によって受信レベルは異なりますが、目安としては５０以上できれいに受信できます。受信レベルが上がらない場合は、市販のブースターをつけることをお勧めします。

機器の準備をする

アンテナの接続（つづき）

単独での接続（つづき）

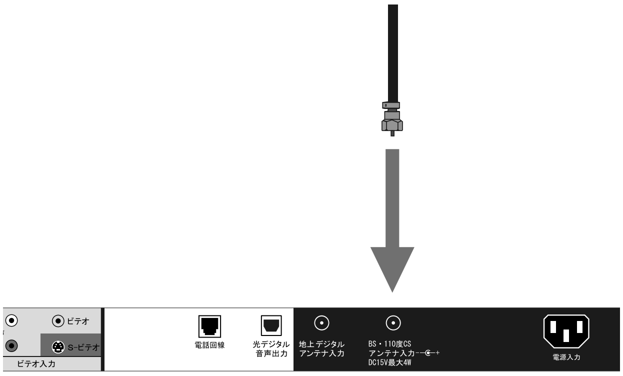
BS・110 度 CS 共用アンテナを接続する

付属の BS・110 度 CS アンテナケーブルを、BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子と BS・110 度 CS アンテナに直接接続します。

- BS・110 度 CS アンテナには電源が必要です。初期設定では、本機からアンテナに電源を供給する設定になっています（「アンテナ電源の設定を表示する（☞ 64 ページ）」をご参照ください）。
- アンテナは BS・110 度 CS 共用アンテナをご使用ください。アンテナ線 / ブースター / 分配器等は、110 度 CS 帯域（2150MHz）まで対応しているものをご使用ください。その他のものを使用すると、映像が映らない場合があります。 これまでご使用になっていた BS アンテナでも、性能や方向調整が十分な場合は BS デジタル放送を受信できますが、110 度 CS デジタル放送の受信には BS・110 度 CS 共用アンテナが必要です。
- スカパー！ e2 を除くスカパー！用のアンテナでは 110 度 CS デジタル放送は受信できません。
- BS・110 度 CS 共用アンテナの取り付けについては、アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- BS・110 度 CS デジタルアンテナ入力端子に VHF/UHF のアンテナ線を接続しないでください。故障の原因となります。
- 受信設定メニュー（☞ 63 ページ）を使用して受信レベルが最大になるようにアンテナの方向を調整してください。４５以上あればきれいに受信できます。

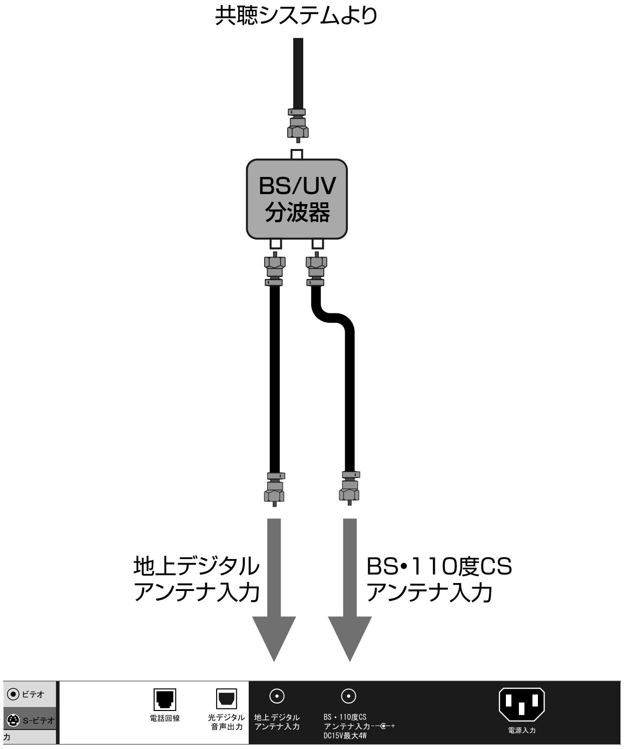
お知らせ

- 家庭用分配器を使って複数の BS 機器をつなぐときは、どの端子からも電源を供給するタイプを必ずお使いください。
  また、本機の電源を待機状態・オフ状態の時または地上デジタル放送受信中は本機からはアンテナ電源は供給されません。他の BS 機器をお使いになる場合は、当該機器より電源を供給してください。
  なお、再度 BS・１１０度 CS 放送に切り替えるとアンテナ電源は再びオンになります。他の入力（ビデオ入力など）に切り替えた場合はアンテナ電源は切れません。



マンションなどの共聴システムでの接続

● まずはお住まいのマンションなどが、地上デジタルやBS・110度CSデジタルにどのように対応しているかを、マンション管理会社などにご確認ください。
● BS・110度CSとVHF/UHFが混在されている場合は、市販のBS/UV分波器を使用して接続します。分波器は110度CS帯域（2150MHz）まで対応している金属シールドタイプをお選びください。



電話の接続

電話回線を接続する

有料放送（ペイ・パー・ビュー）の購入のための通信や、データ放送の双方向サービスを受けるためには、本機を電話回線に接続する必要があります。

❶ 本機と電話機の電源を切る

❷ 電話機の接続線をモジュラージャックから外す

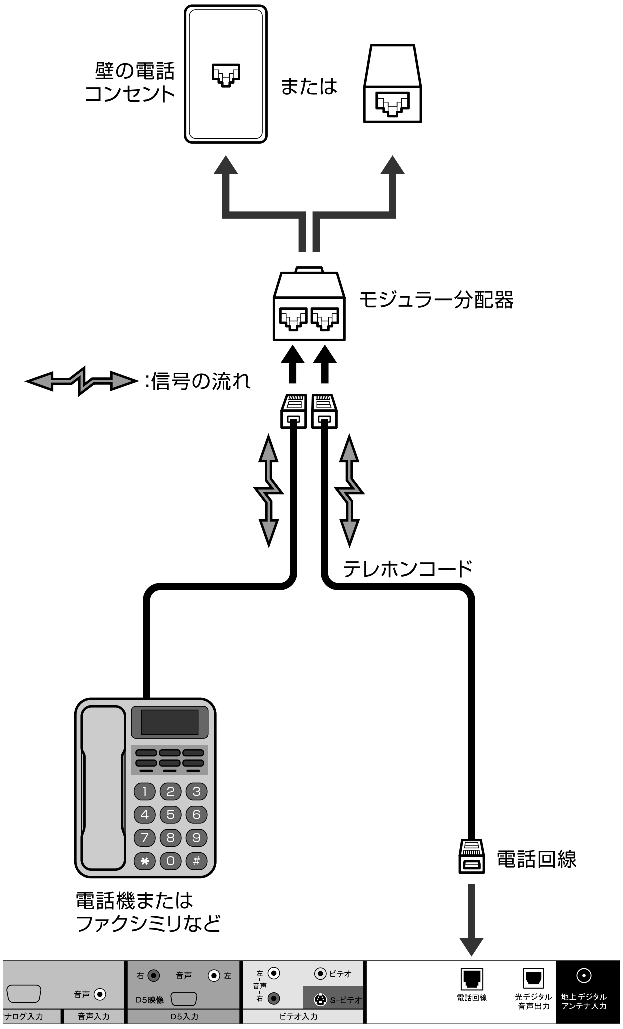
❸ 市販のモジュラー分配器をモジュラージャックに接続する

❹ 電話機の接続線を、モジュラー分配器の一方に差し、もう一方に市販の電話線を差し込む

❺ 電話線を本機に接続する

ご注意

- 現在お客様が使用されている電話回線の形がモジュラージャックでない場合は、お買い上げ店またはNTT営業窓口（局番無しの116）におたずねください。
- 構内電話をご使用の場合は、そのままではご利用いただけない場合があります。詳しくは電話設置会社等におたずねください。
- キャッチホンが入ると通信が途切れてしまいます。キャッチホンツーへのご加入をお勧めします。詳しくはNTT営業窓口（局番無しの116）におたずねください。
- 本機による通信中は電話のご利用を控えてください。通信が途切れる場合があります。
- 直接デジタル回線に接続することはできません。デジタル回線に接続するときは、ターミナルアダプター等の端末機器を介して接続してください。



他の機器との接続

本機をDVDプレーヤー、HDDレコーダー、ビデオカメラ、ゲーム機、パソコンなどと接続してモニターとして使用することができます。

ご注意

- 接続の前に、本機や接続する機器の電源をお切りください。
- 接続ケーブルの抜き差しは、ケーブルでなくプラグを持ってしっかりと行ってください。
- ノイズが出る場合は、機器間の距離が十分にとれるように配置してください。
- 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

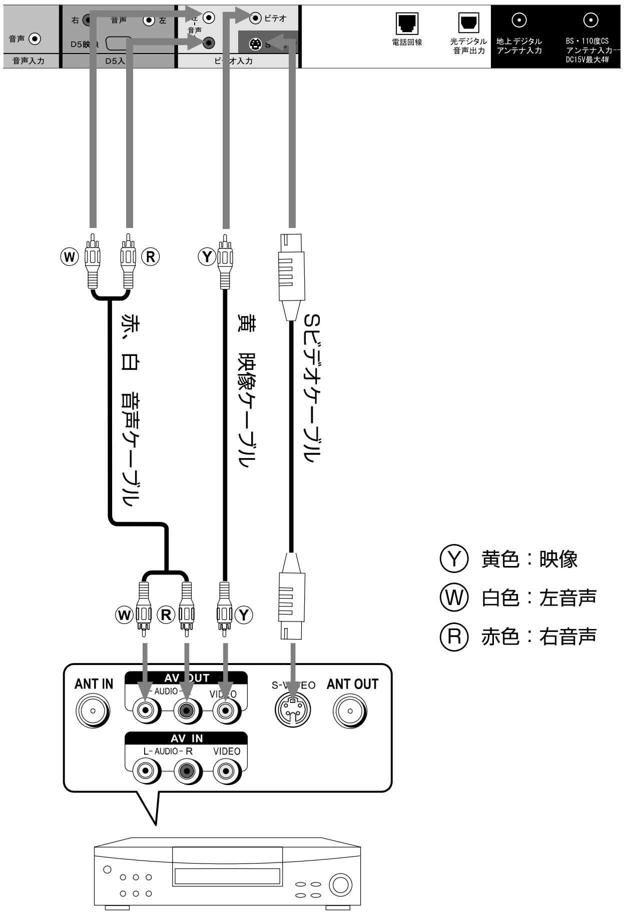
DVDプレーヤーなどを接続する

映像入力端子に接続する

黄、赤、白のAVケーブルでVCRなどのAV出力端子と、本機のAV入力端子を接続します。プラグと端子の色をそれぞれ合わせるようにしてください。

S映像入力端子に接続する

Sビデオケーブルで AV 入力端子に接続することもできます。Sビデオの方が AV 入力端子での接続より良い画質が得られます。音声については、前述同様 AV ケーブル（赤、白）で接続します。



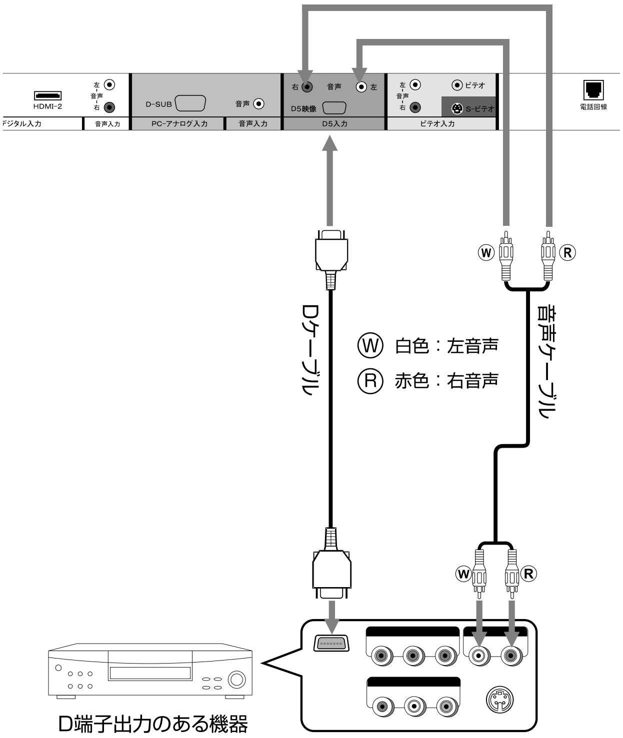
VCR

他の機器との接続（つづき）

DVD プレーヤーなどを接続する（つづき）

D 端子に接続する

D 端子出力のある機器と D ケーブルで接続します。音声は AV ケーブルで D 端子用の音声入力端子に接続します。



お知らせ

- 本機の D 端子は D5 規格です。これは D 端子規格の中で D1、D2、D3、D4 および D5 入力信号を自動的に判別して表示する機能を持った端子です。接続する機器からどのような信号が出力されているかは接続する機器の仕様書をご覧ください。

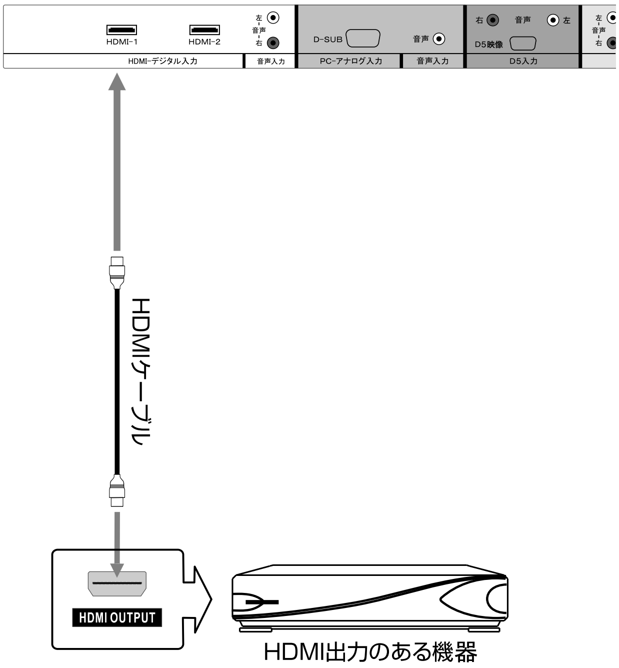
D 端子の種類と対応信号フォーマット

	525i (480i)	525p (480p)	1125i (1080i)	750p (720p)	1125p (1080p)
D1	○	×	×	×	×
D2	○	○	×	×	×
D3	○	○	○	×	×
D4	○	○	○	○	×
D5	○	○	○	○	○

- カッコ内の数字は有効走査線数と呼ばれるものです。お使いの機器によってはこちらの数字を表示している場合があります。
- 接続機器によっては、出力を D 端子に設定しなければ信号を出力しないものがあります。映像が表示されない場合は、接続する機器の取扱説明書をご覧頂き、設定してください。

HDMI 端子に接続する

市販の HDMI ケーブルを使い、HDD レコーダー、デジタルチューナーなどの HDMI 出力と本機の HDMI1 入力または HDMI2 入力をつないでください。
HDMI ケーブルはデジタル信号で映像と音声を 1 本で接続するのが通常ですが、本機は HDMI 用のアナログ音声入力端子も備えています。アナログ音声入力端子を使用されるときは、設定メニューの「音声設定」の項目で、「HDMI 音声入力」を「アナログ」に設定してください。



ご注意

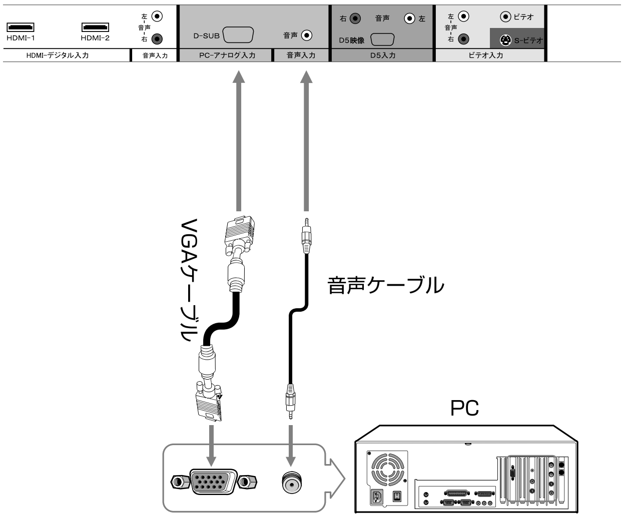
● メニューでアナログ音声入力を選択した場合、HDMI 入力の音声はすべてアナログ音声入力端子からのものになります。入力を HDMI に切り換えた時に画面中央に、また「画面表示」を押すと画面右上に「音声入力：アナログ」と表示されます。デジタル音声信号を含む HDMI 入力シグナルを視聴中、音声が出ない（もしくは別の音声が聞こえる）場合は、このメニューでデジタル音声入力に切り換えてください。

お知らせ

● パソコンなどの DVI 出力のある機器とも、DVI-HDMI 変換ケーブルを使うことで接続することができます。この場合は接続する機器の音声出力を、本機の HDMI 用の音声入力端子に接続してください。（DVI-HDMI 変換ケーブルを使用しての接続は保証しておりません。）
● 映像、音声が表示、出力されない場合は、接続する機器の説明書などで出力機器の設定をご確認ください。

パソコンを接続する

VGA ケーブルでパソコンの VGA 出力と、本機の VGA 入力を接続します。音声は､音声ケーブル(ミニステレオ)を接続します。対応フォーマットは以下の通りです。
● 640 x 480 @ 60, 75Hz
● 800 x 600 @ 60, 72, 75Hz
● 1024 x 768 @ 60, 70, 75Hz
● 720 x 400 @ 70Hz
● 1920 x 1080 @ 60Hz
パソコン側で外部出力の設定をしてください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。



お知らせ

● 全てのパソコンでの動作検証は行っておりません。（Macintosh など、Windows 2000/XP 以外の動作は検証しておりません。）また、パソコンのビデオカードなどによっては、上記のフォーマットでも表示できない場合があります。

他の機器との接続（つづき）

AV アンプなどを接続する

光デジタル音声出力

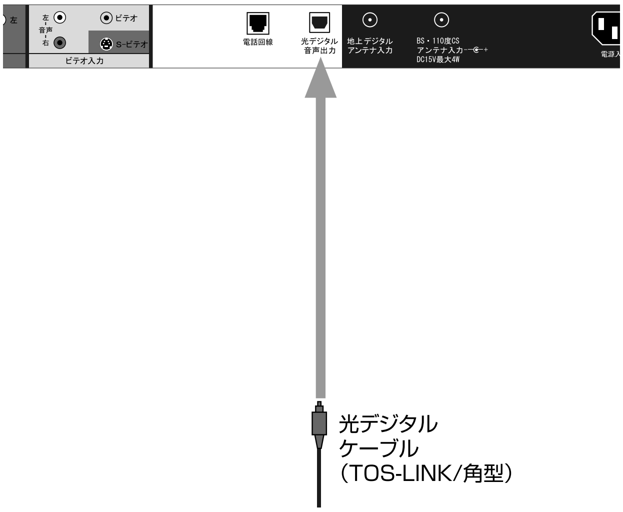
市販の光デジタルケーブルで AV アンプなどの光デジタル音声入力と、本機の光デジタル音声出力を接続します。光デジタル接続を使用することにより、AV アンプなどから音声を出力することができます。お手持ちの AV アンプが AAC に対応していれば、5.1ch の臨場感のある高音質な音声を楽しむことができます。

本機では接続する機器に応じてデジタル音声出力の設定を以下の二つから選ぶことができます。（☞ 65 ページ）

- AAC
  AAC 対応の AV アンプなどをつないでいるときに選択してください。音声が変換されずに出力されます。
- PCM
  AAC に対応していない AV アンプなどをつないでいるときに選択してください。音声が PCM（2ch）の音声に変換されて出力されます。

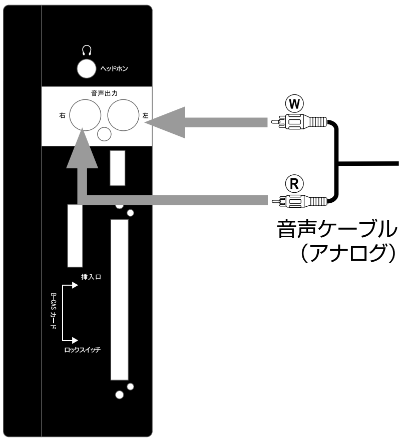
お知らせ

- この端子からはデジタル放送（地上、ＢＳ，ＣＳ）受信時のみ出力されます。



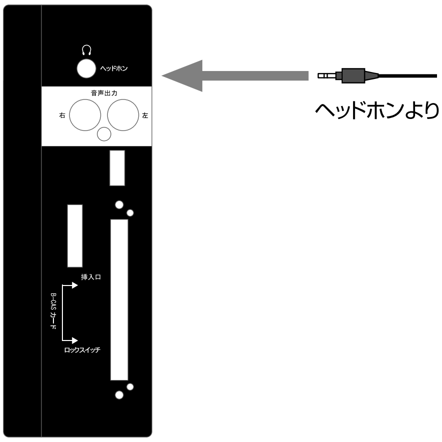
アナログ音声出力

市販の音声ケーブルで本機のアナログ音声出力端子と外部機器の音声入力端子の間で接続します。



ヘッドホンを接続する

市販のヘッドホンのプラグを、本機のヘッドホンジャックに接続します。



お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーから音が出なくなります。

ご注意

- ヘッドホンを使用されるときは、耳を必要以上に刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳を強く刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと、災害時等に避難が遅れてしまうなどの危険があります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量でお聞きください。

電源コードの接続

接続する

全ての接続が終わったら、最後に付属の AC（電源）ケーブル（電源コード）を接続してください。

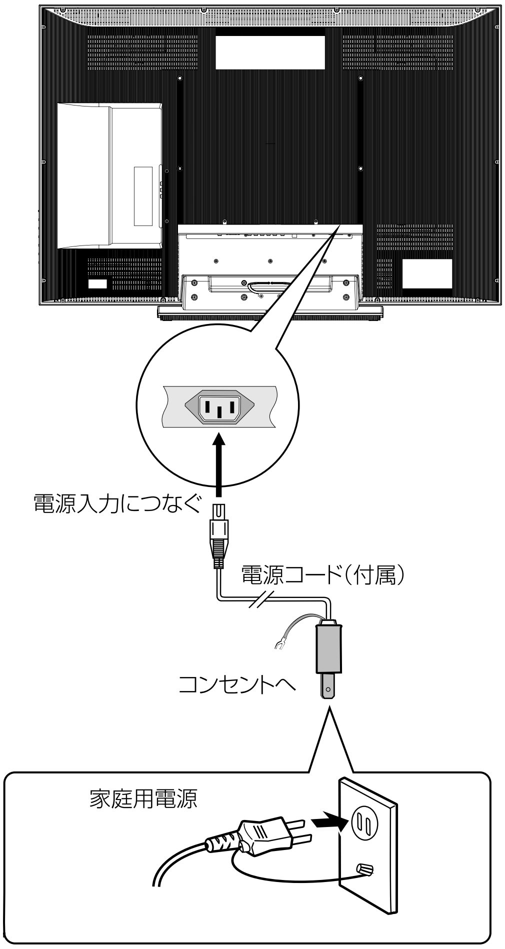
❶ 電源入力に付属の電源ケーブルを接続する

❷ 電源プラグについているアース線をコンセントのアース端子に接続する

● コンセントにアース端子が無い場合はお近くの専門店に依頼してアース端子を設置してください。

❸ コンセントにプラグを挿入する

● 本機前面の電源ランプがオレンジ色に点灯します。



電源に関するご注意

● 電源コードは必ず最後に接続してください。

● 付属の AC（電源）ケーブル（電源コード）は、本機専用です。他の機器では使用しないでください。また、本機に他の AC（電源）ケーブルを使用しないでください。

● 電源プラグは、抜き差しがしやすい位置の、壁のコンセントに直接差すようにしてください。

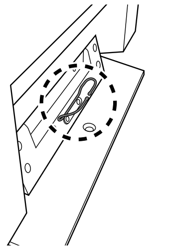
● アース端子は電源プラグをコンセントにつなぐ前に接続してください。外す時は電源プラグを抜いてからアース端子を外してください。

● 接続後は、電源プラグをコンセントに差したままご使用ください。ただし、長時間使用されないときは電源プラグを抜いてください。この場合、電子番組表は更新されません。（☞ 40 ページ）

● 使用中に電源プラグを抜いたり、電源を突然遮断しないようにしてください。設定等が無効になってしまうことがあります。まず本機の **[電源]** を押して電源を切り、その後で電源プラグを抜いてください。

お知らせ

● 接続後のケーブルは、ケーブルクランプで束ねておくことをお勧めします。



テレビを見る

この章では、テレビを見るための基本的な使いかたについて説明しています。

●共通の操作 P36

●テレビを見るための準備 P37

●チャンネルを選ぶ P38

●電子番組表を使う P40

●映像と音の操作 P42

共通の操作

電源を入れる / 切る

電源を入れる

❶ **[電源]** を押す

● 本体前面の電源ランプが白く点灯します。

電源を切る

❶ **[電源]** を押す

● 本体前面の電源ランプがオレンジ色に点灯します。

音量を調節する

[＋ - 音量 - ー] を押す

一時的に音を消す

[消音] を押す

もとに戻すには

● **[消音]** を再度押す

● **[＋ - 音量 - ー]** を押す

テレビを見るための準備

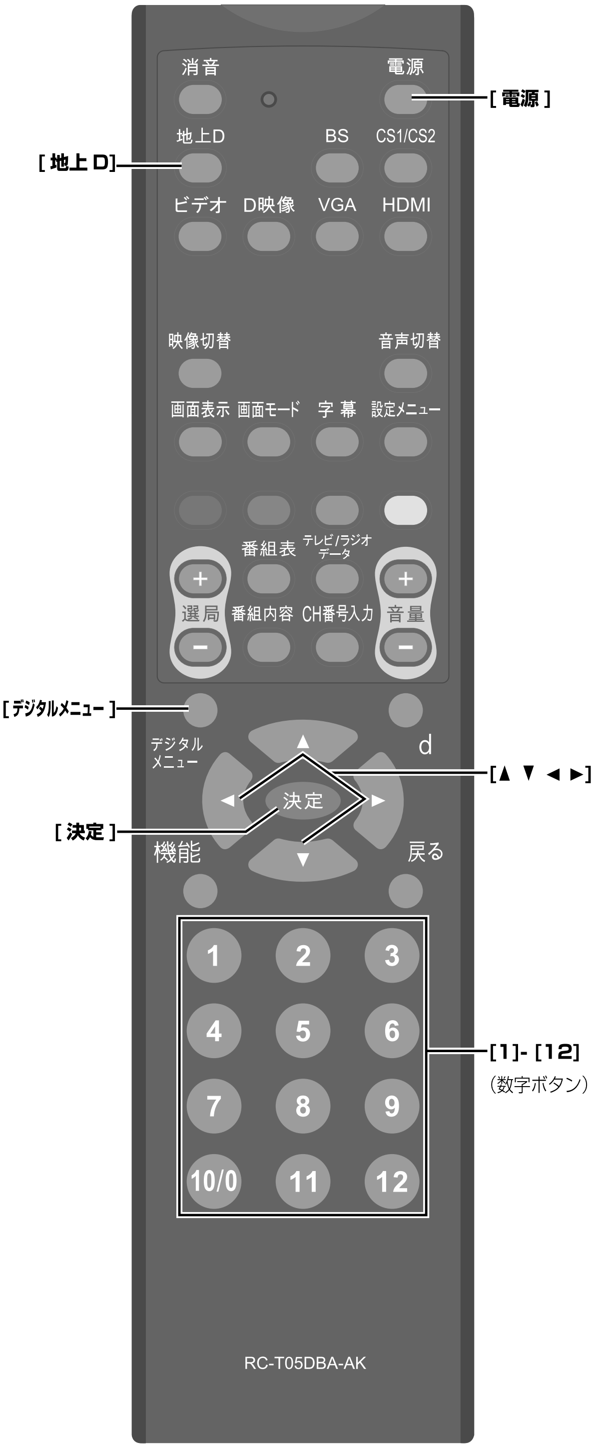
本機を初めてご利用される場合や、お客様のお住まいの地域が変わった場合は、初期設定を行う必要があります。設定を行わないと、テレビ放送を正常に受信できないため、視聴できるはずの番組が視聴できなくなります。

初期設定を行う

❶ **[電源]** を押す
❷ **[地上D]** を押す
❸ **[デジタルメニュー]** を押す
❹ **[◄ ►]** を押して**機器設定**を選ぶ
❺ **[▲ ▼]** を押して**本機の詳細設定**を選び **[決定]** を押す
❻ **[▲ ▼]** を押して**受信地域の設定**を選び **[決定]** を押す
❼ 数字ボタンでお住まいの地域の郵便番号を入れ **[▼]** を押す
❽ **[◄ ►]** を押してお住まいの地域を選び、**[▼]** を押して**決定**を選び **[決定]** を押す
❾ **[▲ ▼]** を押して**受信チャンネルのスキャン**を選び **[決定]** を押す
❿ **[◄ ►]** を押して**初期スキャン**を選び **[決定]** を押す

お知らせ

● BS デジタル放送・110 度 CS デジタル放送のチャンネルは自動的にスキャンされて記憶されます。
● 有料サービス（WOWOW 等）をご利用になる場合は放送会社と別途契約する必要があります。



チャンネルを選ぶ

お知らせ

- チャンネルを選んでから映像が切り換わるまでに時間がかかる場合がありますが、映像信号の変換等に時間がかかるためで、故障ではありません。
- 放送局番号と物理チャンネル
  地上デジタル放送では 1 つのチャンネルで最大 3 つの番組を放送できます。このため、チャンネルを指定しただけではどの番組を見るのか特定できません。そこで、3 桁の放送局番号によって番組を特定できるようになっています。最初の 2 桁が放送局を示し、最後の 1 桁でそのチャンネルのどの番組かを指定します。
  また、今までの UHF 帯のチャンネル番号をこの放送局番号と区別するために「物理チャンネル」と呼んでいます。
  BS デジタル放送・110 度 CS デジタル放送では、物理チャンネルは放送が使用している周波数帯域に放送法上で定義されている番号で、本機のリモコン番号や、新聞のテレビ番組欄に出ている数字とは異なります。
  ＢＳデジタル放送では、BS-1 から BS15 の奇数チャンネルに各々複数の物理チャンネルが割り当てられています。
  １１０度ＣＳデジタル放送は、ND2 から ND24 の偶数チャンネルに各々複数の物理チャンネルが割り当てられています。
  デジタル放送をご覧になる際に、通常は物理チャンネル番号が必要になることはありませんが、ごくまれに放送衛星･通信衛星の不具合により、受信する物理チャンネルを変更する必要が生じる場合もあります（「受信の設定を行う（☞ 63 ページ）」をご参照ください）。

入力を切り替える

❶ **[地上 D]**/**[BS]**/**[CS1/CS2]** を押して放送の種類を選ぶ

- CS 放送の 1 と 2 を切り替えるには CS 放送受信中に **[CS1/CS2]** を押します。

❷ **[テレビ / ラジオ / データ]** を押してサービス種別を選ぶ

チャンネル番号で選局する（ワンタッチボタン選局）

❶ お好みのチャンネルを数字ボタンで入力する

放送局番号で選局する

❶ **[CH 番号入力]** を押す

❷ お好みの放送局の放送局番号を数字ボタンで入力する

選局ボタンで選局する

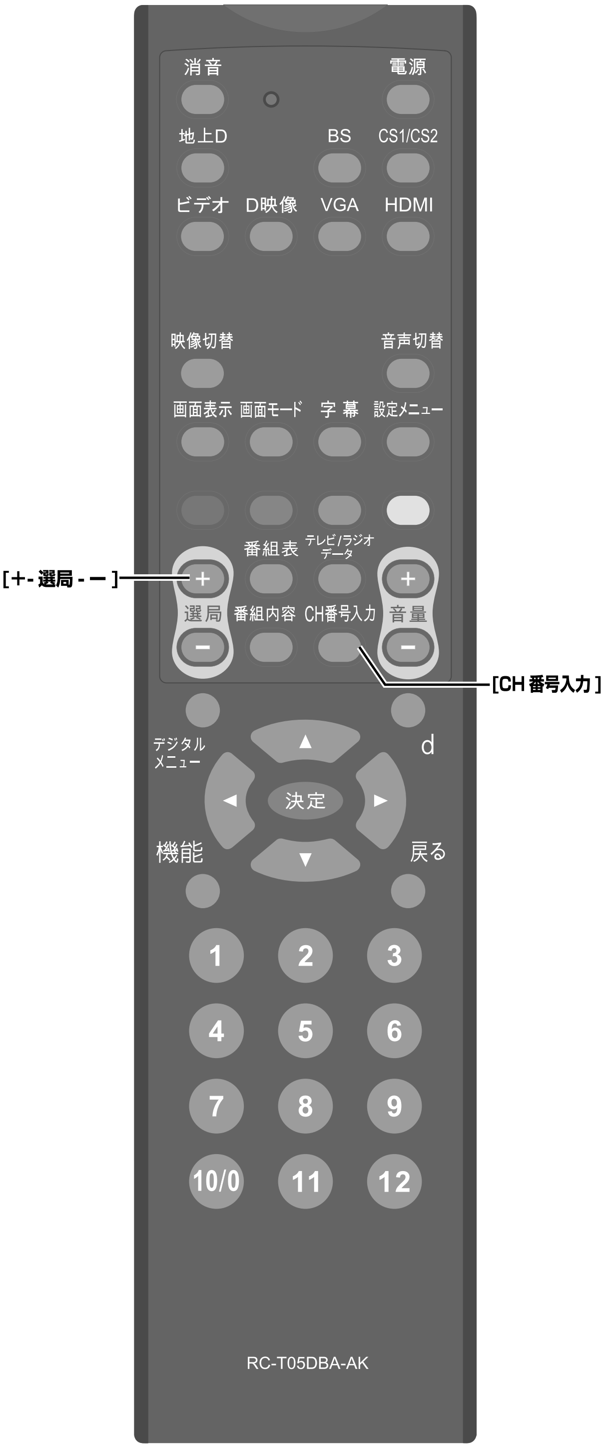
❶ **[＋ - 選局 - ー]** を押して選局する

番組表から選局する

（☞ 40 ページ）

デジタルメニューから選局する

（☞ 47 ページ）



電子番組表を使う

電子番組表を表示する

電子番組表（EPG）を表示します。

❶ **[番組表]** を押す

❷ **[地上 D]**/**[BS]**/**[CS1/CS2]** を押して放送の種類、**[テレビ / ラジオ / データ]** を押して画面右上の「サービス種別」（すべて / テレビ / データ）を選択する

● 番組表表示中には **[青]** を押すと番組説明（☞ 57 ページ）を、**[赤]** を押すと予約画面（☞ 56 ページ）を、**[緑]** を押すと現在表示されている日付の前日の番組表（当日以前には遡りません）を、**[黄]** を押すと現在表示されている日付の翌日の番組表（一週間先まで）を表示します。

● 番組表の表示サイズは、4 時間× 3 チャンネルか 5 時間× 6 チャンネルに切り替えられます。「番組表の表示サイズを変更する（☞ 55 ページ）」をご覧ください。

❹ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して番組を選び、**[決定]** を押す

放送中の番組を選んだ場合

以下のメニューが表示されます。

戻る

メニューを閉じる。

見る

選択した番組を視聴する。

番組説明

選択した番組の説明を表示する。（☞ 57 ページ）

これから放送されるの番組を選んだ場合

以下のメニューが表示されます。

戻る

メニューを閉じる。

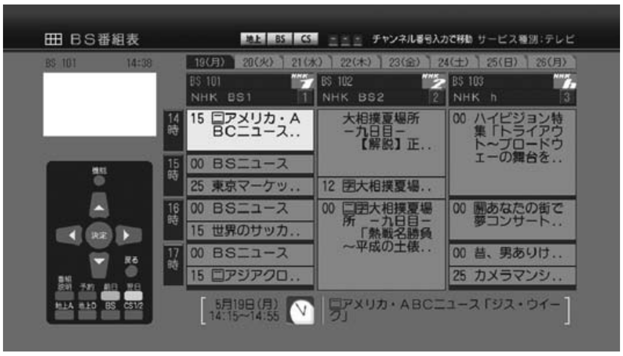
番組説明

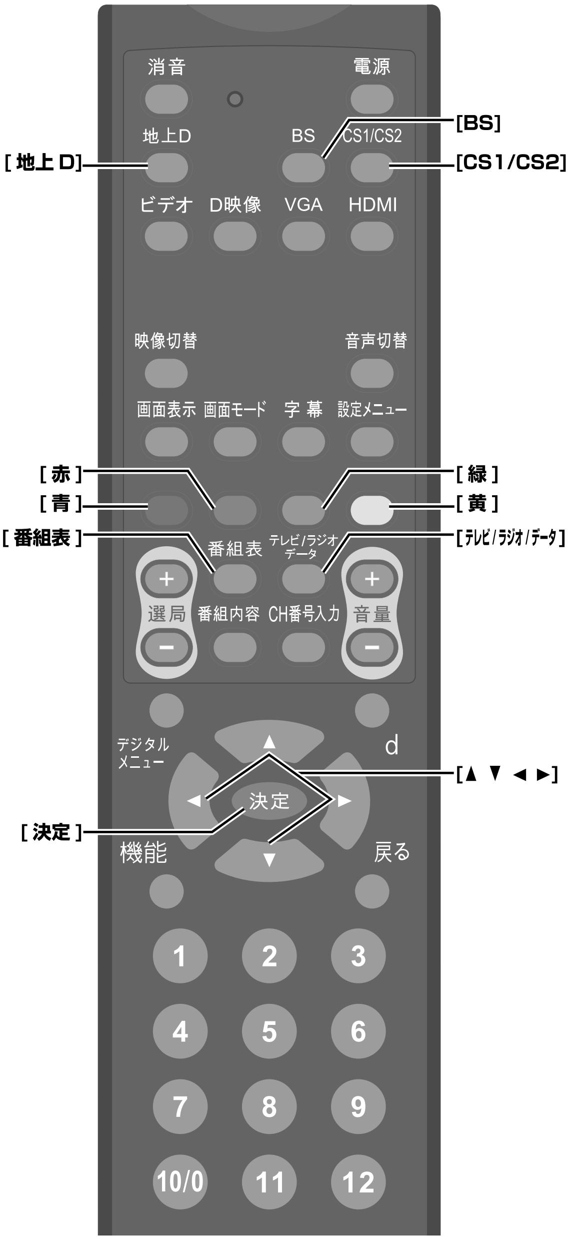
選択した番組の説明を表示する。（☞ 57 ページ）

見るだけ予約

番組視聴の予約をする。（☞ 56 ページ）

● 短いニュース番組など、番組表上では重なっている場合があります。この場合、番組表示に下線が表示され、選択すると矢印が番組名の前に表示されます。**[▲ ▼]** を押すと下に重なっている番組が表示されます。





番組表・番組説明等表示中のアイコン

現在選択されている番組のジャンルや属性のアイコンが表示されます。

ジャンル

ニュース / 報道

スポーツ

情報 / ワイドショー

ドラマ

音楽

バラエティ

映画

アニメ

ドキュメンタリー / 教養

劇場 / 公演

趣味 / 教養

福祉

その他

属性

テレビ放送の番組

ラジオ放送の番組

データ放送の番組

ペイ・パー・ビューの番組

映像の縦横比が 4:3 の番組

映像の縦横比が 16:9 の番組

標準放送の番組

ハイビジョン放送の番組

データ放送の連動がある番組

視聴予約を入れた番組

コピーワンスの制限がある番組

録画不可の番組

デジタル録画不可の番組

アナログ録画不可の番組

視聴が制限される年齢

映像と音の操作

入力情報を表示させる

現在の入力情報を表示させます。

❶ **[画面表示]** を押す

音声を切り替える

スピーカーから出力する音声を切り替えます。

❶ **[音声切替]** を押す

押すごとに、番組ごとに設定された音声の選択肢の中で切り替わります。

映像を切り替える

本機に出力する映像の種類を切り替えます。

❶ **[映像切替]** を押す

押すごとに、番組ごとに設定された映像の選択肢の中で切り替わります。

字幕を切り替える

本機に出力する字幕の言語を切り替えます。

❶ **[字幕]** を押す

押すごとに、番組ごとに設定された字幕言語の選択肢の中で切り替わります。

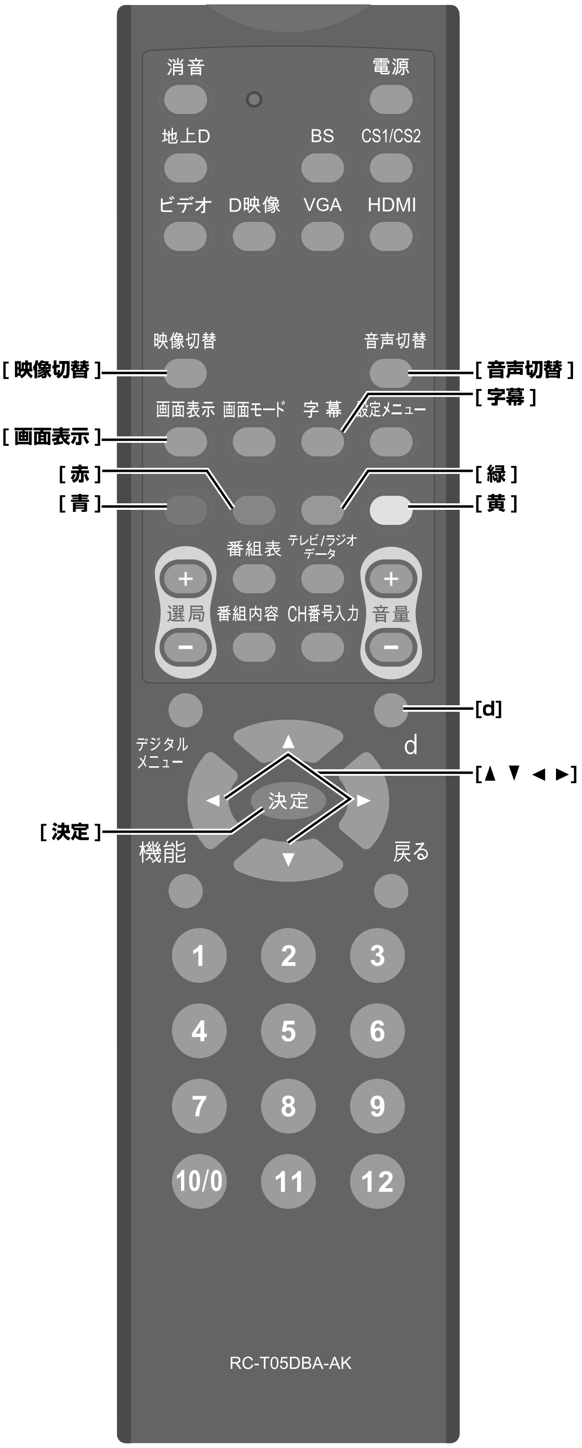
データ放送を受信する

ニュースや天気予報などの便利な情報やご覧の番組の情報など、各放送局によって工夫が凝らされたコンテンツをお楽しみいただけます。データ放送受信中の操作は、**[▲ ▼ ◄ ►]**、**[決定]**、**[青]**/**[赤]**/**[緑]**/**[黄]** で行います。

❶ **[d]** を押す

お知らせ

● データ放送を行っているチャンネルでのみ有効です。



番組説明を表示する

現在視聴中または番組表で選んだ番組の内容説明を表示します。

❶ **[番組内容]** を押す

お知らせ

● 番組表表示中にご希望の番組を選択して **[青]** を押すか、**[決定]** を押した後で**番組説明**を選択しても番組説明を表示できます。

内容説明が表示され、画面下部に以下のメニューが表示されます。

戻る
メニューを閉じる。

見る（放送中の番組の時）
選択した番組を視聴する。

見るだけ予約（これから放送される番組の時）
選択した番組を予約する（☞ 56 ページ）

その他の情報
番組に関する情報を表示する。

その他の情報を選んで **[決定]** を押すと、以下のメニューが表示されます。

予約種別 / 保護設定
番組が予約されているか、また予約が保護されているかを表示します（☞ 60 ページ）

ジャンル情報
ジャンル別検索時、どのジャンルに属しているかを表示します。

映像情報
画面サイズ・画格を表示します。

音声情報
音声に関する情報を表示します。

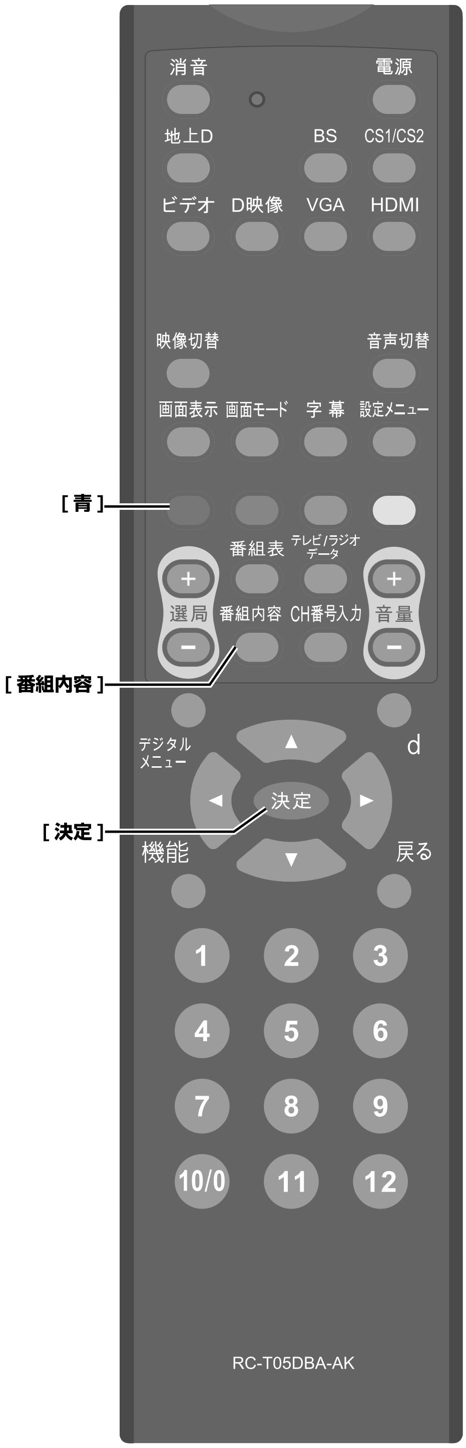
字幕情報
字幕の有無・言語を表示します。

PPV/ 購入金額
ペイ・パー・ビュー（番組単位で購入する有料番組）に関する情報、金額を表示します。通常の無料番組の場合は「情報がありません」と表示されます。

パレンタルレート
視聴年齢制限（☞ 69 ページ）を表示します。

コピー制御
放送内容の録画・コピーに関する情報を表示します。多くの場合、一世代のみコピー可（コピーワンス）/ アナログ録画可となっています。

●「その他の情報」表示中に番組説明に戻るには**番組説明**を選んで **[決定]** を押します。番組表表示に戻るには**戻る**を選んで **[決定]** を押します。なお、**[番組内容]** を押して表示させた時は**戻る**を選択すると通常画面に戻ります。



映像と音の操作（つづき）

画面モードを切り替える

ワンボタンで画格の切り替えを行います。

❶ **[画面モード]** を押す

● 選択項目

１６：９：
画面いっぱいに映像を出力します。入力信号によっては映像が左右に引き伸ばされます。

↓

Zoom：
画面いっぱいに映像を出力します。4：3 の標準放送の場合、映像が均等に左右に引き伸ばされます。

↓

D2D（ドット・トゥ・ドット）：
映像を画面の大きさに合わせて拡大・縮小せずに、画面に表示します。フルハイビジョンより低い解像度の入力信号では画面の上下左右に黒い部分ができます。

↓

４：３：
映像の縦横比を維持するため、画面の左右に黒い部分ができる設定です。

↓

（**１６：９**に戻る）

お知らせ

● 入力の種類によって選択できる画面モードは異なります。

一歩進んだ使いかた

この章では、他の機器を接続した場合の操作方法や、本機の設定を変える方法など、一歩進んだ使いかたについて説明しています。

●デジタルメニューを使う P48

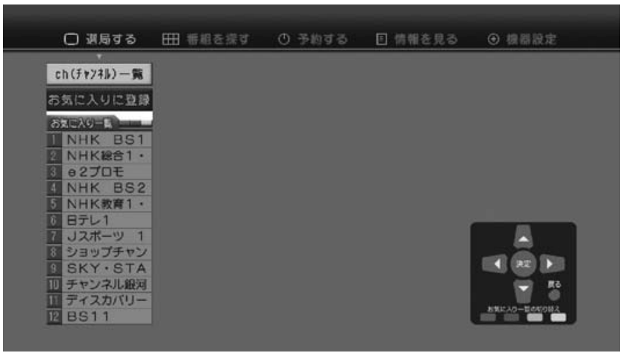
●設定メニューを使う P73

●つないだ機器を使う P80

デジタルメニューを使う

デジタルメニューの操作

デジタル放送をお楽しみいただく際のほとんどの操作は、デジタルメニューと機能メニューから行うことができます。



基本的な操作

デジタルメニュー中の操作方法は、原則的に以下の操作の組み合わせで行います。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して項目を選ぶ（または数字ボタンで数字を入力する）

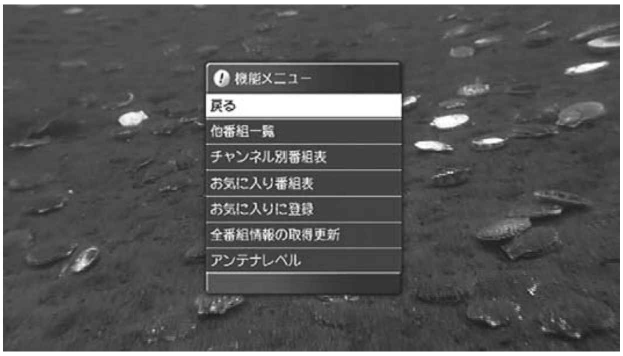
❸ **[決定]** を押して選択を確定する

お知らせ

● **[戻る]** を押すとひとつ前の画面に戻ります。

● デジタルメニュー中で使用するリモコンのボタンは、画面に表示されますので、ご参照ください。

機能メニューについて



デジタル放送受信中によく使用する機能を、機能メニューとして呼び出すことができます。機能メニューの項目は、呼び出したときの状態によって変わります。機能メニューの表示 / 非表示の切り替えかたは以下の通りです。

❶ **[機能]** を押す

❷ **[▲ ▼]** を押して項目を選び、**[決定]** を押す

通常画面中の機能メニュー

[機能] を押すと以下のメニューが表示されます。

戻る

機能メニューを閉じる。

他番組一覧

受信中以外の番組の一覧を画面下部に表示する。

チャンネル別番組表

チャンネル別の番組表を表示する。

お気に入り番組表

お気に入りに登録したチャンネルの番組表を表示する。

お気に入りに登録

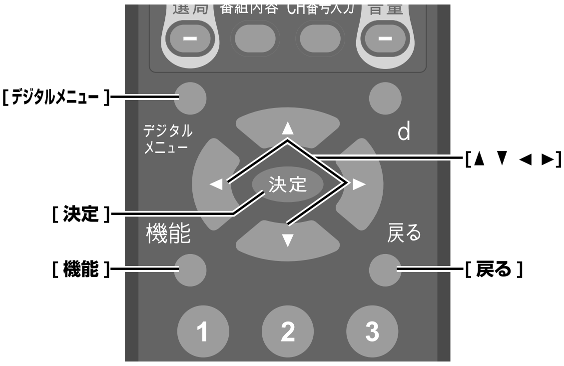
現在受信中のチャンネルをお気に入りに登録する。

全番組情報の取得更新

現在受信可能なデジタル放送の番組情報を全て最新にする。

アンテナレベル

受信状況を表示する。



選局する

チャンネル一覧から選局する

❶ **[デジタルメニュー]** を押す
❷ **[◄ ►]** を押して**選局する**を選ぶ
❸ **[▲ ▼]** を押して **ch(チャンネル) 一覧**を選び、**[決定]** を押す
❹ **[テレビ / ラジオ / データ]** を押してサービス種別を選ぶ
❺ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押してお好みのチャンネルを選び、**[決定]** を押す

チャンネル一覧表示中の機能メニュー

[機能] を押すと以下のメニューが表示されます。

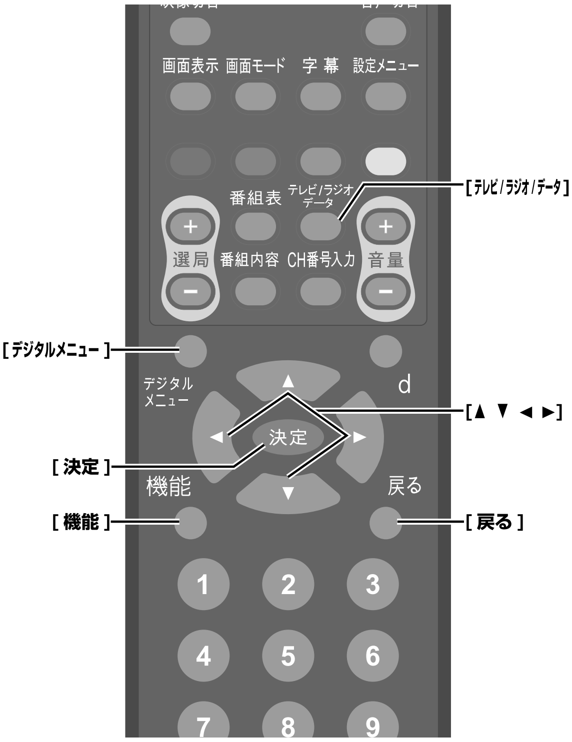
戻る
機能メニューを閉じる。

チャンネル別番組表
チャンネル別の番組表を表示する。

お気に入り番組表
お気に入りに登録したチャンネルの番組表を表示する。

番組情報取得
選択中のチャンネルの番組情報を取得する。

全番組情報の取得更新
現在受信可能なデジタル放送の番組情報を全て最新にする。



デジタルメニューを使う（つづき）

選局する（つづき）

お気に入りに登録する

本機では、お好みのチャンネルを「お気に入り」として登録することができます。**[青][赤][緑][黄]** の４つのグループにそれぞれ１２局ずつ、合計４８局まで登録できます。

現在のチャンネルを登録する

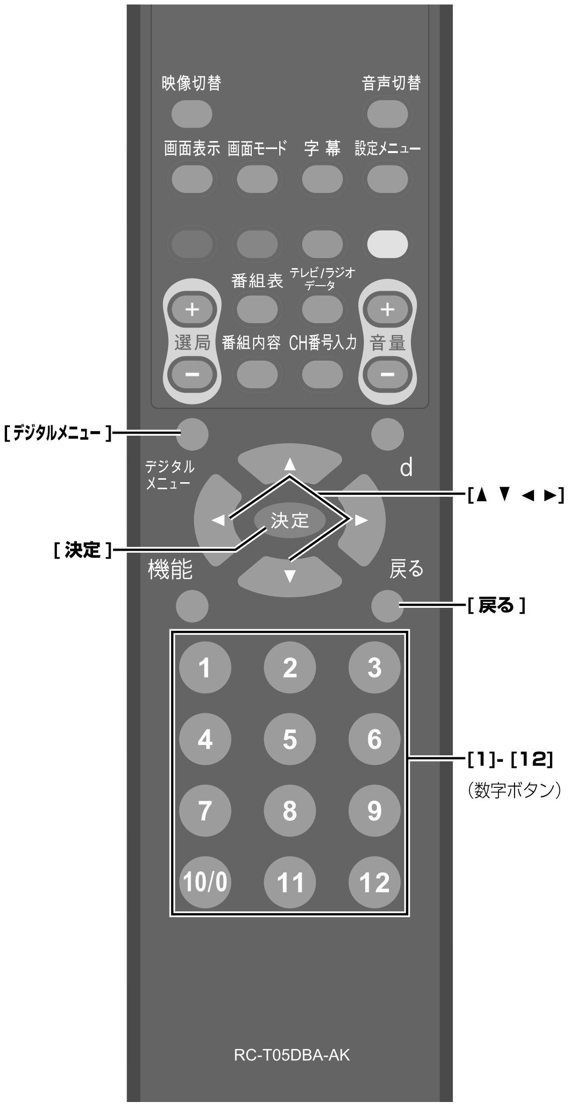
受信中のチャンネルをお気に入りに登録します。

❶ 登録したいチャンネルを選局する
❷ **[デジタルメニュー]** を押す
❸ **[◄ ►]** を押して**選局する**を選ぶ
❹ **[▲ ▼]** を押して**お気に入りに登録**を選び、**[決定]** を押す
❺ **[青][赤][緑][黄]** を押してご希望のグループを選ぶ
❻ **[◄]** を押してから **[▲ ▼]** を押して**現在の ch を登録**を選び、**[決定]** を押す

チャンネル番号から登録する

チャンネル番号を選んでお気に入りに登録します。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す
❷ **[◄ ►]** を押して**選局する**を選ぶ
❸ **[▲ ▼]** を押して**お気に入りに登録**を選び、**[決定]** を押す
❹ **[青][赤][緑][黄]** を押してご希望のグループを選ぶ
❺ **[◄]** を押してから **[▲ ▼]** を押して **ch 番号から登録**を選び、**[決定]** を押す
❻ **[▲ ▼]** を押して放送種別（地上デジタル / BS/CS1/CS2）を選び、数字ボタンを押してチャンネル番号を入力する
❼ **[◄ ►]** を押して**決定**を選び、**[決定]** を押す



お気に入りを編集する

お気に入りに登録したチャンネルの並び替えやお気に入りからの消去を行います。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**選局する**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**お気に入りに登録**を選び、**[決定]** を押す

❹ **[青]**/**[赤]**/**[緑]**/**[黄]** を押して編集したいお気に入りのグループを選ぶ

❺ **[▲ ▼]** を押して編集したい放送局を選び、**[決定]** を押す

[決定] を押すと、以下のメニューが表示されます。

戻る

メニューを閉じる。

消去

選択したチャンネルをお気に入りから消去する。

いちばん上へ

選択したチャンネルをリストのいちばん上へ移動する。

ひとつ上へ

選択したチャンネルをひとつ上の位置へ移動する。

ひとつ下へ

選択したチャンネルをひとつ下の位置へ移動する。

いちばん下へ

選択したチャンネルをリストのいちばん下へ移動する。

❼ **[▲ ▼]** を押して編集内容をメニューから選び、**[決定]** を押す

お気に入り一覧から選局する

お気に入りに登録したチャンネルから選局します。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

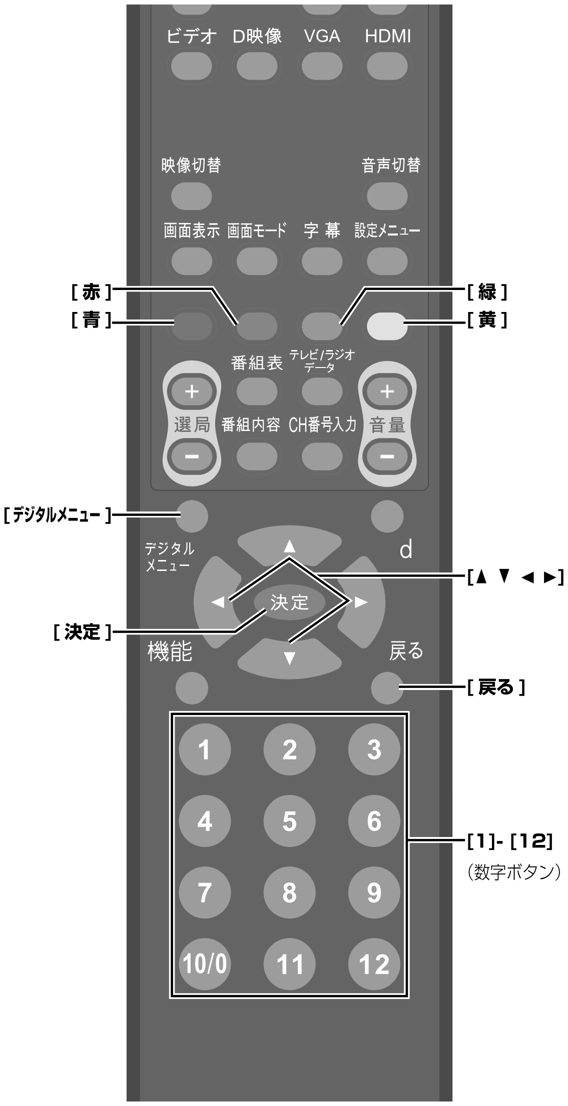
❷ **[◄ ►]** を押して**選局する**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**お気に入り一覧**を選び、**[決定]** を押す

❹ 受信したい放送局を選ぶ

以下の方法で選局できます。

- **[青]**/**[赤]**/**[緑]**/**[黄]** を押してグループ、**[▲ ▼]** を押して放送局を選び、**[決定]** を押す
- **[青]**/**[赤]**/**[緑]**/**[黄]** を押してグループを選び、数字ボタンを押して登録番号から選ぶ



一歩進んだ使いかた

デジタルメニューを使う（つづき）

番組を探す

番組表から探す

番組表（EPG）を使って番組を探します。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

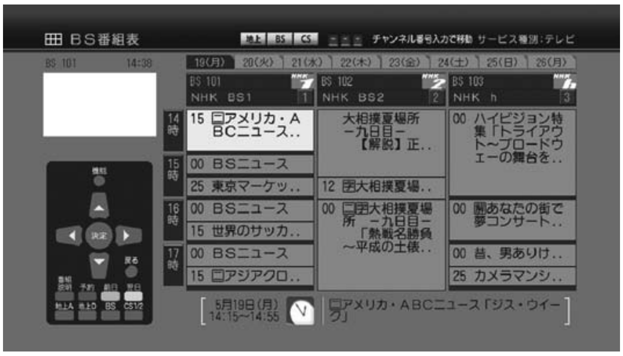
❷ **[◄ ►]** を押して**番組を探す**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**番組表**を選び、**[決定]** を押す

❹ **[テレビ / ラジオ / データ]** を押してサービス種別を選ぶ

❺ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して番組を選び、**[決定]** を押す

● 番組を選んで決定を押すと、**戻る**、**見る**、**番組説明**などのメニューが表示されます。詳しくは 40 ページをご覧ください。



番組表表示中の機能メニュー

[機能] を押すと以下のメニューが表示されます。

戻る

機能メニューを閉じる。

表示サイズ変更

番組表の表示サイズを変更する。

チャンネル別番組表

チャンネル別の番組表を表示する。

お気に入り番組表

お気に入りに登録したチャンネルの番組表を表示する。

ジャンル検索

ジャンルから番組を検索し絞り込む。

予約一覧

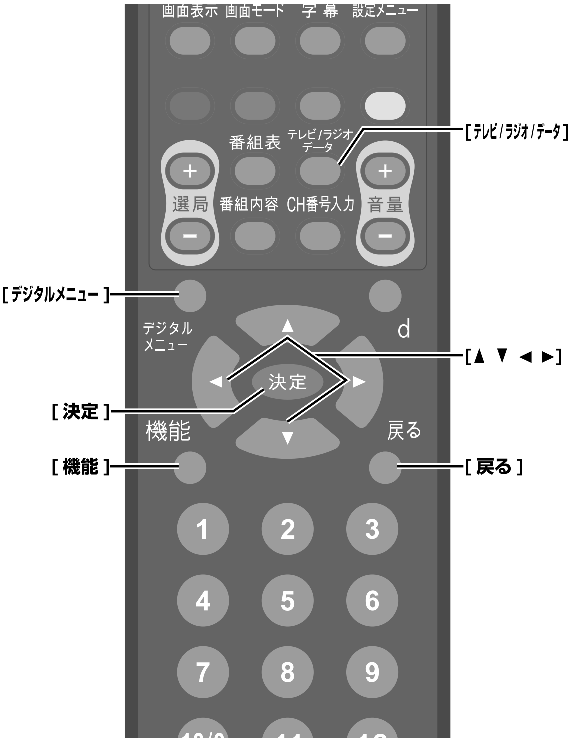
予約した番組の一覧を表示する。

番組情報取得

選択しているチャンネルの番組情報を取得する。

全番組情報の取得更新

現在受信可能なデジタル放送の番組情報を全て最新にする。



お気に入り番組表から探す

お気に入りに登録したチャンネルだけで構成される番組表を使って番組を探します。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**番組を探す**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**お気に入り番組表**を選び、**[決定]** を押す

❹ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して番組を選び、**[決定]** を押す

放送中の番組を選んだ場合

以下のメニューが表示されます。

戻る

メニューを閉じる。

見る

選択した番組を視聴する。

番組説明

選択した番組の説明を表示する。(☞ 57 ページ)

これから放送されるの番組を選んだ場合

以下のメニューが表示されます。

戻る

メニューを閉じる。

番組説明

選択した番組の説明を表示する。(☞ 57 ページ)

見るだけ予約

番組視聴の予約をする。(☞ 56 ページ)

お気に入り番組表表示中の機能メニュー

[機能] を押すと以下のメニューが表示されます。

戻る

機能メニューを閉じる。

表示サイズ変更

番組表の表示サイズを変更する。

チャンネル別番組表

チャンネル別の番組表を表示する。

番組表

通常の番組表を表示する。

ジャンル検索

ジャンルから番組を検索し絞り込む。

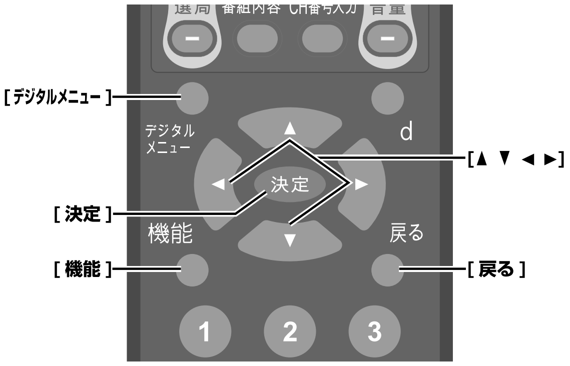
予約一覧

予約した番組の一覧を表示する。

番組情報取得

選択しているチャンネルの番組情報を取得する。

全番組情報の取得更新



デジタルメニューを使う（つづき）

番組を探す（つづき）

他番組一覧から探す

視聴している画面を背景に、その他のチャンネルの番組を表示し、番組を探します。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**番組を探す**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**他番組一覧**を選び、**[決定]** を押す

❹ **[テレビ / ラジオ / データ]** を押してサービス種別を選ぶ

❺ **[◄ ►]** を押して番組を選び、**[決定]** を押す

番組を選んで **[決定]** を押すと、選んだ番組に切り替わります。

他番組一覧表示中の機能メニュー

[機能] を押すと以下のメニューが表示されます。

戻る

機能メニューを閉じる。

チャンネル別番組表

チャンネル別の番組表を表示する。

お気に入り番組表

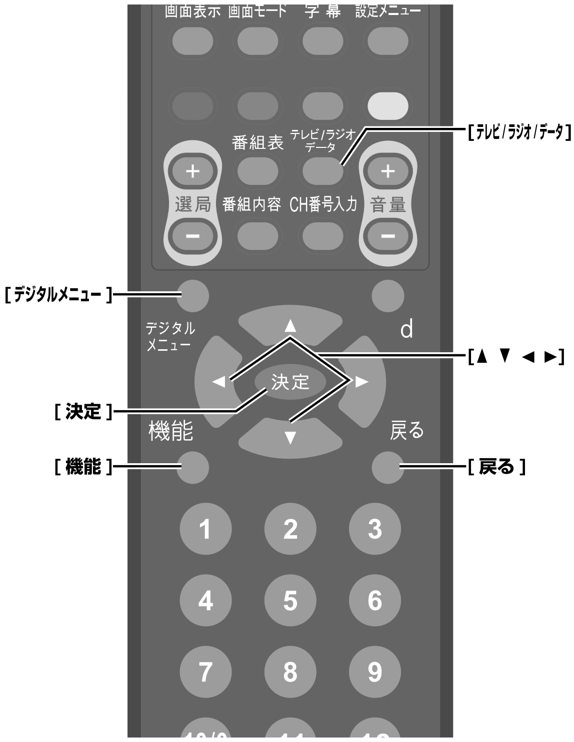
お気に入りに登録したチャンネルの番組表を表示する。

番組情報取得

選択しているチャンネルの番組情報を取得する。

全番組情報の取得更新

現在受信可能なデジタル放送の番組情報を全て最新にする。



チャンネル別番組表から探す

チャンネルごとの番組表から番組を探します。この機能は、以下の画面中でのみ有効です。

- ●通常画面
- ●**チャンネル一覧**画面
- ●**番組表**画面
- ●**お気に入り番組表**画面
- ●**他番組一覧**画面
- ●**ジャンル検索**結果画面

❶ **[機能]** を押す

❷ **[▲ ▼]** を押して**チャンネル別番組表**を選び、**[決定]** を押す

❸ **[テレビ / ラジオ / データ]** を押してサービス種別を選ぶ

❹ **[▲ ▼]** を押して番組を選び、**[決定]** を押す

番組を選んで **[決定]** を押すと、以下のメニューが表示されます。

戻る

メニューを閉じる。

番組説明

選択した番組の説明を表示する。

見るだけ予約

番組視聴の予約をする。(☞ 56 ページ)

チャンネル別番組表表示中の機能メニュー

[機能] を押すと以下のメニューが表示されます。

戻る

機能メニューを閉じる。

番組表

通常の番組表を表示する。

お気に入り番組表

お気に入りに登録したチャンネルの番組表を表示する。

ジャンル検索

ジャンルから番組を検索し絞り込む。

予約一覧

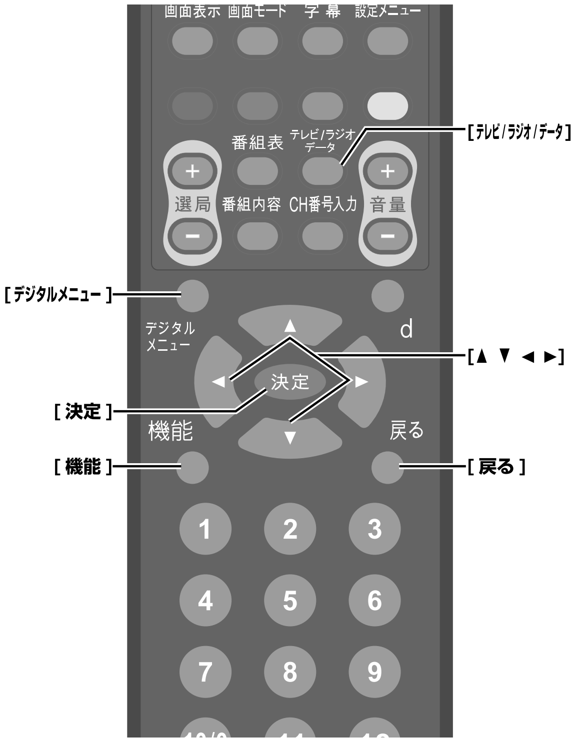
予約した番組の一覧を表示する。

番組情報取得

選択しているチャンネルの番組情報を取得する。

全番組情報の取得更新

現在受信可能なデジタル放送の番組情報を全て最新にする。



デジタルメニューを使う（つづき）

番組を探す（つづき）

ジャンル検索で探す

番組のジャンルからから番組を探します。この機能は、以下の画面中でのみ有効です。

● **番組表**画面
● **お気に入り番組表**画面
● **チャンネル別番組表**画面

❶ **[機能]** を押す

❷ **[▲ ▼]** を押して**ジャンル検索**を選び、**[決定]** を押す

❸ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して大ジャンル・小ジャンルを選ぶ

● **決定**を選ぶと、該当するチャンネルの一覧を表示します。
● **最近の検索**を選ぶと、最近検索したジャンルが表示されます。
● **検索対象の変更**を選ぶと、検索対象（画面右上に表示）が地上デジタル /BS/CS1/CS2 の間で切り替わります。

❹ **[▲ ▼]** を押して番組を選び、**[決定]** を押す

番組を選んで **[決定]** を押すと、以下のメニューが表示されます。

戻る

メニューを閉じる。

番組説明

選択した番組の説明を表示する。

見るだけ予約

番組視聴の予約をする。（☞ 56 ページ）

ジャンル検索結果表示中の機能メニュー

[機能] を押すと以下のメニューが表示されます。

戻る

機能メニューを閉じる。

再検索

ジャンル検索画面に戻る

チャンネル別番組表

チャンネル別の番組表を表示する。

お気に入り番組表

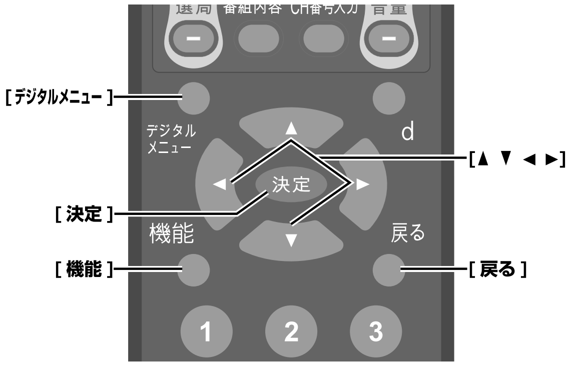
お気に入りに登録したチャンネルの番組表を表示する。

予約一覧

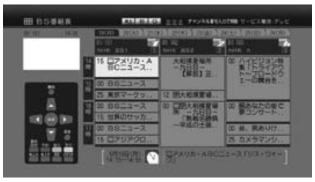
予約した番組の一覧を表示する。

全番組情報の取得更新

現在受信可能なデジタル放送の番組情報を全て最新にする。



番組表の表示サイズを変更する

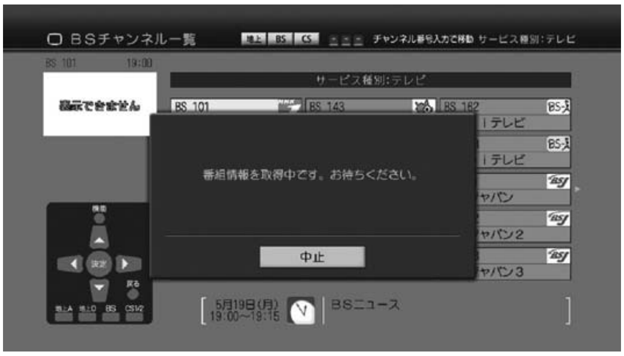


番組表の表示サイズを、４時間×３チャンネルと５時間×６チャンネルの間で切り替えます。この機能は、以下の画面中でのみ有効です。

●**番組表**画面
●**お気に入り番組表**画面

❶ **[機能]** を押す
❷ **[▲ ▼]** を押して**表示サイズ変更**を選び、**[決定]** を押す

番組情報を取得する



視聴中のチャンネルの、１日分の番組情報を取得します。この機能は、以下の画面中でのみ有効です。

●**番組表**画面
●**お気に入り番組表**画面
●**チャンネル別番組表**画面
●**チャンネル一覧**画面
●**他番組一覧**画面

❶ **[機能]** を押す
❷ **[▲ ▼]** を押して**番組情報取得**を選び、**[決定]** を押す

全ての番組情報を取得する

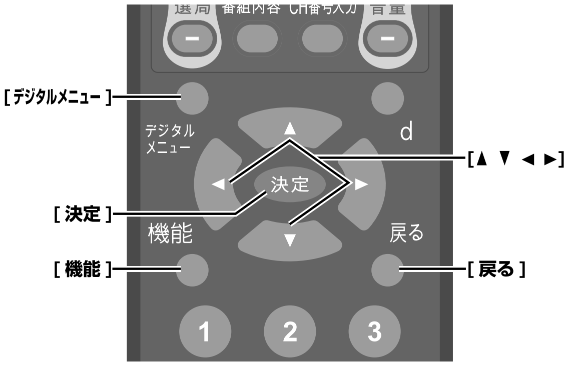
視聴中のチャンネルの、１日分の番組情報を取得します。この機能は、以下の画面中でのみ有効です。

●通常画面
●**番組表**画面
●**お気に入り番組表**画面
●**チャンネル別番組表**画面
●**チャンネル一覧**画面
●**ジャンル検索結果**画面

❶ **[機能]** を押す
❷ **[▲ ▼]** を押して**全番組情報の取得更新**を選び、**[決定]** を押す

ご注意

●全番組情報の取得更新が完了するまでには、数分から数十分程度の時間がかかる場合があります。電源を切ったり、コンセントから電源プラグを抜いたりしないでください。

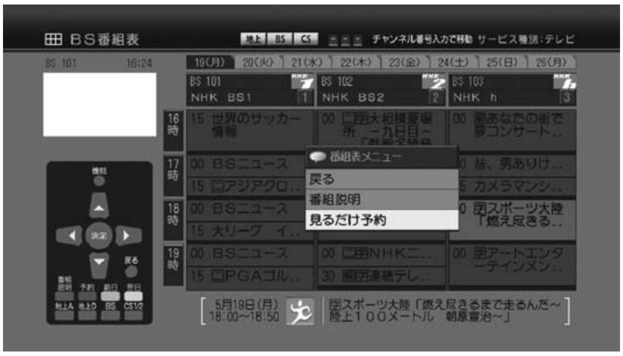


一歩進んだ使いかた

デジタルメニューを使う（つづき）

見るだけ予約

ご覧になりたい番組を予約して、放送時刻に自動的にその番組に切替えることができます。



お知らせ

● 予約時刻に本機の電源がオフまたは待機になっていた場合は受信しません。

番組表から予約する

番組表（EPG）を使って番組を予約します。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**予約する**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**番組表から予約**を選び、**[決定]** を押す

❹ **[テレビ / ラジオ / データ]** を押してサービス種別を選ぶ

❺ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して予約したい番組を選び、**[決定]** を押す

[決定] を押すと、以下のメニューが表示されます。

戻る

メニューを閉じる。

番組説明

選択した番組の説明を表示する。

見るだけ予約

番組視聴の予約をする。

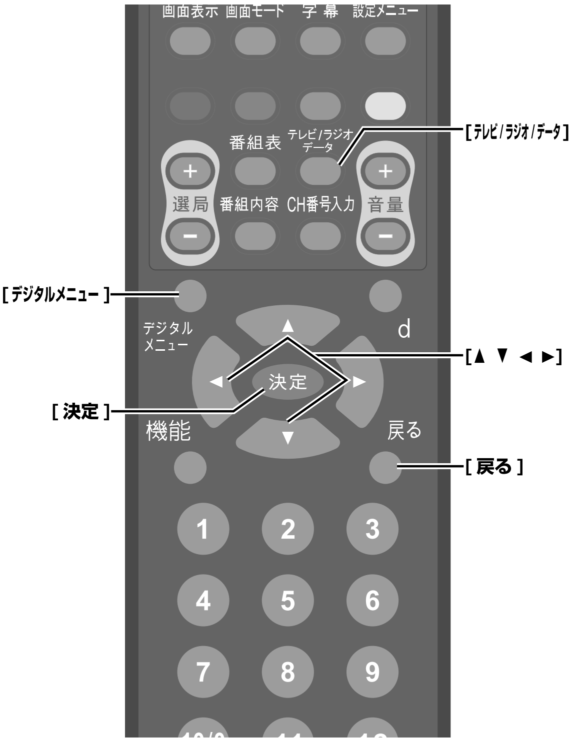
❻ **[▲ ▼]** を押して**見るだけ予約**を選び、**[決定]** を押す

❼ **[◄ ►]** を押して**決定**を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

● **[番組表]** を押して番組表を表示させ、ご希望の番組を選んで **[赤]** を押しても予約できます。

● 見るだけ予約を指定した番組がペイ・パー・ビューの有料放送の場合、購入するかどうかの確認画面になります。購入する場合は**購入**を、しない場合は**戻る**を選んで **[決定]** を押してください。



番組を指定して予約する

番組を指定して予約します。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**予約する**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**番組指定予約**を選び、**[決定]** を押す

❹ **[▲ ▼]** を押して放送種別（地上デジタル / BS/CS1/CS2）を選び、数字ボタンを押してチャンネル番号を入力する（枝番号がある場合は枝番号も選ぶ）

❺ **[◄ ►]** を押して**次へ**を選び、**[決定]** を押す

❻ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して日付と時間帯を選ぶ

❼ **[◄ ►]** を押して**次へ**を選び、**[決定]** を押す

❽ **[▲ ▼]** を押して番組を選び、**[決定]** を押す

❾ **[▲ ▼]** を押して**決定**を選び、**[決定]** を押す

- **チャンネル変更**を選ぶと、チャンネル選択画面に戻ります。
- **日時変更**を選ぶと、日時設定画面に戻ります。
- **中止**を選ぶと、予約を中止します。

番組説明から予約する

番組説明を見て予約します。

❶ 番組表や予約一覧などから番組を選ぶ

番組を選んで **[決定]** を押すと、以下の項目を含むメニューが表示されます。

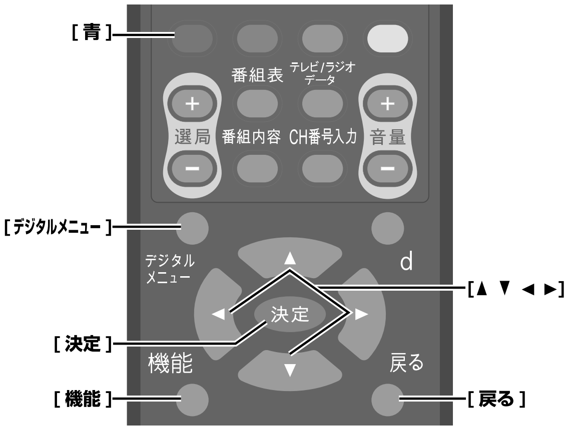
番組説明

❷ **[▲ ▼]** を押して**番組説明**を選び、**[決定]** を押す

- 番組を選んで **[青]** を押しても、番組説明が表示されます。
- 番組説明は **[▲ ▼]** を押してスクロールすることができます。また、**[◄ ►]** を押して**その他の情報**または**番組情報**を選び、**[決定]** を押すと、それぞれの情報に切り替わります。

❸ **[◄ ►]** を押して**見るだけ予約**を選び、**[決定]** を押す

❹ **[▲ ▼]** を押して**決定**を選び、**[決定]** を押す



デジタルメニューを使う（つづき）

見るだけ予約（つづき）

予約を詳細に設定する

番組予約の詳細設定をします。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**番組を探す**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**番組表**を選び、**[決定]** を押す

❹ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して予約した番組を選び、**[決定]** を押す

番組を選んで **[決定]** を押すと、以下のメニューが表示されます。

戻る

メニューを閉じる。

番組説明

選択した番組の説明を表示する。

予約詳細設定

予約詳細設定をする。

予約取消

予約を取り消す。

❺ **[▲ ▼]** を押して**予約詳細設定**を選び、**[決定]** を押す

❻ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して項目を選んで設定する

選択・設定項目は以下の通りです。

映像

番組に複数の映像が含まれる場合、予約実行時に視聴する映像を選択します。

音声

番組に複数の音声が含まれる場合、予約実行時に視聴する音声を選択します。

データ

番組がデータ放送で、複数のデータが含まれる場合、表示するデータを選択します。

字幕

番組に字幕放送がある場合、字幕の表示を選択します。

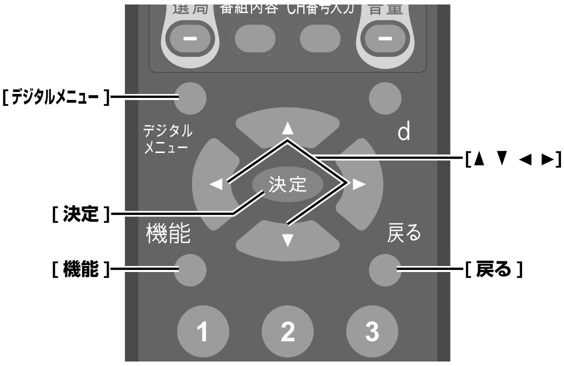
マルチビュー

番組がマルチビューの場合、視聴する映像を選択します。

番組変更追従

番組自動追従（放送時間変更への追従）/ イベントリレー（番組延長に伴う放送チャンネル変更への追従）の設定を選択します。

❼ **[▲ ▼]** を押して**決定**を選び、**[決定]** を押す



予約一覧で予約を確認する

予約一覧を使って予約を確認します。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**予約する**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**予約一覧**を選び、**[決定]** を押す

● **履歴を見る**を選ぶと、過去の予約を見ることができます。履歴は 32 件のみ保存され、それを超えると古い情報から消去されていきます。

予約一覧表示中の機能メニュー

[機能] を押すと以下のメニューが表示されます。

戻る

機能メニューを閉じる。

チャンネル順に並べ換える

予約一覧をチャンネル順に並べ替える。

日付順に並べ換える

予約一覧を日付順に並べ替える。

先頭へ移動

予約一覧の一番上に移動する。

いちばん下へ移動

予約一覧の一番下に移動する。

予約一覧表示中のアイコン

予約保護された番組

予約視聴失敗

予約視聴成功

予約を取り消す

番組の予約を取り消します。

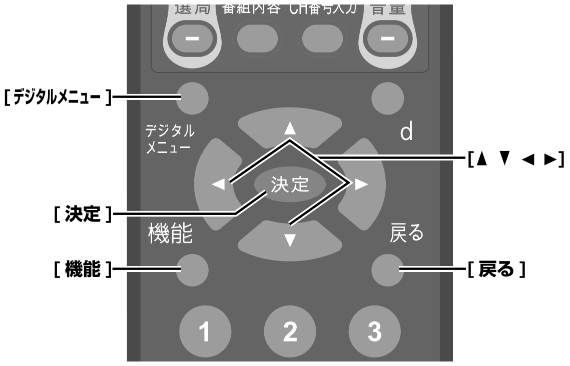
❶ 番組表や予約一覧から、予約した番組を選ぶ

番組を選んで **[決定]** を押すと、以下の項目を含むメニューが表示されます。

予約取消

❷ **[▲ ▼]** を押して**予約取消**を選び、**[決定]** を押す

❸ **[◄ ►]** を押して**はい**を選び、**[決定]** を押す



デジタルメニューを使う（つづき）

見るだけ予約（つづき）

予約を保護する

番組の予約の取消を行おうとしたときに、警告メッセージを表示する設定をします。

❶ 予約一覧から、予約した番組を選ぶ

番組を選んで **[決定]** を押すと、以下の項目を含むメニューが表示されます。

予約の保護設定

❷ **[▲ ▼]** を押して**予約の保護設定**を選び、**[決定]** を押す

❸ **[◄ ►]** を押して**はい**を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

● すでに保護設定をした番組を選んで予約の保護設定を選ぶと、保護を解除するかどうかの確認画面になります。解除する場合は**はい**を、しない場合は**戻る**を選んで **[決定]** を押してください。

予約の履歴を確認（消去）する

予約の履歴を確認し、必要に応じて消去します。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**予約する**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**予約一覧**を選び、**[決定]** を押す

❹ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して**履歴を見る**を選び、**[決定]** を押す

● 履歴は 32 件のみ保存され、それを超えると古い情報から消去されていきます。

履歴を一件消去する

予約履歴一覧の中から、不要な履歴を消去します。

❶ **[▲ ▼]** を押して不要な履歴を予約履歴一覧から選び、**[決定]** を押す

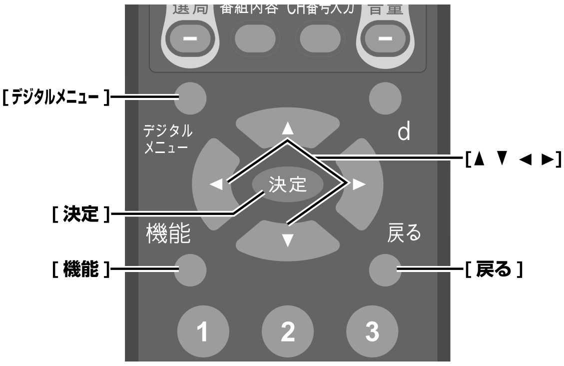
❷ **[▲ ▼]** を押して**消去する**を選び、**[決定]** を押す

履歴を全て消去する

全ての予約履歴を消去します。

❶ 予約履歴一覧を表示し、**[▲ ▼ ◄ ►]** を押して**すべてを消去**を選び、**[決定]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**はい**を選び、**[決定]** を押す



情報を見る

ペイ・パー・ビューの確認と設定

ペイ・パー・ビューの番組情報の表示と設定を行います。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**情報を見る**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**購入履歴**を選び、**[決定]** を押す

❹ 数字ボタンを押して暗証番号を入力する

● 暗証番号が設定されていない場合は、先に暗証番号を設定する必要があります。（☞ 68 ページ）

購入金額の上限を設定する

ペイ・パー・ビュー番組一件あたりの、購入金額の上限を設定します。

❶ ペイ・パー・ビュー購入履歴を表示し、**[▲ ▼ ◄ ►]** を押して**購入金額制限設定**を選び、**[決定]** を押す

❷ **[▲ ▼]** を押して金額を設定する

❸ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して**決定**を選び、**[決定]** を押す

累計金額（履歴）を消去する

ペイ·パー·ビュー購入の累計金額と購入履歴を消去します。

❶ ペイ・パー・ビュー購入履歴を表示し、**[▲ ▼ ◄ ►]** を押して**累計金額の消去**を選び、**[決定]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**はい**を選び、**[決定]** を押す

購入履歴を送信する

ペイ・パー・ビュー購入履歴を送信します。

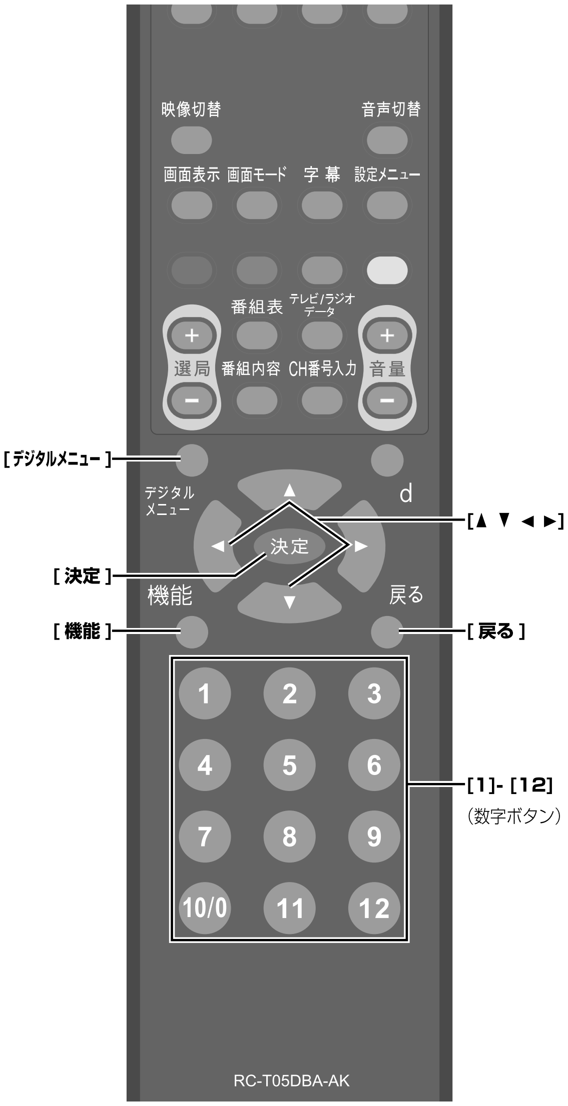
❶ ペイ・パー・ビュー購入履歴を表示し、**[▲ ▼ ◄ ►]** を押して**履歴送信**を選び、**[決定]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**はい**を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

● ペイ・パー・ビュー番組をご覧になるには電話線の接続が必要です。

● ペイ・パー・ビュー番組の視聴または予約をする時に、番組の内容・購入料金が表示されます。**戻る**か**購入**のどちらかを選んで **[決定]** を押してください。



デジタルメニューを使う（つづき）

情報を見る（つづき）

放送メールを見る

放送局よりの通知メールなど、受信したメールを表示します。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**情報を見る**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**メール**を選び、**[決定]** を押す

❹ **[▲ ▼]** を押してメールを選び、**[決定]** を押す

● メールは 40 件のみ保存され、それを超えると古い情報から消去されていきます。

放送メール表示中のアイコン

未開封

開封済み

掲示板情報を見る

110 度 CS デジタル放送波より通知される掲示板情報を表示します。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**情報を見る**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して **CS ボード**を選び、**[決定]** を押す

❹ **[▲ ▼]** を押してタイトルを選び、**[決定]** を押す

● **CS1 表示**または **CS2 表示**を選ぶと、それぞれの情報に切り替わります。

● 掲示板情報は 50 件のみ保存され、それを超えると古い情報から消去されていきます。

発信履歴を見る

テレビショッピングやクイズ番組などの双方向サービスで、または B-CAS カードの指示により電話回線を利用して発信した情報を表示します。

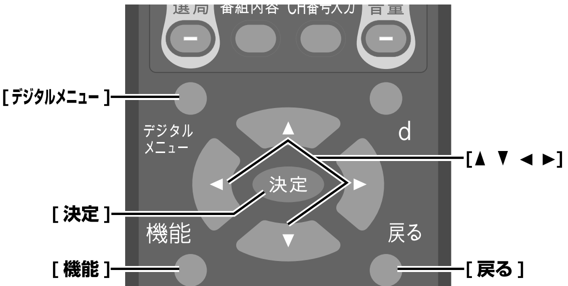
❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**情報を見る**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**発信履歴**を選び、**[決定]** を押す

❹ **[▲ ▼]** を押して**データ放送発信履歴**または **B-CAS カード発信履歴**を選び、**[決定]** を押す

● 履歴は 32 件のみ保存され、それを超えると古い情報から消去されていきます。



機器設定

本機の初期設定を行う

デジタル放送の受信設定などを行います。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**機器設定**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**本機の詳細設定**を選び、**[決定]** を押す

❹ 項目を選んで設定、調整する

受信の設定を行う

指定したチャンネルの受信状態の表示と、受信チャンネルの設定を行います。

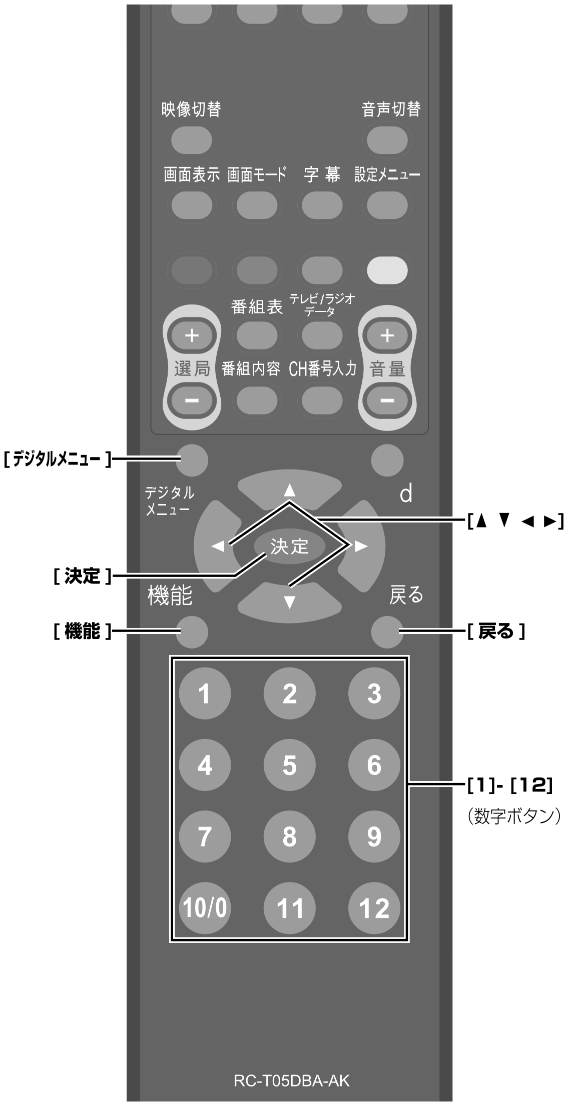
❶ 本機の詳細設定画面で **[▲ ▼]** を押して**受信設定**を選び、**[決定]** を押す

❷ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して放送と受信チャンネルを選択する

❸ **[▲ ▼]** を押して**決定**を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

● ごくまれに放送衛星･通信衛星の不具合により、物理チャンネルの変更が必要になることがあります。このような場合、テレビ局から使用可能な物理チャンネルを知らせてきますので、この設定メニューでその物理チャンネル番号を入力し、「BS デジタル放送受信中」または「110 度 CS デジタル放送受信中」が表示されることを確認の上、**決定**を選んで **[決定]** を押してください。



デジタルメニューを使う（つづき）

機器設定（つづき）

アンテナ電源の設定を表示する

本機からアンテナへの電源供給を行うかどうかの設定を表示します。

❶ 本機の詳細設定画面で **[▲ ▼]** を押して**アンテナ電源設定表示**を選び、**[決定]** を押す

オン
アンテナに電源を供給します。

オフ
アンテナに電源を供給しません。

● 初期設定ではオンになっています。アンテナ・分配器などに不具合があった場合、安全のためにデジタル放送の機能を停止することがあります。電源コードを一度抜いてから再度挿入すれば復旧しますが、この場合にアンテナ電源がオフとなっていることがあります。また、お住まいを変えられた場合などで、衛星放送を受信できない場合はアンテナ電源がオフになっていないかを確認してください。オンにするには設定初期化（☞ 69 ページ）を行ってください。

受信地域の設定を行う

本機をご利用いただく地域の設定を行います。データ放送で天気予報や地域情報を受信するための設定です。

❶ 本機の詳細設定画面で **[▲ ▼]** を押して**受信地域の設定**を選び、**[決定]** を押す

❷ 数字ボタンでお住まいの地域の郵便番号を入れ **[▼]** を押す

❸ **[◄ ►]** を押してお住まいの地域を選び、**[▼]** を押して**決定**を選び **[決定]** を押す

受信チャンネル（地上デジタル放送）のスキャンを行う

本機をご使用いただく地域での、受信可能なチャンネルのスキャンを行います。

❶ 本機の詳細設定画面で **[▲ ▼]** を押して**受信チャンネルのスキャン**を選び、**[決定]** を押す

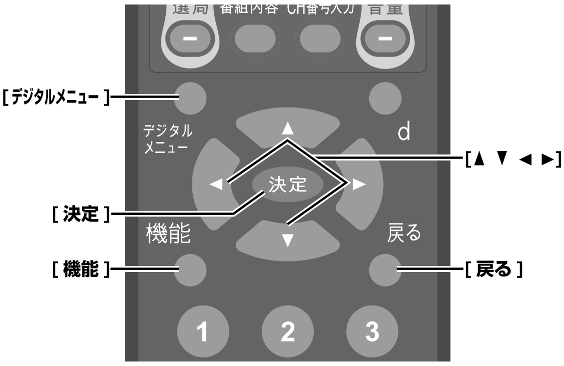
❷ **[◄ ►]** を押して**初期スキャン**または**再スキャン**を選び、**[決定]** を押す

初期スキャン
本機を初めて設定するときに選択します。

再スキャン
設置後、受信チャンネルが変更されたときに選択します。

お知らせ

● BS デジタル放送・110 度 CS デジタル放送のチャンネルは自動的にスキャンされます。



字幕・文字スーパーの設定を行う

字幕・文字スーパーの表示の設定を行います。

❶ 本機の詳細設定画面で **[▲ ▼]** を押して**字幕・文字スーパーの設定**を選び、**[決定]** を押す

❷ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して字幕・文字スーパーの設定をそれぞれ選択する

❸ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して**決定**び、**[決定]** を押す

ダウンロード設定を行う

本機には、デジタル放送のみに関連する部分のソフトウェアを自動的に更新する機能があります。ソフトウェアはデジタル放送電波の中に含まれて送信されます。ソフトウェアの更新を行うと設定しておくと、常に最新版に置き換えられたソフトウェアで、本機をお使いいただけます。通常は**する**をお選びください。

❶ 本機の詳細設定画面で **[▲ ▼]** を押して**ダウンロード設定**を選ぶ

❷ **[◄ ►]** を押して**する**または**しない**を選び、**[決定]** を押す

❸ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して**決定**び、**[決定]** を押す

お知らせ

● ダウンロードは待機状態の時に自動的に行われます。ダウンロード中は電源コードを抜かないでください

デジタル音声出力の設定を行う

光デジタル音声出力端子から AV アンプなどを接続するときの、音声出力形式を設定します。

❶ 本機の詳細設定画面で **[▲ ▼]** を押して**接続設定**を選ぶ

❷ **[◄ ►]** を押して **PCM** または **AAC** を選び、**[決定]** を押す

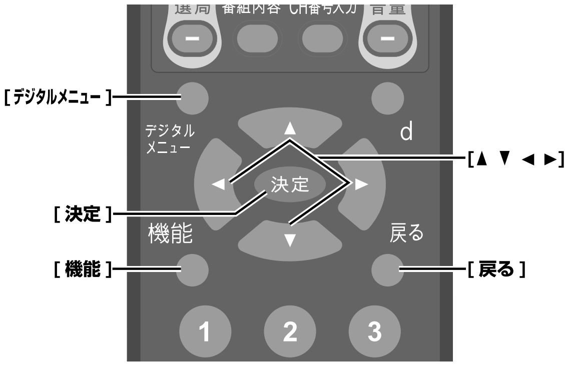
AAC

AAC 対応の AV アンプなどをつないでいるときに選択してください。音声が変換されずに出力されます。

PCM

AAC に対応していない AV アンプなどをつないでいるときに選択してください。音声が PCM（2ch）の音声に変換されて出力されます。

❸ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して**決定**び、**[決定]** を押す



一歩進んだ使いかた

デジタルメニューを使う（つづき）

機器設定（つづき）

リモコンの詳細設定を行う

各チャンネルはリモコンの数字ボタンに登録されており、ワンタッチで呼び出すことができます。この数字ボタンへのチャンネルの割り当てを変更することができます。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**機器設定**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**リモコンの詳細設定**を選び、**[決定]** を押す

❹ **[▲ ▼]** を押して放送種別（地上デジタル / BS/CS1/CS2）を選ぶ

❺ **[◄ ►]** を押して**決定**を選び、**[決定]** を押す

❻ 登録を変更したいボタン番号を選ぶ

以下の方法で選ぶことができます。

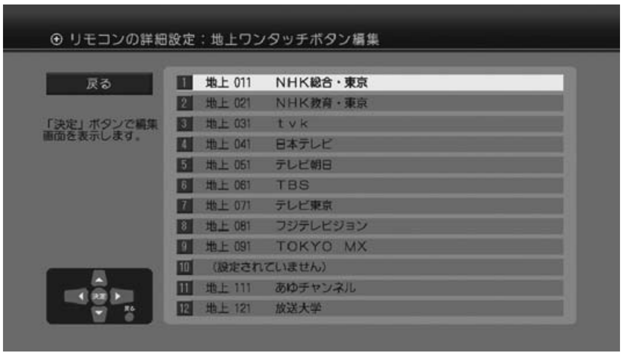
● 編集したいワンタッチボタン（数字ボタン）を押す

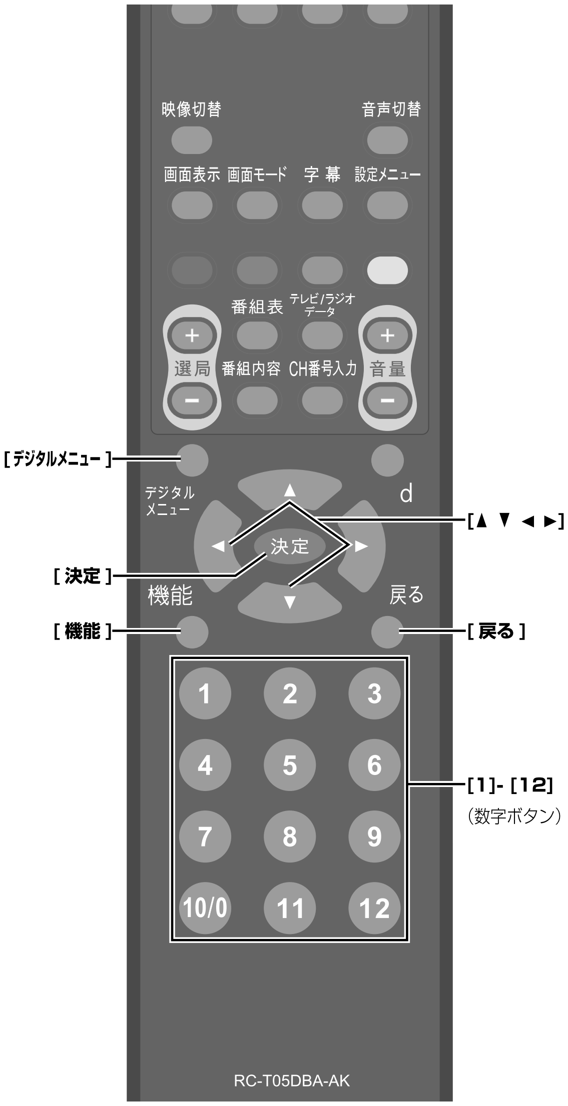
● **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して編集したいワンタッチボタンを選び、**[決定]** を押す

❼ 選んだボタン番号に登録したいチャンネルを **[▲ ▼]** を押して選ぶ

❽ **[◄ ►]** を押して**決定**び、**[決定]** を押す

このときに**設定解除**を選択し、その後 **[◄ ►]** を押して**はい**を選び、**[決定]** を押すと、ボタン番号への登録が解除されます。





通信の詳細設定を行う

電話回線を用いた通信を行うための設定を行います。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**機器設定**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**通信の詳細設定**を選び、**[決定]** を押す

❹ **[▲ ▼ ◄ ►]** と数字ボタンを押して、項目を選んで設定する

選択・設定項目は以下の通りです。

回線の種別

ご利用される公衆電話回線の種類を選択します。現在お使いの回線の種類がおわかりにならない場合は、**自動判別**をお選びください。

内線発信番号

数字ボタンと **[青]** を押して内線発信番号を入力してください。「0」は **[10/0]**、「＊」は **[11]**、「#」は **[12]**、「,」は **[青]** で入力します。間違って入力した場合は **[◄]** を押して入力した番号を消去し、再度入力してください。

内線発信の後、外線につながるまで 2 秒以上かかる電話の場合は、内線発信番号入力に続けて **[青]** を押し、「,」を入力してください。

発信ポーズ時間

内線発信、番号通知、マイライン接続解除、電話会社を設定した場合に、付加番号 (例 :「0」発信) を発信した後に何秒待つかを設定します。お買いあげ時は、「2 秒」に設定されています。発信ポーズ時間を選び、**[◄ ►]** で 2 ～ 9 秒の間でを設定します。まずは 2 秒で設定し、それでうまく接続できない場合は少しずつ設定時間を増やしてください。

発信者の番号通知

発信者番号を相手先に通知するかどうかを設定します。設定無しを選んだ場合は、電話会社との契約に従います。

マイラインプラス

固定優先接続（マイラインプラス）を解除するかどうかを設定します。

電話会社番号

必要に応じて電話会社番号を入力します。

❺ **[▲ ▼ ◄ ►]** を押して**決定**を選び、**[決定]** を押す

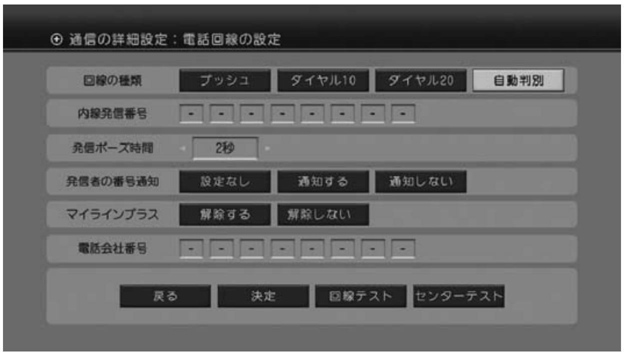
● このときに**回線テスト**を選択すると、電話回線のテストを行います。

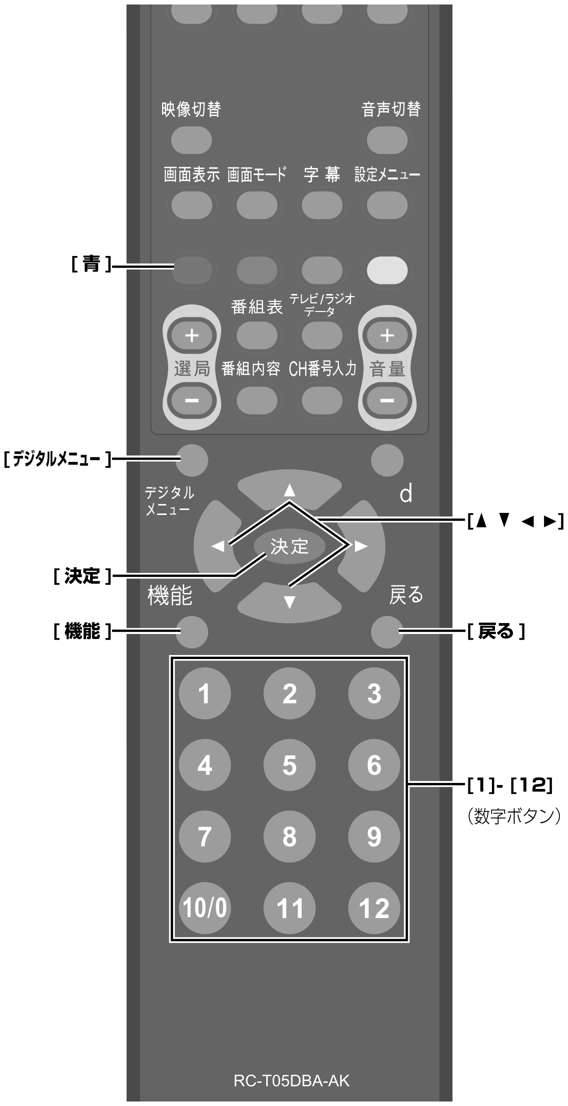
● 同様に**センターテスト**を選択すると、センター接続のテストを行います。

● **回線テスト**または**センターテスト**で、接続に失敗した場合は、設定を再度ご確認ください。詳しくは、NTT 営業窓口（局番無しの 116）におたずねください。

お知らせ

● ISDN 回線でご使用になる場合は、ターミナルアダプターの取扱説明書をよくご覧になってください。ターミナルアダプターの種類によっては、うまく通信できないことがあります。





デジタルメニューを使う（つづき）

機器設定（つづき）

個人利用の制限と初期化

暗証番号や視聴制限の設定、または初期化を行います。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**機器設定**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**個人利用と制限**を選び、**[決定]** を押す

● 初期状態では、自動的に暗証番号設定画面になります。**[▲ ▼ ◄ ►]** を押して**決定**を選んで **[決定]** を押し、下記の「暗証番号の設定を行う」の操作を行ってください。

暗証番号の設定を行う

暗証番号の設定を行います。

❶ 個人利用と制限画面で **[▲ ▼]** を押して**暗証番号の設定**を選び、**[決定]** を押す

● 一度設定した暗証番号を変更する場合は、暗証番号確認の画面になります。数字ボタンを押して現在の暗証番号を入力してください。

❷ 新しい暗証番号を 2 回入力する

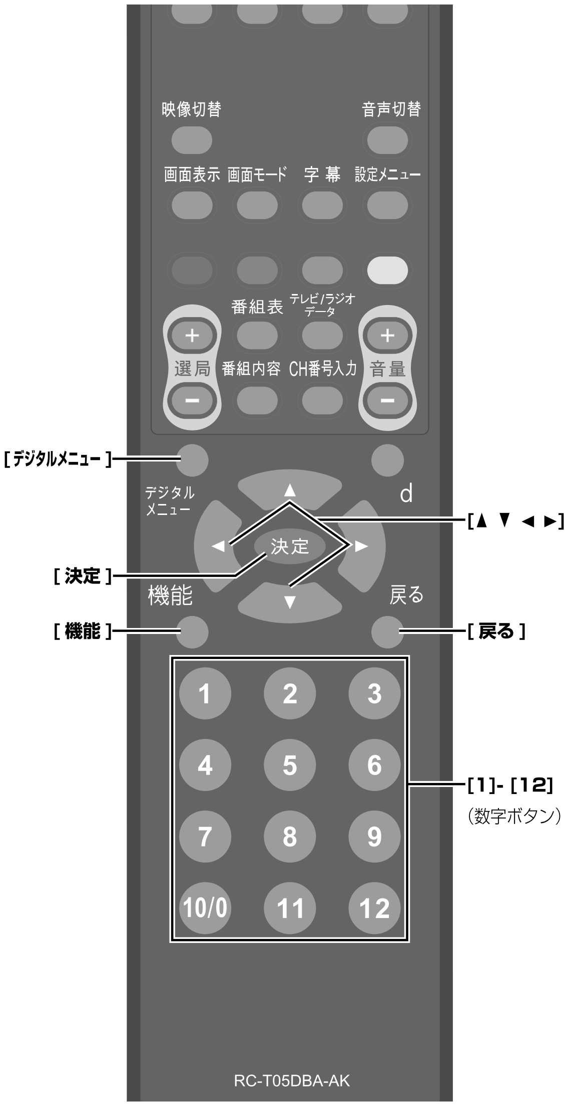
❸ **[◄ ►]** を押して**決定**を選び、**[決定]** を押す

お知らせ

● 初期状態では、暗証番号は設定されていませんので、設定してください。

ご注意

● 暗証番号は必ず紙などに書いて保存し、忘れたり無くしたりしないようにご注意ください。暗証番号がわからなくなると、初期化および再設定が必要になり、登録された設定やデータが初期化されてしまいます。



視聴制限の設定を行う

パレンタルコード（視聴制限コード：番組内容による視聴制限）が設定されている番組の視聴に関する設定を行います。

❶ 個人利用と制限画面で [▲ ▼] を押して**視聴制限設定**を選び、[決定] を押す

● 暗証番号確認の画面になりますので、数字ボタンを押して現在の暗証番号を入力してください。

❷ [▲ ▼ ◄ ►] を押して年齢制限とタイトル制限を設定する

年齢制限

視聴制限を適用する年齢を設定します。

タイトル制限

制限対象となる番組に対して、番組タイトルや番組内容の表示抑止を行うかを設定します。

❸ [▲ ▼ ◄ ►] を押して**決定**を選び、[決定] を押す

初期化を行う

お客様により施された設定を無効にし、工場から出荷された時点の状態に戻します。

❶ 個人利用と制限画面で [▲ ▼] を押して**初期化**を選び、[決定] を押す

❷ [▲ ▼] を押して目的の項目の**開始する**を選び、[決定] を押す

設定情報の初期化

設定情報のすべてを消去して初期化します。

個人情報の消去

お客様の個人情報のみを消去します。

❸ [◄ ►] を押して**はい**を選び、[決定] を押す

ご注意

● 一度消去したデータは復元できません。

● 本機を他人に譲渡するときは、必ず個人情報を消去してください。

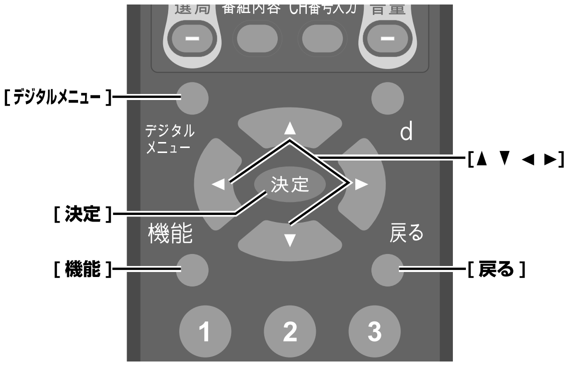
設定情報の初期化により（）内の初期設定になる設定

※下記の個人情報の消去も適用されます。

チャンネル一覧（消去）
受信設定
　地上デジタル（Ch1）
　BS デジタル（ChBS15）
　110 度 CS1（ChND2）
　110 度 CS2（ChND4）
アンテナ電源設定（オン）
郵便番号（消去）
地域の選択（東京都）
受信チャンネルのスキャン（初期スキャン）
文字スーパー（日本語）
ダウンロード設定（する）
デジタル音声出力（PCM）
リモコンの詳細設定（消去）
電話回線関連
　回線の種類（自動判別）
　内線発信番号（消去）
　発信ポーズ時間（2 秒）
　発信者の番号通知（設定無し）
　マイラインプラス（解除しない）
　電話会社番号（消去）
暗証番号（消去）
年齢制限（無制限）
タイトル制限（する）
ボード（お知らせ）（消去）
ラストステーションメモリー（消去）

個人情報の消去により削除される情報

お気に入り
予約
ペイパービュー購入履歴･購入限度額（初期設定の「無制限」になります）
データ放送発信履歴
B-CAS カード発信履歴
データ放送関連データ
番組表データ



デジタルメニューを使う（つづき）

機器設定（つづき）

機器情報を見る

本機の機器設定と B-CAS カードの情報を表示します。

❶ **[デジタルメニュー]** を押す

❷ **[◄ ►]** を押して**機器設定**を選ぶ

❸ **[▲ ▼]** を押して**機器情報一覧**を選び、**[決定]** を押す

B-CAS カードの情報を表示する

ご利用中の B-CAS カードの情報を表示します。

❶ 機器情報一覧画面で **[▲ ▼]** を押して **CAS カード情報**を選び、**[決定]** を押す

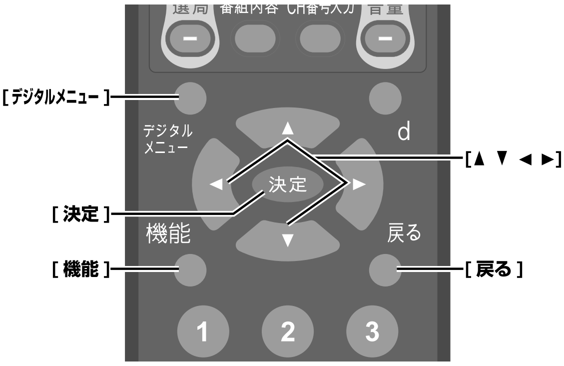
設定を確認する

現在の本機の設定を表示します。

❶ 機器情報一覧画面で **[▲ ▼]** を押して**設定項目確認**を選び、**[決定]** を押す

❷ それぞれの項目を確認する

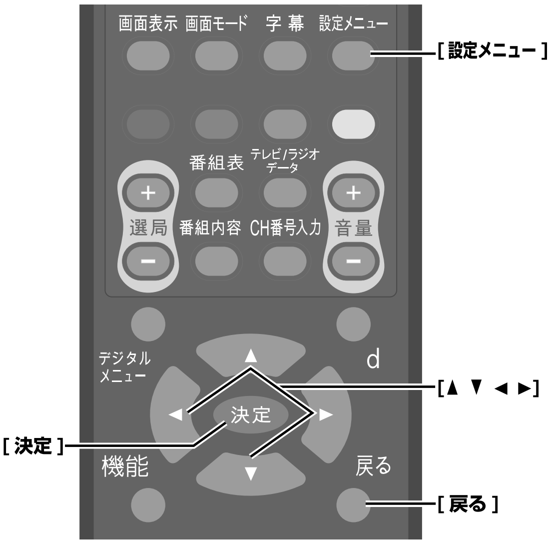
● このときに **[▲ ▼]** を押して**戻る**を選び **[決定]** を押すと、ひとつ前の画面に戻ります。**次へ**を選ぶとひとつあとの画面に進みます。**終了**を選ぶと設定項目確認を終了します。



設定メニューを使う

設定メニューについて

本機をご使用いただく上での基本的な設定は、設定メニューを使って設定できます。



基本的な操作

設定メニュー中の操作方法は、原則的に以下の操作の組み合わせで行います。

❶ **[設定メニュー]** を押す

❷ **[▲ ▼ ◄ ►]** で項目を選ぶ

❸ **[◄ ►]** を使って項目を選択をする、または画面下部のメニューバーの数値を設定する

お知らせ

● **[設定メニュー]** を押すと、その時点での設定を反映してひとつ前の画面に戻ります。またメニューバー表示中に **[戻る]** を押すと設定画面に戻ります。

映像設定

本機の画像を設定します。

画質

画面モードの切り替えを行います。

●選択項目

標準　：標準モードです。

↓

ドラマ　：テレビドラマに適した画質モードです。

↓

映画　：映画に適した画質モードです。

↓

ゲーム　：テレビゲームに適した画質モードです。

↓

スポーツ：スポーツ中継に適した画質モードです。

↓

（**標準**に戻る）

設定メニューを使う

映像設定（つづき）

バックライト

液晶画面自体は光を出しません。画面の後にバックライトと呼ばれる発光体があり、そこからの光が液晶素子を通る時に遮光効果が起こり、それぞれの画素が特定の色（赤・緑・青）に光り、全体としてテレビ画面になります。このメニューはバックライトの明るさを調整します。「明るさ」メニュー（下記）を調整しても、画面が白くなるだけで全体が明るく見えない時は、バックライトの設定が暗すぎる場合があります。本メニューで調整してみてください。

● 設定範囲
0 ～ 100

コントラスト

画面のコントラストを調整します。

● 設定範囲
0 ～ 100

明るさ

画面の明るさを調整します。

● 設定範囲
0 ～ 100

シャープネス

画面の鮮明さを調整します。

● 設定範囲
0 ～ 100

お知らせ

● 入力が「VGA」のときは設定できません。

彩度

画面の色の鮮やかさを調整します。

● 設定範囲
0 ～ 100

お知らせ

● 入力が「VGA」のときは設定できません。

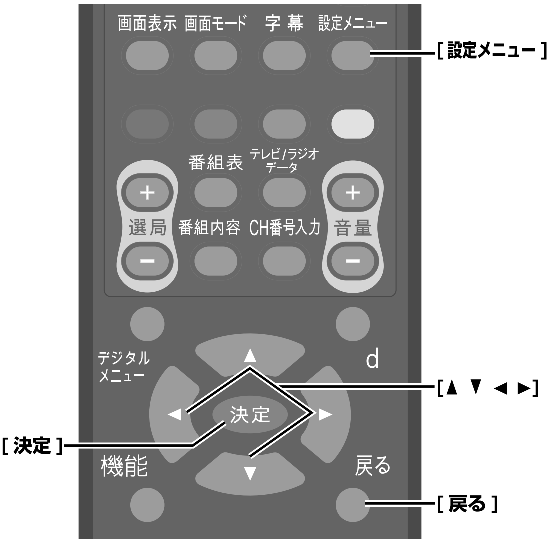
色合い

画面の色合いを調整します。

● 設定範囲
0 ～ 100

お知らせ

● 入力が「VGA」のときは設定できません。



色温度

画面の色温度（色空間）を設定します。色温度とは光の色を数字で表したもので、単位として絶対温度のK（ケルビン）を使用します。大まかに言って数値が低いと赤系統、増えるに従って白から青になります。

●選択項目

5000K：画面の色温度を5000Kに設定します。

↓

6500K：画面の色温度を6500Kに設定します。

↓

7200K：画面の色温度を7200Kに設定します。

↓

9300K：画面の色温度を9300Kに設定します。 通常パソコンのモニターはこの色に設定されています。

↓

ユーザー設定：「赤」「緑」「青」の強さをそれぞれ調整します。

↓

（**5000K** に戻る）

LCD 調整（VGA 入力時のみ）

パソコンの映像（VGA 入力）を出力する際の映像の設定を行います。

オートアジャスト

画面サイズの自動調整を行うかどうかの選択をします。

●選択項目

する　：画面サイズの自動調整を行います。

⇅

しない　：画面サイズの自動調整を行いません。

水平・垂直画面位置

画面をお好みの位置に移動します。

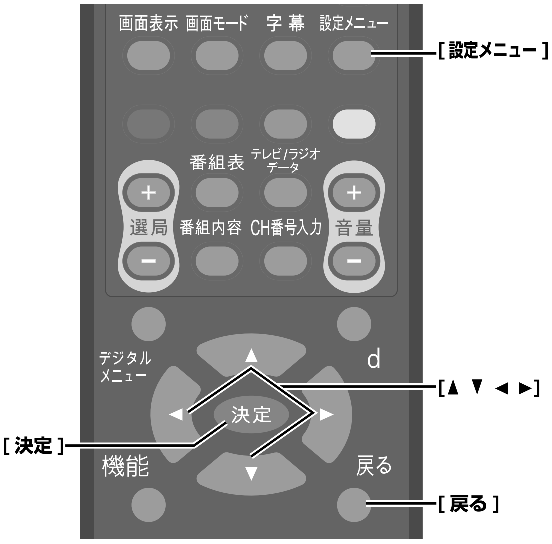
位相

位相の遅延を微調整します。画像が鮮明でない場合等にお試しください。

クロック

画面の周波数を設定します。

一歩進んだ使いかた



設定メニューを使う（つづき）

音声設定

本機の音声出力を設定します。

低音

低音の調整をします。

● 設定範囲

0 ～ 20

高音

高音の調整をします。

● 設定範囲

0 ～ 20

バランス

左右のスピーカーの出力バランスを調整します。

● 設定範囲

0 ～ 20

SRS サラウンド

SRS サラウンドとは、左右のステレオスピーカーだけで、デジタル放送などの 5.1 チャンネルサラウンド音声（対応放送時のみ）を迫力と臨場感のある音でお楽しみいただけるバーチャルサラウンド技術です。

● 選択項目

SRS（●）オン ：音響効果を有効にします。

⇅

SRS（●）オフ ：音響効果を無効にします。

HDMI 音声入力（HDMI 入力時のみ）

HDMI 入力使用時の音声入力を設定します。

● 選択項目

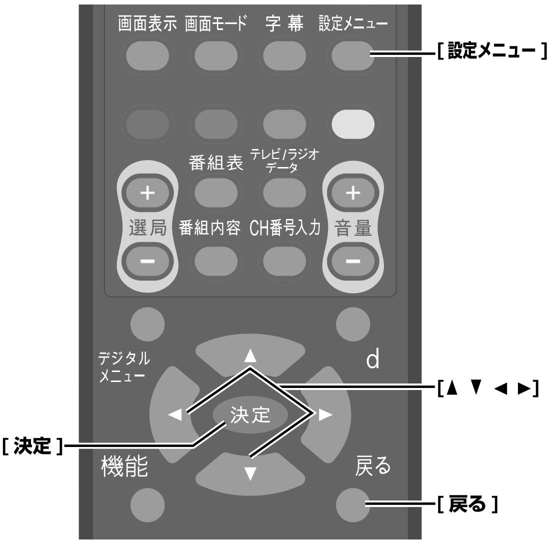
デジタル：アナログ音声入力端子を使用せず、HDMI 端子のみで映像と音声の入力を行います。

⇅

アナログ：アナログ音声入力端子を使用して音声を入力します。画格の切り換えを行います。

ご注意

● メニューでアナログ音声入力を選択した場合、HDMI 入力の音声はすべてアナログ音声入力端子からのものになります。入力を HDMI に切り換えた時に画面中央に、また「画面表示」を押すと画面右上に「音声入力：アナログ」と表示されます。デジタル音声信号を含む HDMI 入力シグナルを視聴中、音声が出ない（もしくは別の音声が聞こえる）場合は、このメニューでデジタル音声入力に切り換えてください。



その他設定

その他の設定をします。

言語

設定メニューの言語を設定をします。
●選択項目
日本語　：日本語で表示します。
↑↓
English：英語で表示します。

スリープタイマー

本機の電源を切るまでの時間を設定します。
●設定範囲
オフ、15 分、30 分、60 分、90 分、120 分

ユーザーリセット

設定メニューによる設定を初期化します。
●選択項目
はい　：初期化します。
↑↓
いいえ　：初期化を取り消します。

ご注意

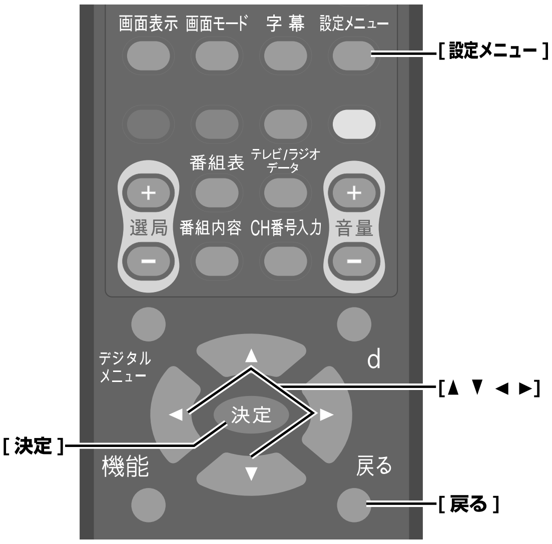
●初期化すると、設定メニューで行った設定が全てリセットされ、初期状態に戻ります。

ビデオ NR

映像データを分析して信号に含まれるノイズやざらつきを低減する処理を行い、映像を見やすくします。
●選択項目
高　：低減する割合を高くします。
↓
中　：低減する割合を、高と低の中間にします。
↓
低　：低減する割合を低くします。
↓
オフ　：機能をオフにします。
↓
（**高**に戻る）

お知らせ

●入力が「VGA」のときは設定できません。



一歩進んだ使いかた

42FG05A-B

設定メニューを使う（つづき）

その他設定（つづき）

デジタル TV 切替（デジタル放送視聴中のみ）

入力切換えで「デジタル TV」を選んだときに、はじめに出力する放送波の種類を選びます。

●選択項目

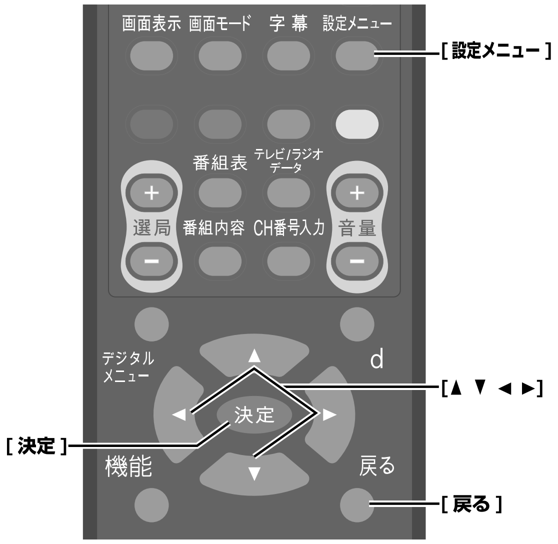
地上デジタル　：地上デジタルを選択します。
↓
BS デジタル　：BS デジタルを選択します。
↓
CS デジタル 1：110 度 CS デジタル 1 を選択します。
↓
CS デジタル 2：110 度 CS デジタル 2 を選択します。
↓
（**地上デジタル**に戻る）

オーバースキャン（HDMI 入力時のみ）

テレビ放送やパソコンの画面には、通常画面よりはみ出している部分があります。このはみ出し部分を表示するかしないかを選択します。

●選択項目

ノーマル：はみ出し部分を表示しません。
⇅
フル　：通常ははみ出して見えない部分を、画面内におさめて表示します。



画面モード

画格を設定します。

●選択項目

１６：９：

画面いっぱいに映像を出力します。入力信号によっては映像が左右に引き伸ばされます。

↓

Zoom：

画面いっぱいに映像を出力します。４：３の標準放送の場合、映像が均等に左右に引き伸ばされます。

↓

D2D（ドット・トゥ・ドット）：

映像を画面の大きさに合わせて拡大・縮小せずに、画面に表示します。フルハイビジョンより低い解像度の入力信号では画面の上下左右に黒い部分ができます。

↓

４：３：

映像の縦横比を維持するため、画面の左右に黒い部分ができる設定です。

↓

（**１６：９**に戻る）

お知らせ

●**[画面モード]** を押して設定することもできます。

●入力の種類によって選択できる画面モードは異なります。

DCR（ダイナミック・コントラスト比）

映像の暗い部分のバックライトを抑えて、コントラストをさらに大きくします。

●選択項目

オン　：DCR を有効にします。

↑↓

オフ　：DCR を無効にします。

お知らせ

●入力が「VGA」のときは設定できません。

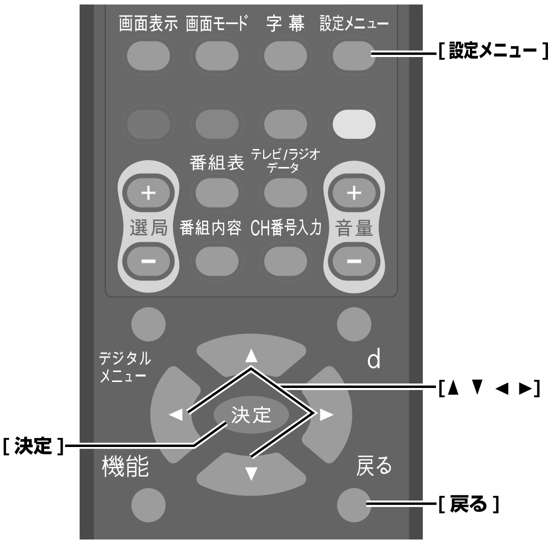
MEMC

MEMC とは Motion Estimation Motion Compensation の略で、一つの画面の動きから次の動きを推測し（Estimation）、次の画面の動きのブレを補正（Compensation）してなめらかな動きにします。

ご覧になる番組の種類（劇場用映画、スポーツ実況、など）により、効果は変ります。お好みの設定をお選びください。画面にノイズなどの不具合がでるようでしたらオフをお選びください。

●選択項目

オフ、低、中、高



一歩進んだ使いかた

つないだ機器を使う

つないだ機器の映像を見る

1　接続を確認する

29～33ページをご覧いただき、接続を確認してください。

2　入力を切り替える

❶ ご希望の入力ボタンを押す

[ビデオ]：ビデオ入力に接続した機器の映像と音声を出力します。

[D 映像]：D 入力に接続した機器の映像と音声を出力します。

[VGA]：PC- アナログ入力端子に接続した機器の映像と音声を出力します。

[HDMI]：HDMI に接続した機器の映像と音声を出力します。さらに **[HDMI]** を押すか **[▲　▼]** を押すと、HDMI1 と HDMI2 が切り替わります。

[地上 D]：地上デジタル放送の映像と音声を出力します。

[BS]：BS デジタル放送の映像と音声を出力します。

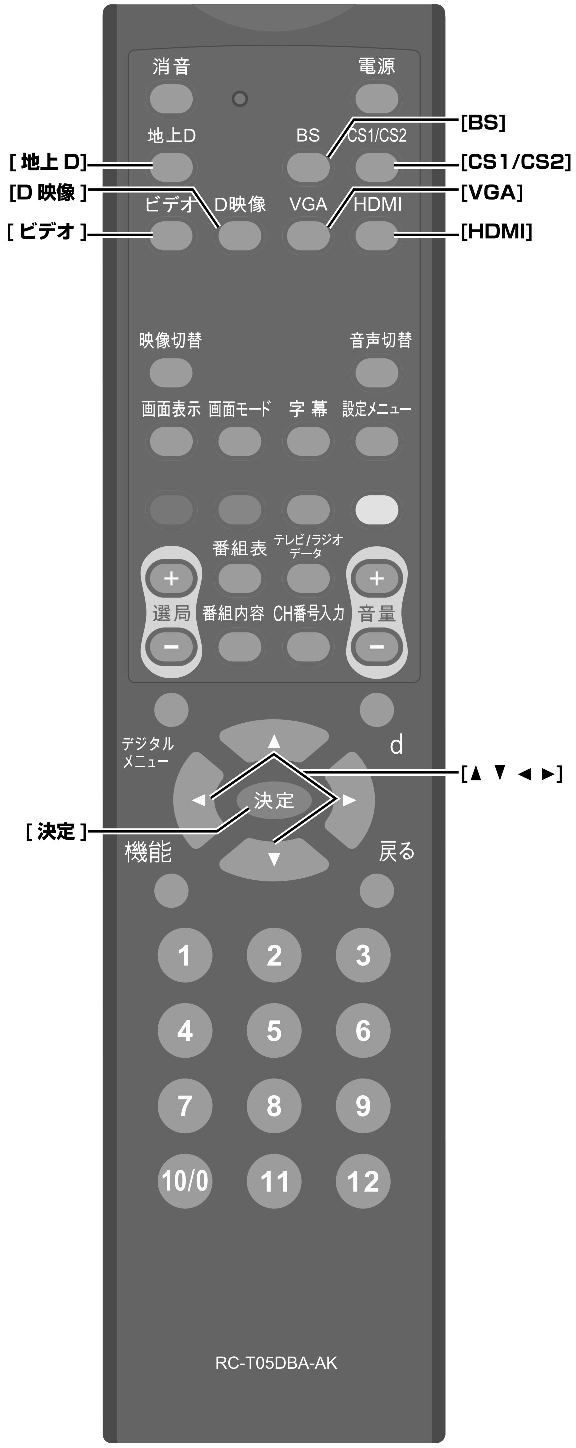
[CS1/CS2]：CS デジタル放送の放送と音声を出力します。さらに **[CS1/CS2]** を押すと、CS1 と CS2 が切り替わります。

お知らせ

- 各入力ボタンを押してから **[▲　▼]** を押し、**[決定]** を押すか 3 秒待っても入力を選ぶことができます。
- 本体で操作する場合は、**[入力選択]** を押してから **[⋀- 選局 -⋁]** を押し、3 秒待つことで入力を選ぶことができます。

ご注意

- メニューでアナログ音声入力を選択した場合、HDMI 入力の音声はすべてアナログ音声入力端子からのものになります。入力を HDMI に切り換えた時に画面中央に、また「画面表示」を押すと画面右上に「音声入力：アナログ」と表示されます。デジタル音声信号を含む HDMI 入力シグナルを視聴中、音声が出ない（もしくは別の音声が聞こえる）場合は、このメニューでデジタル音声入力に切り換えてください。



③ つないだ機器を再生する

つないだ機器の取扱説明書をご覧いただき、機器を再生してください。

お知らせ

- つないだ機器の再生からテレビ放送受信には、以下のボタンを押して切り替えることもできます。

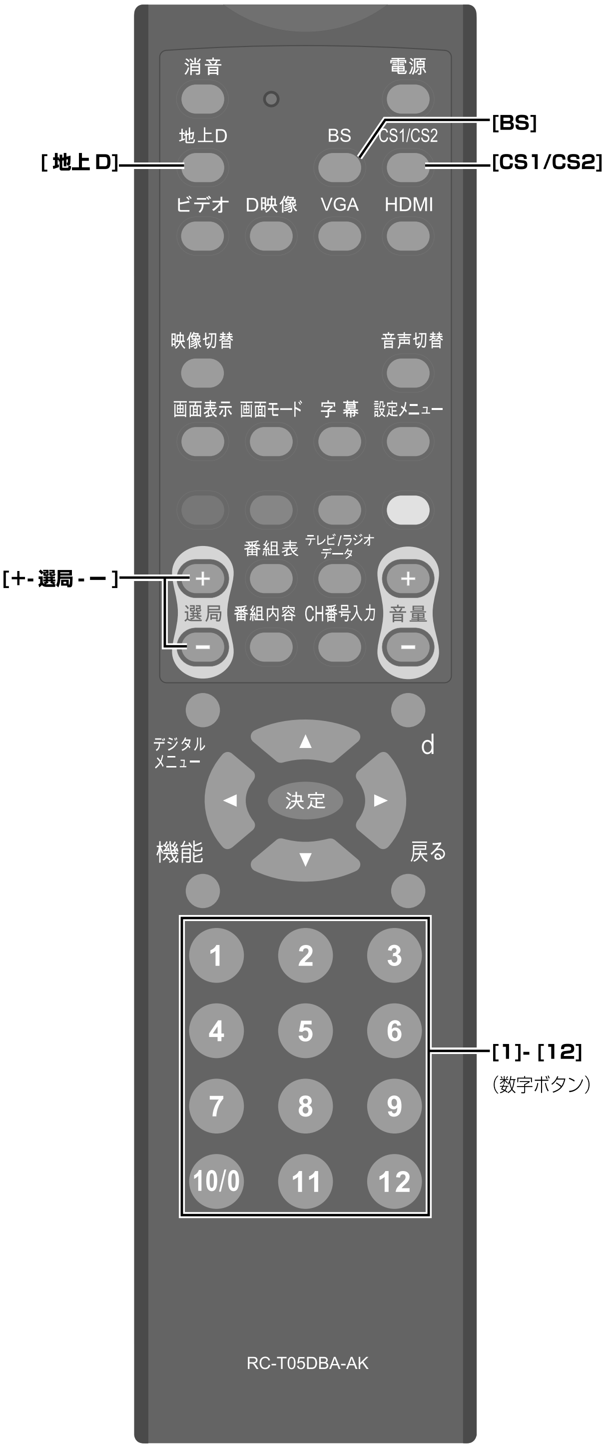
[地上 D]/**[BS]**/**[CS1/2]**：前回ご覧になっていたチャンネルを受信します。

数字ボタン：前回ご覧になっていた放送種別の選択されたチャンネルを受信します。（放送のないチャンネル番号が入力された場合は前回ご覧になっていたチャンネルを受信します。）

[＋ - 選局 - －]：前回ご覧になっていた放送種別の前回ご覧になっていたチャンネルを受信します。

ご注意

- パソコン入力の無い状態で VGA を選択すると、直ちに本機の電源が切れます。この場合、**[地上 D]**/**[BS]**/**[CS1/2]** を押すと、再び電源が入ります。
- パソコンがパワーセーブ状態に入ると、数秒後に本機の電源が切れます。パソコンをパワーセーブ状態から起動すれば、本機の電源が復帰します。



一歩進んだ使いかた

つないだ機器を使う

つないだ機器を通して音声を聞く

本機のデジタル放送の音声をお手持ちの AV アンプなどを使用して高音質でお楽しみいただけます。32 ページをご覧いただき、接続を確認してください。

❶ AV アンプを本機接続端子からの入力に設定する

❷ **[消音]** を押して本機を消音に設定する

その他の情報

この章では、故障かなと思った場合の対処方法や用語の説明など、必要に応じてご参照いただく内容を記載しています。

●故障かな？と思ったら P84
●用語の解説 P90
●主な仕様 P92
●チャンネル地域番号 P95
●保証とアフターサービス P96

故障かな？と思ったら

お問い合わせの前に

まず、以下の点をご確認ください。

- アンテナ線や電源コード、その他の接続
- 入力切替の設定
- 地上デジタル放送の受信チャンネルのスキャン状態（☞ 64 ページ）（地上デジタル放送は受信チャンネルのスキャンを行わないと受信できません。）

以下の状態は故障ではありません。

画面の中に、点灯したままの点、または点灯しない点がある

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

ときどき「ピシッ」というきしみ音が出る

周囲との温度差によってキャビネットがわずかに伸縮するために起こる音です。故障ではなく、性能等におよぼす悪影響もありません。

デジタル放送のチャンネルを変えたり、番組が切り換わったりするときにノイズが出る

デジタルハイビジョン信号と標準テレビ信号など、映像の解像度が変化するときに、同期信号など白い線が見えることがあります。

原因と対策

●全般

問題	原因	対策
映像も音も出ない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに挿してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。
電源が突然切れた / いつの間にか切れていた。	スリープタイマーが設定されている。	スリープタイマーをオフにしてください。
	VGA 入力のモードで接続しているパソコンがパワーセーブモードに入った。	パソコンのパワーセーブモードから抜け出してください。
	コードの接続部が緩んでいるため、パソコンからの入力が途切れ、無信号になった。	しっかりと接続してください。
リモコンが動作しない。	電池が適切に入っていない。	指定された電池を、指定された向き（＋ －）で、適切に入れてください。
	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。
	向きが適切でない。	リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作してください。
	本機のリモコン受光部に、強い光が当たっている。	リモコン受光部に強い光が当たっていると、操作を受け付けない場合があります。カーテンやその他の遮蔽物で光を調整してください。
	近くに電子レンジがある。	近くに電子レンジがあると、操作を受け付けない場合があります。できるだけ本機と電子レンジは離して設置してください。

●映像（全般）

問題	原因	対策
色がおかしい / 画面が暗い。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。(☞ 71 ～ 73 ページ)
画面がまぶしい。	画質が適切に設定されていない。	画質を適切に設定してください。(☞ 71 ～ 73 ページ)
画面が一部切れる / 画面が歪む。	画面モードが適切でない。	**[画面モード]** または設定メニューで適切な設定を選んでください。(☞ 44・77 ページ)
画面が中央に小さく表示される。	低解像度でＤ２Ｄモードを選択すると画面が小さく表示されます。	D2D 以外の画面モードを選択してください。

その他の情報

故障かな？と思ったら（つづき）

●映像（テレビ）

問題	原因	対策
映像も音も出ない。	強風などでアンテナの向きが変わっている。	アンテナの向きを適切に調整してください。
	アンテナ電源がオフになっている。	電源コードを一度抜いてから、再度挿入してください。アンテナ電源がオフの状態になっている場合は、設定の初期化(☞ 69 ページ)を行い、オンの状態にして下さい。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。(☞ 38 ページ)
	B-CAS カードが適切に挿入されていない。	適切に挿入してください。(☞ 23 ページ)
地上デジタルの受信設定ができない / 放送を受信できない。	アンテナが適切に接続されていない。	適切に接続してください。
	アンテナが地上デジタルに対応していない。	地上デジタルに対応したアンテナを使用してください。
	チャンネル設定が適切でない。	チャンネル設定をしなおしてください。
地上デジタルが映らない / 画像が乱れる。	アンテナ線の接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	アンテナの位置 / 方向 / 角度が適切でない。	適切に調整してください。
	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめください。
	受信設定が適切でない。	受信設定をしなおしてください。(☞ 63 ページ)
	ブースターのレベルを上げすぎている。	ブースターのレベルを下げてください。
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(衛星アンテナを直接つないでいる場合)	衛星アンテナがデジタル放送受信に対応していない。	デジタル放送に対応しているアンテナをご利用ください。
	衛星アンテナの前に障害物がある。	障害物を取り除くか、アンテナの取り付け位置を変更してください。
	衛星アンテナに雪が付着している。	雪を取り除いてください。
	衛星アンテナのコネクターの防水が不十分。	防水型のコネクターをご利用ください。
	アンテナケーブルの芯線が適切にコネクターに差し込まれていない。	適切に差し込んでください。(☞ 25 ページ)
	衛星アンテナの位置 / 方向 / 角度が適切でない。	受信設定メニューを使用して BS/CS の受信レベルが最大になるようにアンテナの位置 / 角度 / 方向を調整してください。(☞ 63 ページ)
	アンテナ線 / ブースター / 分配器 / アンテナに不具合があり、安全のためにデジタル放送の全機能を停止している。	電源コードを一度抜いてから、再度挿入してください。アンテナ電源がオフの状態になっている場合は、設定の初期化(☞ 69 ページ)を行い、オンの状態にして下さい。
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(マンションなどの共同受信システムの場合)	アンテナケーブルの芯線が適切にコネクターに差し込まれていない。	適切に差し込んでください。(☞ 26 ページ)
	分波が適切でない。	サテライト U/V 分波器で、VHF/UHF と BS デジタル /110 度 CS デジタルを分波してください。
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(複数の BS 機器をサテライト分配器でつないでいる場合)	本機からのアンテナ線を接続したサテライト分配器の端子が電流を通さないため、衛星アンテナ電源が供給されていない。	電流を通す分配器の端子にアンテナ線を接続してください。
BS デジタル /110 度 CS デジタルが映らない / 画像が乱れる。(その他)	本機の近くで携帯電話や電子レンジを使用している。	本機の近くでの携帯電話や電子レンジの使用をおやめください。
	指定されたケーブルを使用していない。	指定されたケーブルを使用してください。
	有料チャンネルの受信申し込みが完了していない。	所定の手続きによって契約を完了させてください。
BS デジタルは映るのに、110 度 CS デジタルが映らない。	アンテナや分配器、ブースターなどが 110 度 CS デジタルに対応していない。	110 度 CS デジタルに対応したものをお使いください。
	BS アナログチューナー内蔵のビデオデッキ経由でアンテナを接続している。	分配器を使って本機と BS アナログチューナー内蔵ビデオデッキそれぞれにアンテナを接続してください。
	衛星アンテナレベルの設定が不適切。	受信設定メニューを使用して CS の受信レベルが最大になるようにアンテナの位置 / 角度 / 方向を調整してください。(☞ 63 ページ)
	受信契約が完了していない。	所定の手続きによって契約を完了させてください。
画面が暗くなり、何も映らない。	ラジオ放送を受信している。	デジタル放送では音声のみの放送もあります。映像を楽しみたい時は、他のチャンネルをお選びください。

●接続した機器について

問題	原因	対策
接続した機器の映像が出ない。	コードの接続部が緩んでいる。	しっかりと接続してください。
	入力選択が適切でない。	見たい映像の入力を選択してください。(☞ 78ページ)
	接続した機器の出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
パソコンの画像が出ない。	パソコンが、テレビに画像を出力できるように設定されていない。	パソコンの取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
ビデオの再生 / 録画時に縞状のノイズが出る。	ビデオデッキが本機の近くにあるため、電磁波の干渉が起きている。	ビデオデッキを本機からなるべく離して設置してください。
ビデオの再生 / 録画時に映像が乱れたり、映らなくなったりする。	コンポジット映像信号（通常の映像信号）や S 映像信号を、AV アンプなどの外部機器を通してコンポーネント映像信号に変換すると、映像が乱れたり、映らなくなることがあります。	コンポジット映像信号または S 映像信号を、本機の AV 入力に直接接続してください。

●音声（全般）

問題	原因	対策
映像は出るが、音が出ない。	音量が下がりきっているか、「消音」になっている。	音量を上げてください。
片方からしか音が聞こえない / 左右の音量に差がある。	バランス設定が適切でない。	設定メニューでバランスを調整してください（☞ 74 ページ）
ヘッドホンの音が、スピーカーの音よりも聞こえにくい。	ヘッドホンのインピーダンスが合っていない。	インピーダンスの高いヘッドホンでは音が低めに出ます。本機はインピーダンスが 32 オームのヘッドホンに合わせて設計してあります。

●音声（テレビ）

問題	原因	対策
音声が出ない / 音声がおかしい。	主音声 / 副音声の設定が適切でない。	主音声 / 副音声の設定をしなおしてください。（☞ 42 ページ）

●音声（接続した機器）

問題	原因	対策
画像は出るが、音が出ない。	接続した機器の音声出力設定が適切でない。	接続した機器の取扱説明書をご覧になり、設定しなおしてください。
	音声ケーブルが正しく接続されていない。	音声ケーブルを正しく接続してください。
HDMI 接続で音声が出力されない / 別の音声が聞こえる。	HDMI 音声入力がアナログに設定されている。	設定メニューでアナログからデジタルに切り替えてください。（☞ 74 ページ）
DVI 接続で音声が出力されない。	HDMI 音声入力がデジタルに設定されている。	設定メニューでデジタルからアナログに切り替えてください。（☞ 74 ページ）

故障かな？と思ったら（つづき）

●番組表

問題	原因	対策
番組表や他チャンネルリストが表示されないチャンネルがある。	一定時間視聴するか、待機状態にしないと表示されません。	しばらくお待ちいただくか、待機状態にしてください。
	チャンネル登録していない。	チャンネル登録をしてください。
チャンネル検索で表示される番組が少ない。	電源コードを抜いている間（電源ランプ：消灯）は、放送局が送信する番組情報を取得できないため。	リモコンの電源ボタンで電源を切り、待機状態（電源ランプ：オレンジ色）にしてください。
地上デジタルの放送局のマークが表示されない。	一定時間視聴しないと、表示されません。	しばらくそのままお待ちください。

●その他

問題	原因	対策
＋ - 選局 - － ボタンで選局できない。	チャンネル登録されてない。	チャンネル登録をしてください。
	複数のチャンネルで同時に同じ番組を放送しているときに、代表チャンネル以外を選局しようとしている。	代表チャンネル以外は選択できませんので、代表チャンネルで選局してください。
ペイパービューなどの有料放送が購入できない。	電話回線が適切に本機につながっていない。	適切に接続してください。
	電話回線の種類などが適切でない。	ペイパービューの購入には電話回線の接続が必要ですので、適切に接続してください。
	購入可能時間以外に購入しようとした。	番組によっては購入可能時間が設定されていますので、購入可能時間内に購入してください。
	購入可能件数を超えている。	購入可能件数を超えると購入できませんので、購入できるようになるまでお待ちください。
設定が正しく反映されない。	本機に設定が反映（記録）される前に電源を切った。	デジタル放送の信号には、多くの情報が含まれています。そのため、メニューの項目を設定した直後（約 2 分以内）に主電源を切ると、設定した内容が反映されないことがあります。このときは、もう一度設定をしなおしてください。
メニューが表示されない。	ソースによっては表示されないメニューもあります。	ソースを切り替えてください。
未読メールがありますと表示される。	デジタル放送や本機から発行されたメールが来ています。	メールの内容をご確認ください。（☞ 62 ページ）

●こんな表示が出たときは

エラー番号	エラーメッセージ	対応方法
E100	B-CAS カードが未挿入です。	B-CAS カードを正しく挿入して下さい。
E102	このカードは使用できません。正しい IC カードを装着してください。	正しい B-CAS カードを裏表、挿入方向を確認して、再挿入してください。 カードの IC 部の汚れや，破損の可能性があります。正しく装着しても改善されないときは，ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。
E103	このカードは使用できません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	契約されていない番組を選局しています。別のチャンネルに変更するか、該当する放送局と契約をしてください。
無し	スクランブル解除のための情報にエラーが発生しています。ご使用の CAS カードの向きを確認してください。	カードを裏表、挿入方向を確認して、再挿入してください。 カードの IC 部の汚れや，破損の可能性があります。正しく装着しても改善されないときは，ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズのカスタマーセンターにご連絡ください。
E202	信号が受信できません。	天候の影響、アンテナケーブルが切れている、アンテナの向きがずれているなどの理由で全く信号入力がないなど、アンテナ線の接続に問題がある可能性があります。 アンテナケーブルが切れている場合はケーブルを交換し、正しく接続してください。
E203	現在放送されていません。	受信信号が弱い・無い、また放送終了後である可能性があります。地上デジタル放送の場合は、受信できる状態でいったん初期スキャンを行い、チャンネルを設定してください。
E204	このチャンネルはありません。	実在のチャンネルが割り当てられていない数字ボタンを押した場合に表示されます。実在のチャンネルが割り当てられた数字ボタンを押してください。
無し	低階層映像に切替わりました。	降雨対応放送に切り替わりました。気象条件などにより信号レベルが低下しています。気象条件などが良くなるまで、しばらくお待ち下さい。
無し	臨時放送が休止中のためご覧の放送局の別のサービスに切替えます。	臨時放送が終了・休止中の場合に表示されます。自動的に視聴可能なチャンネルに切り換わります。
E209	BS・110 度 CS アンテナ線がショートしています。アンテナとの接続を確認して電源を入れ直してください。	アンテナ線 / ブースター / 分配器 / アンテナに不具合がある時、安全のため自動的にデジタル放送の機能を完全に停止することがあります。電源コードを一度抜いてから、再度挿入してください。アンテナ電源がオフの状態になっている場合は、設定の初期化（☞ 69 ページ）を行い、オンの状態にして下さい。
無し	アンテナ電源が「オフ」になっています。「オン」にするときは「初期化」から「設定情報の初期化」を行ってください。	アンテナ系統の不具合が生じてアンテナ電源が切れました。設定初期化を行ってアンテナ電源をオンにしてください。

用語の解説

下記は一般的な用語解説です。本機の仕様は異なっている場合があります。

110 度 CS デジタル放送

BS デジタル放送の放送衛星（BS）と同じ東経 110 度に打ち上げられた通信衛星（CS）を利用した新しいデジタル放送です。多数の専門チャンネルの中から見たいチャンネルのみを購入して視聴する仕組みになっています。一部、無料放送もあります。

5.1ch

左右のフロントスピーカー、センタースピーカー、左右のサラウンドスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。臨場感と迫力のある音声を楽しむことができます。

AAC（Advanced Audio Coding）

デジタル放送で標準に定められたデジタル音声圧縮方式です。高い圧縮率で高い音質を実現します。

B-CAS カード

デジタル放送を見るために必要な IC カードです。ユーザー認識のための番号や、チャンネルの契約・購入内容などの情報が記録されます。

BS デジタル放送

2000 年 12 月から本格サービスが開始された新しい衛星放送です。高画質で多チャンネルの放送を楽しむことができます。高音質のデジタル音声放送（BS ラジオ）、ニュース・スポーツ・番組案内などの情報提供、オンラインショッピングやクイズ番組などへの参加が可能なデータ放送など、多彩なサービスを行います。

CATV（ケーブルテレビ）

同軸ケーブルや光ケーブルなどのケーブルを用いて行われる有線放送のことです。ケーブルテレビ局と契約することにより視聴できます。地域密着型の譲歩発信等が特徴でしたが、最近では多チャンネル放送や自主放送を行う都市型のケーブルテレビ局も増えてきています。

D 端子

デジタル映像の圧縮データや高画質映像信号の伝送に適した、日本独自のコネクタの通称です。輝度信号（Y）と色差信号（Cb/Cr, Pb/Pr）で構成されるコンポーネント信号は従来 3 本のケーブルで接続していましたが、これを一本にまとめたものが D 端子です。また、これらの信号の他に走査線数・走査方式・アスペクト比を切り替えるための識別信号の伝送も可能です。

EPG（Electronic Program Guide）

デジタル放送で放送局から送られてくる番組データを利用してつくる電子番組表のことです。

HDMI（High Definition Multimedia Interface）

PC とディスプレイの接続標準規格である DVI に、マルチチャンネル音声伝送機能や著作権保護機能、色差伝送機能を加えるなど AV 家電向けにアレンジしたインターフェースです。1 本で非圧縮の映像・音声信号と制御信号を伝送できるので、AV 機器間の連携が容易にできます。

MPEG（Moving Picture Experts Group）

デジタル動画圧縮技術の 1 つです。動画中の動く部分だけを保存するなどしてデータを圧縮します。デジタルテレビでは通常 MPEG-2 が採用されていますが、これは動画データを 40 分の 1 程度に圧縮することができます。

NTSC（National Television Standards Committee）

地上波アナログカラーテレビ放送の規格の 1 つで、日本や北米、中南米で採用されています。水平方向の走査線数が 525 本で毎秒 30 フレーム（1 秒間に 30 回画面を書き換える）のインターレース方式で、水平走査周波数は 15.75kHz、垂直走査周波数は 60Hz です。

PCM（Pulse Code Modulation）

音声などのアナログ信号をデジタル信号に変換する方式の 1 つです。音楽 CD（CD-DA）はこの方式を採用しています。

PPV（Pay Per View）

番組単位で購入する有料番組のことです。

S 映像端子

S 端子は輝度信号（Y）と色信号（C）に別れた映像信号を伝送します。このうち、色信号（C）に画面の縦横比の情報を乗せることで、テレビ側での自動判別を可能にしたものが S1/S2 映像端子です。

イベントリレー

番組の途中で割り込みがあったり、その他の理由で番組が放送予定時間内に終わらなかった場合に、他のチャンネルで引き続き放送を行うことです。

インターレース（飛び越し走査）
NTSC 方式のテレビやビデオの画像表示では、525 本の走査線があります。このうち、まず奇数段目の走査線 262.5 本を 1/60 秒で描き（この画面を 1 フィールドといいます）、次に偶数段目を同様に描き、これを合わせることによって 525 本の完全な画像（フレーム）を作っていく方式です。「525i」「1125i」の「i」は、このインターレース（interlaced）を指しています。

コピーワンス
デジタル放送のデータは基本的には何度コピーしても品質は劣化しません。このため、著作権保護のためにコピーは一度だけ可能という処理がされています。たとえば、お手持ちのハードディスクレコーダーに録画することは可能ですが、ハードディスクから更に DVD 等に二回目のコピーをすることは出来ません。

コンポジット接続
通常の映像端子を使って映像信号を伝送する、最も普及している方式です。映像端子は通常１つのみで、音声端子と同じ形状で、色は黄色です。赤と白の音声出力と一緒に３本で接続するのが一般的です。

緊急警報放送
地上デジタル /BS デジタルのマルチ放送を利用し、地震などの災害時に放送される緊急ニュースなどを流します。

降雨対応放送
激しい雨による映像・音声の遮断を防ぐために、通常の放送に平行して降雨に強い方式で同じ番組を放送するものです。

字幕放送
せりふなどの音声を、文字にして画面に表示することができる放送です。

走査線
テレビでは、映像を細い糸のように分解し、横方向に走らすことによって画面を作っています。この糸を走査線といいます。走査線の数が多いほど画質がよくなります。

地上デジタル放送
2003 年 12 月から一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHF の周波数帯域を利用して放送されます。ゴーストの無い高画質な映像と多チャンネルの放送を楽しむことができます。デジタルハイビジョン放送やデータ放送、双方向サービスなどを楽しむことができます。

デジタルハイビジョン放送
通常のアナログ放送の走査線が 525 本であるのに対し、1125 本や 750 本のプログレッシブの高画質な映像です。大画面の映像に適しています。

プログレッシブ（順次走査）
飛び越し走査（「インターレース」の項目を参照）をしないで、全ての走査線を順番に描く方法です。インターレースに比べて画像のチラツキが少なく、文字や静止画を表示することに適しています。「525p」や「750p」の「p」はプログレッシブ（progressive）を指しています。

マルチチャンネル放送
地上デジタルや BS デジタルの標準テレビ信号（SD）で、１つの放送局で複数の番組を放送することです。

マルチビュー放送
前述のマルチチャンネルの技術を使って、同じ番組を別の視点から見た映像を見るなど、複数の映像を切り替えて見ることができます。

有効走査線数
走査線の中で、映像信号が載っている走査線の数をいいます。地上アナログでは 525 本の走査線のうち有効走査線数は 480 本、デジタルハイビジョンでは 1125 本のうち 1080 本となっています。有効走査線ではない走査線には、画面の縦横比を規定した識別制御信号などが載っています。

臨時放送
前述のマルチチャンネルの技術を使って、同一放送局の他チャンネルで臨時の放送を行うことです。

主な仕様

この製品は日本国内専用です。外国では電源電圧、放送方式が異なるため使用できません。
This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

	42 型　BS・110 度 CS・地上デジタルチューナー内蔵　ハイビジョン液晶テレビ
型名	42FG05A-B
使用電源	AC100V 50/60Hz
消費電力／待機電力	230W/1W 本体キースイッチで電源をオフした場合。（リモコンでオフした場合は 5W）
年間消費電力	214kWh
受信チャンネル	地上デジタル 000 ～ 999
	ＢＳデジタル、１１０度ＣＳデジタル放送の各チャンネル
音声出力	10W x 2
光音声出力	ー 15 ～ ー 21dB (mW), 波長 660nm, EIAJ CP-1201 準拠 AAC 5.1ch 出力 / PCM 2ch 出力 IEEE60958 フォーマット
液晶パネル　アスペクト比	16:9
画素数	1,920 × 1,080
画面寸法（横×縦）	930.24 x 523.26 mm
最大色数	1,670 万色
コントラスト比	1400:1 (通常）/6500:1 (DCR モード）
視野角　上下／左右	178°/178°
応答速度	5ms
接続端子	ＨＤＭＩ映像音声入力 x ２+ステレオ音声入力 x １（ＤＶＩ） D 映像＋ステレオ音声入力× 1 S- ビデオ映像入力× 1（コンポジット映像と共用） コンポジット映像十ステレオ音声入力× 1 PC-VGA 映像十ステレオ音声入力× 1 地上デジタルアンテナ入力× 1 BS デジタル・CS デジタルアンテナ入力× 1 ヘッドホン端子（32 Ω）× 1 光デジタル音声出力× 1 アナログ音声出力 x 1 電話回線 (モデム内蔵) x 1
外形寸法（幅×高さ×奥行）	1024 x 700 x 244 mm
質量	20.7 kg
使用環境／保管環境	温度：5℃～ 35℃ / ー 20℃～ 60℃ 湿度：20% ～ 80%RH/10% ～ 90%RH（結露なきこと） 高度：0 ～ 1,980m/0 ～ 2,980m
VGA 対応フォーマット	640 x 480 @ 60/75 Hz 800 x 600 @ 60/72/75 Hz 1024 x 768 @ 60/70/75 Hz 720 x 400 @ 70 Hz 1920 x 1080 @60Hz

仕様の一部を予告無く変更することがありますのでご了承ください。

バイ・デザインおよび ロゴは、バイ・デザイン（株）の登録商標です。

アキアおよび AKIA ロゴは、飯塚克美の登録商標です。

は SRS Labs,inc. の商標です。TruSurroundXT 技術は SRS Lab,Inc. からのライセンスに基づき商品化されています。

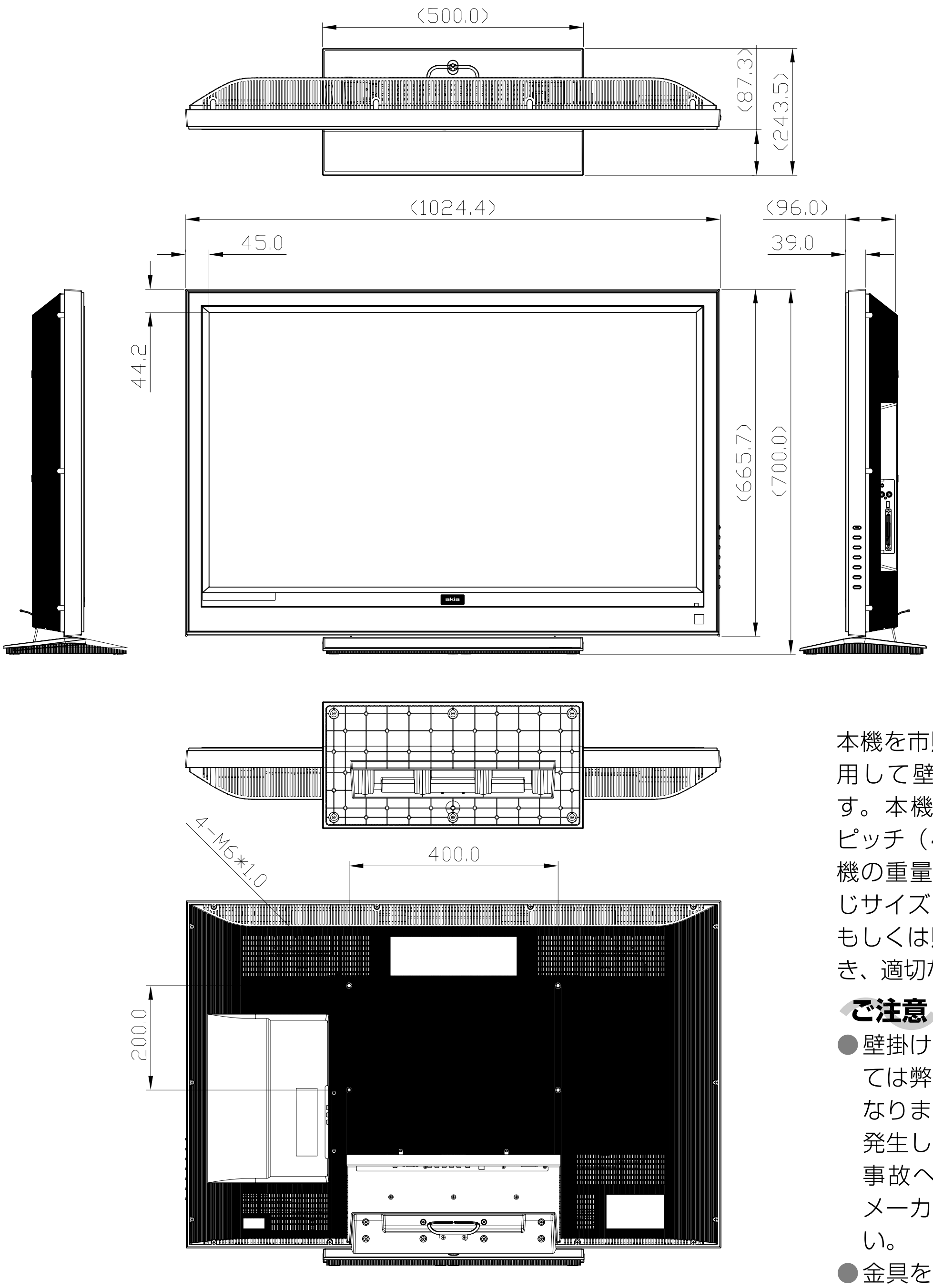
HDMI、HDMI ロゴおよび High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC. の登録商標または商標です。

本製品は、データ放送用 BML 機能として株式会社 ACCESS の NetFront V3.1 DTV Profi le を搭載しています。
NetFront は、株式会社 ACCESS の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

その他記載の会社名および製品名は各社の登録商標または商標です。

当取扱説明書の著作権はバイ・デザイン株式会社に帰属いたします。バイ・デザイン株式会社の許諾なく当取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修したり使用したりすることは著作権法上禁止されております。

主な仕様（つづき）



本機を市販の壁掛け用の金具を使用して壁に掛けることも出来ます。本機の金具取付用のねじのピッチ（４００x２００mm)、本機の重量（20.7ｋｇ）およびねじサイズ（Ｍ６）を金具メーカーもしくは販売店にお知らせいただき、適切な金具をお求めください。

ご注意

- 壁掛け金具が原因の故障については弊社の無償保証の対象とはなりません。金具の装着により発生した本体故障、落下などの事故への保証に関しては金具メーカーへお問い合わせください。
- 金具を取り付ける前に台座を外してください。画面を傷つけないよう毛布や保護シートなどの上に画面を下にして置いて、台座固定ねじ８個を外して台座を引き抜いてください。

単位：mm

保証とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではご利用いただけません。
This TV is designed only for use in Japan and cannot be used in any other countries.

保証書について

本機には保証書が添付されていますので、お買い上げの際、販売店よりお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をよくお読みいただき、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げの日から 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」をご参照いただき、故障かどうかお調べください。

それでも具合が悪いときは

弊社サポートセンターへお問い合わせください。

● 電話によるお問い合わせ
受付時間：月曜～金曜　9：30～17：00
（祝祭日、年末年始、夏季休業期間を除く）
電話番号：050-5529-0596

● FAX によるお問い合わせ
FAX番号：050-3156-2120
※お客様のご連絡先、型番、購入年月日、お買い上げ店、故障状況を詳しく記載してください。

● メールによるお問い合わせ
ホームページ(URL:http//www.akia.co.jp)
より購入後の製品サポートへお進み下さい。

受付時間：受付 24 時間。土日・祝祭日を挟んだ場合およびご質問の内容によっては、回答までに日数がかかる場合があります。予めご了承ください。

※ サポート受付に関しては変更させていただく場合がございます。
弊社ホームページでサポート時間などをご確認の上、ご利用されるようお願いいたします。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

本機の不具合･修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復は致しません。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

● ご相談になるときは以下のことをお知らせください。

型名：42FG05A-B

使用状況や故障の状態（できるだけ詳しく）：

購入年月日：

年　　　月　　　日

お買い上げ店

株式会社 アキア
〒297-0217　千葉県長生郡長柄町針ヶ谷1590番地3
URL:http://www.akia.co.jp/

本書に記載されている内容は、予告なく変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
本書の内容を無断で転載、コピーすることは禁止されております。

192513011680